

令和 6 年 度



事業報告

法人本部
特別養護老人ホーム 好日苑
好日苑デイサービスセンター
好日苑ヘルパーステーション
好日苑ケアプランセンター
大田区地域包括支援センター上池台
大田区地域包括支援センター嶺町
シニアステーション東嶺町
大田区地域包括支援センター六郷
大田区地域包括支援センター西六郷
大田区地域包括支援センター馬込
シニアステーション馬込
大田区地域包括支援センター南馬込
シニアステーション南馬込



目 次

法人本部	2
事務部門	15
特養部門（特別養護老人ホーム 好日苑）	18
在宅部門	
Ⅰ．好日苑デイサービスセンター	73
Ⅱ．好日苑ヘルパーステーション	85
Ⅲ．好日苑ケアプランセンター	88
Ⅳ．在宅部門会議・研修	92
包括部門	
地域包括支援センター	106
大田区地域包括支援センター上池台	
大田区地域包括支援センター嶺町	
大田区地域包括支援センター六郷	
大田区地域包括支援センター西六郷	
大田区地域包括支援センター馬込	
大田区地域包括支援センター南馬込	
元気維持介護予防事業・シニアステーション	124
シニアステーション東嶺町	
シニアステーション馬込	
シニアステーション南馬込	

法人本部

令和6年度は介護報酬改定への適切な対応を行うため、響会全職員の処遇改善を行い、生産性の向上を図るための委員会の設置、高齢者虐待防止の推進、認知症対応力の向上、事業継続計画（BCP）の更新等を図る等、適切に運営して参りました。また、外国人介護職員（特定技能1号）の雇用をスタート致しました。施設整備では利用者様の生活環境の向上を目的として、本館・新館の内装仕上げ大規模改修工事を行い、本館では床頭台等の建具等の更新、本館防犯センサーの更新も行い、新館では新館電子錠の更新を実施致しました。業務面では介護移乗ロボット Hug 4 台と入浴用 Hug 2 台を新規導入し、入居全6フロア及び本館・新館浴室に1台配置することより、利用者様に合った快適な環境づくりを実現致しました。響会としては、ハード面でもソフト面でもリニューアルオープンするような令和6年度となりました。また創立26周年を迎え、永年勤続表彰規程に従い、令和6年4月1日に、永年勤続10周年5名、5周年15名の合計20名を表彰致しました。

I 経 営

1. 令和6年度 経営目標・実績

項目		実績額
事業活動による収支	収入計	1,375,153,140 円
	支出計	1,208,265,647 円
	収支差額①	166,887,493 円
施設整備等による収支	収入計	5,548,000 円
	支出計	173,158,252 円
	収支差額②	△ 167,610,252 円
その他の活動による収支	収入計	116,493,620 円
	支出計	99,529,964 円
	収支差額③	16,963,656 円
当期資金収支差額④ ① + ② + ③		16,240,897 円

当期資金収支差額率

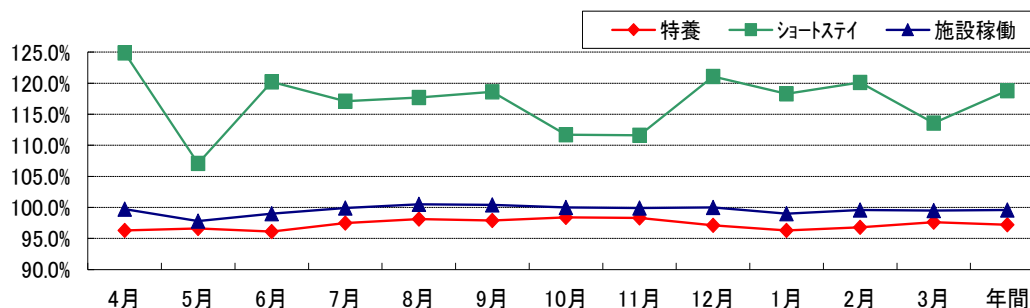
1.2%

（修繕積立金・施設整備積立金・処遇改善積立金）

88,480,000 円）

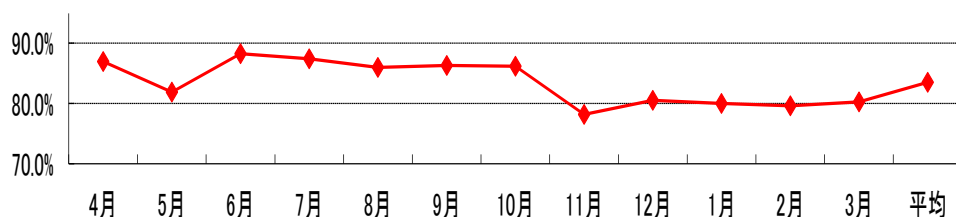
(1) 特別養護老人ホーム好日苑

稼働目標				97.5%				実績				99.6%	
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
96.3%	96.6%	96.1%	97.5%	98.1%	97.9%	98.4%	98.3%	97.1%	96.3%	96.8%	97.6%	97.2%	
124.9%	107.1%	120.2%	117.1%	117.7%	118.6%	111.7%	111.6%	121.1%	118.3%	120.1%	113.6%	118.8%	
99.7%	97.8%	99.0%	99.9%	100.5%	100.4%	100.0%	99.9%	100.0%	99.0%	99.6%	99.5%	99.6%	



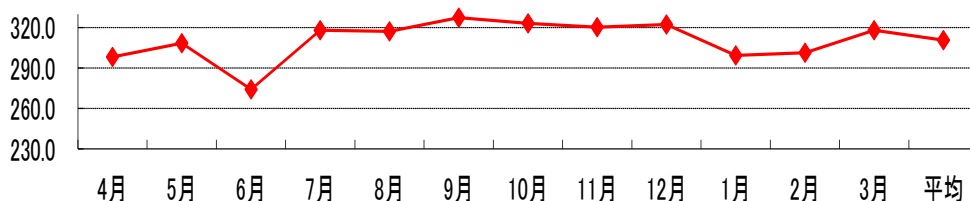
(2) 好日苑デイサービスセンター

稼働目標				90.0%					実績				83.5%	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
デイサービス	87.0%	81.9%	88.3%	87.4%	86.0%	86.3%	86.2%	78.2%	80.5%	80.0%	79.6%	80.3%	83.5%	



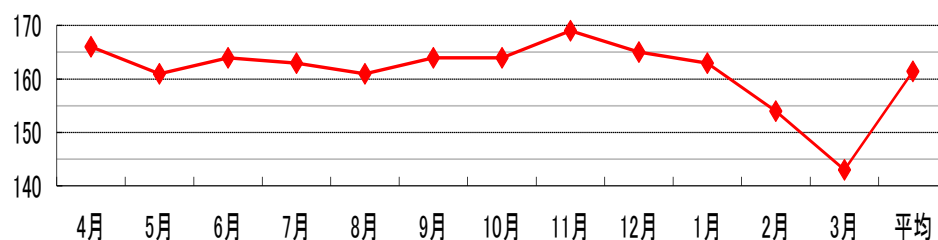
(3) 好日苑ヘルパーステーション

稼働目標				300 時間/月				実績				310.7 時間/月		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
ヘルパー	298.3	308.3	274.1	318.1	317.1	327.3	323.1	320.4	322.4	299.4	301.3	318.1	310.7	



(4) 好日苑ケアプランセンター

稼働目標				160 件/月 (CM 4 人)				実績				161.4 件/月 (CM 4 人)			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均		
ケアプラン	166	161	164	163	161	164	164	169	165	163	154	143	161.4		



【補助金等】

交付団体及び交付目的	区分	交付金額
東京都 (特別養護老人ホーム経営支援補助金)	介護事業	5,392,000
東京都 (介護介護職員宿舎借り上げ支援事業)		1,519,000
東京都 (介護職員・介護支援専門員居住支援特別手当事業補助金)		14,122,000
東京都 (介護職員就業促進事業補助金)		4,241,503
東京都 (現任介護職員資格取得支援事業)		27,000
東京都 (介護支援専門員法定研修受講料補助金)		208,000
東京都 (介護サービス事業所等物価高騰緊急対策支援金)		1,460,028
東京都 (介護サービス事業所燃料費高騰緊急対策支援金)		51,000
東京都 (新型コロナウイルス流行下における介護サービス事業所等のサービス事業補助金)		380,000
東京労働局 (特定求職者雇用開発助成金)		400,000
大田区 (社会福祉法人等による生計困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額軽減措置事業補助金)		284,814
大田区 (大田区介護保険サービス利用者負担額軽減事業に係る助成金)		388,153
大田区 (利用者負担軽減額軽減事業に係る事業者参入促進事業)		30,000
大田区 (大田区福祉サービス第三者評価受審支援事業補助金)		600,000
国 (介護職員処遇改善支援補助金)		2,134,557
区分小計		31,238,055
東京都福祉保健財団 (借入金利子補給費)	利息	81,175
区分小計		81,175
東京都 (次世代介護機器導入促進支援事業補助金)	施設	4,308,000
東京都 (社会福祉施設等への非常電源等整備促進事業補助金)	施設	1,240,000
区分小計		5,548,000
合 計		36,867,230

2. 安定した適正経営

(1) 人財確保のために下記取組を行いました。

- ① 響会借上げ宿舍管理規定による採用（特養 1 名、特定技能外国人特養 3 名）
- ② 響会東京都借上げ支援事業による採用（特養 1 名）
- ③ 介護職員就業促進事業の活用（採用：特養 1 名、デイ 2 名）
- ④ かいごチャレンジ職場体験事業受入（特養 1 名、デイ 0 名）
- ⑤ 都立高校生のための職場体験ジョブキャンプ 2024（特養 2 校 11 名）
- ⑥ 大田区社会福祉協議会「夏！体験ボランティア」（特養 1 名、デイ 1 名）
- ⑦ 現任介護職員資格取得支援事業（介護福祉士受験 3 名申請）

【職員募集媒体】

法人活動	公的機関	民間企業
・響会公式採用特設サイト ・ホームページ ・職員紹介制度 ・就職支援支度金制度 ・資格取得支援制度 ・介護職員奨学金返済手当制度 ・介護職員就業促進事業 ・T O K Y O 働きやすい福祉の職場宣言事業所登録 ・インターン事業 ・介護の仕事定例就職面接会 ・ふくしのしごと市 ・第 2 回特別養護老人ホーム等就職相談会	・ハローワーク ・東京都福祉人材センター（福祉のお仕事） ・各種学校求人 ・看護協会（e ナースセンター） ・東京都プラチナナナース職場体験会 ・かいごチャレンジ職場体験事業	・インターネット媒体（新卒） ・インターネット媒体（中途） ・人材紹介（介護・看護） ・人材派遣（介護・看護） ・スキマバイト【タイミー】

【入職・退職】

令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日

	採用（人）	退職（人）	退職率	在籍者平均
正規職員（常 勤）	25	31	21.8%	9 年 3 ヶ月
契約職員（非常勤）	16	17	30.4%	7 年 7 ヶ月

	R6 年間常勤換算数（人）			R5 年間常勤換算数（人）		
	特 養	デ イ	合 計	特 養	デ イ	合 計
派遣職員（介 護）	2.2	0	2.2	1.6	0	1.6
派遣職員（看 護）	1.6	0	1.6	1.0	0	1.0
合 計	3.8	0	3.8	2.6	0	2.6

(2) 第 7 次中期経営計画（令和 7 年 4 月 1 日～令和 10 年 3 月 31 日）の策定

・第 7 次中期経営計画作成委員会（MP）発足

① 委員と役割

法人本部		響会事務		特養	在宅	地域包括支援
幹部会（EB）	公益的取組	労務・経理	設備管理・更新	特養・SS	デイ・CP・HH	6 包括 3 シニア
施設長	地域課長	事務長		特養課長	在宅課長	地域課長
生産性の向上 福祉避難所 全体統括	調布福祉ネット フードドライブ ほっとサロン	ICT 強化・協働 補助金獲得	長期計画 （資金・修繕 等）	夜勤の DX 化 （インカム+ 眠りスキャン）	小規模多機能型 居宅介護（居宅 連携）強化	地域包括支援 C の今後 大田区の動向
《 3 年後の将来像（響会及び各部門） 》						
幹 部 会（EB） 経営検討会（ME）				特養係長会議 （3C）	多機能型会議 （KTKK）	包括会議 シニア会議

② 全体会開催回数 3 回（ 7/11、11/21、12/26 ）

③ 理事会提案・承認日（令和 7 年 1 月 28 日）

(3) 情報公開

① 介護サービス情報の公表（訪問調査なし）

対 象 事 業： 特別養護老人ホーム 好日苑 (特養・ショートステイ)
 好日苑デイサービスセンター (デイサービス)
 好日苑ヘルパーステーション (訪問介護)
 好日苑ケアプランセンター (居宅介護支援)

公 開： 東京都介護サービス情報公表システム

② ふくむすび更新（TOKYO 働きやすい職場宣言）

③ 第三者評価

実 施 事 業： 特別養護老人ホーム 好日苑 (介護老人福祉施設)
 好日苑 (ショートステイ)
 好日苑デイサービスセンター (デイサービス)
 好日苑ヘルパーステーション (ホームヘルプ)
 好日苑ケアプランセンター (ケアプラン)

評 価 機 関： 一般社団法人 特養ホームマネジメント研究所

公 表： とうきょう福祉ナビゲーション

(4) 広報委員会（PR）

① 職員親睦会の会食を5年ぶりに実施する為、職員アンケートをあんしん mail にて実施。その結果を受け、職員親睦会を部門毎9回開催126名が参加

② ボランティア表彰記念品及び

永年勤続表彰記念品としてノベルティ立案・製作
 【ザ・プレミアム多機能ボールペン】



③ 広報誌「ひびき」の発行

- ・ 年4回発行（4月「81号」 7月「82号」
10月「83号」 1月「84号」）

④ ホームページ

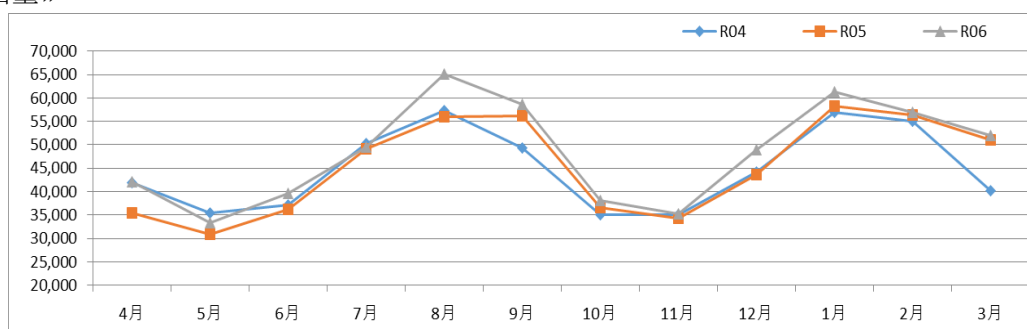
- ・ 響会公式採用特設サイト新設 job.hibikikai-tokyo.or.jp
- ・ ホームページの更新
（職員紹介・数字で知る響会・働く環境を知る・研修制度・動画で見る響会）
- ・ 月次更新（職員採用・月間予定表・献立等・シニアステーションニュース）
- ・ ブログ更新（日々是好日・特養の窓・デイサービスの窓・包括の窓）

⑤ Instagram 開設及び LINE 応募フォーム開設

令和7年3月末時点⇒Instagram 投稿93 / 登録者数1,913人 / フォロー中1,800人

(5) Fun to Share

≪CO2排出量≫



3. 地域における公益的な取組み

(1) 「ひびきほっとサロン」

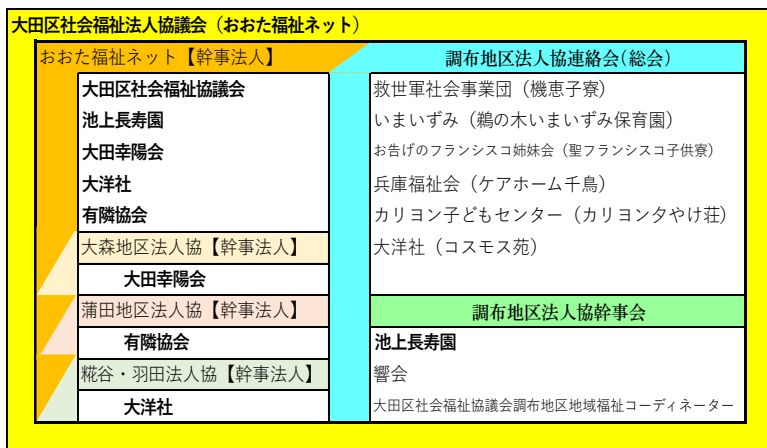
開催日	内 容	会場
第 24 回 5 月 19 日(日)	ボッチャ大会／上池台障害者福祉会館お菓子詰め合わせ	好日苑 10 名
第 25 回 7 月 21 日(日)	お楽しみ会（体操・みんなで合唱） 上池台障害者福祉会館お菓子詰め合わせ	シニアステーション 馬込 21 名
第 26 回 9 月 15 日(日)	サキソレンジャーによる演奏会 昼食会（カレーライス・サラダ・スープ・缶フルーツ）	好日苑 18 名
第 27 回 11 月 17 日(日)	ポールウォーキング 昼食会（さつま揚げ、煮物、おひたし）	好日苑 14 名
第 28 回 3 月 17 日(日)	ピアノ演奏会 昼食会（チャーシュー丼、かぶのカニあんかけ、 中華スープ、デザート）	好日苑 15 名
第 29 回 3 月 16 日(日)	ポールウォーキング 昼食会（五目ちらし寿司、炊き合わせ、赤出し、 ミニたい焼き&苺）	好日苑 18 名

(2) 令和 6 年度 調布地区法人協連絡会活動

A: 調布地区幹事法人打合せ等

（響会・池上長寿園・大田社協）

- ① 令和 6 年 5 月 13 日（月）13：30～15：00
- ② 令和 6 年 7 月 10 日（水）13：30～15：30
- ③ 令和 6 年 9 月 18 日（水）13：30～15：00
- ④ 令和 6 年 10 月 23 日（水）13：30～15：00
- ⑤ 令和 7 年 1 月 22 日（水）13：30～15：00



B: 調布地区法人協【総会】（9 社会福祉法人）

- ① 第 1 回総会 令和 6 年 6 月 20 日（木）15 時 00 分 ～16 時 30 分

- (1) 令和 5 年度「幸せのおすそわけ会」実施報告
- (2) 令和 6 年度「幸せのおすそわけ会」開催について
- (3) 食品確保(フードドライブ)について意見交換

- ② 第 2 回総会 令和 7 年 3 月 5 日(水)15：30～17：00

- (1) 令和 6 年度フードパントリー「幸せのおすそわけ会」実施報告
- (2) フードドライブに関するアンケート結果について

① 「調布地区法人協連絡会 フードドライブ」の名前案決定

【調布地区】Happy food Drive

② フードドライブで集まった食品を地域のために事業所で活用する方法

- (3) 調布地区「幸せのおすそわけ会」地産地消（地集地配）の取組

- (4) 『地域福祉フォーラム～70万人のしあわせな暮らし～』開催報告

C: 【調布地区】Happy food Drive（ハッピーフードドライブ）

- 令和6年8月～ファミリーマート上池台4丁目店フードドライブ開始
8月～3月 102.3 kg
- 令和6年11月～調布地区館内5地域包括支援センター
(上池台・嶺町・田園調布・久が原・たまがわ) フードドライブ開始
11月～3月響会回収分(上池台・嶺町) 106.2 kg

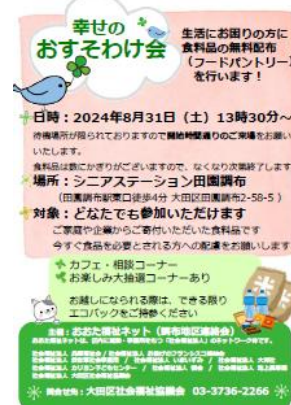


D: 幸せのおすそ分け会【調布地区法人協フードパントリー】

1回目

日 時：令和6年8月31日(土) 13:00～15:00

- 場 所：シニアステーション田園調布
- 来場者数：17名
- 運営・見学
長寿園、響会、大洋社〔実習生含む〕、
いまいずみ、兵庫福祉会、調布地域福祉課、
田園調布民生委員会、シニアクラブ、シニアステーション田園調布
- 事前準備(食糧仕分け)：
池上長寿園、大田区社会福祉協議会



2回目

- 日 時：令和6年12月13日(金) 13:00～15:00
(まちかど相談室同時開催)
- 場 所：地域包括支援センター嶺町
(嶺町特別出張所2階)
- 来場者数：36名



- 運営・見学
長寿園、響会、大洋社〔心理職員含む〕、いまいずみ、調布地域福祉課、
嶺町民生委員会、シニアステーション東嶺町
- 事前準備(食糧仕分け)：
長寿園、響会、大洋社、兵庫福祉会、カリヨンこどもセンター
大田区若年性認知症デイサービス「HOPE」



E: 【近隣こども食堂へのフードパントリー】

- 配布先：カフェCABIN こども食堂
- 配布回数：4回
- 配布重量：101.95 kgをおすそ分け



4. 施設管理

- (1) 好日苑（本館・新館）内装仕上げ大規模改修工事
本館食堂防災ガラスフィルム貼付け工事
令和6年4月15日～令和6年8月15日
- (2) 好日苑本館「多床室床頭台（可動式造作家具）」全台更新
令和7年2月18日～令和7年2月21日
- (3) 本館防犯センサー更新
令和7年2月4日～令和7年2月8日
- (4) 新館電子錠の更新
令和7年2月26日～令和7年2月28日
- (5) 馬込拠点パソコン全台更新
- (6) 移乗支援ロボット Hug 6台導入
- (7) 新館リビング休憩スペース設置

II 安全対策

1. 災害対策推進チーム（STST）2回開催

2. 東京都令和6年度東京都社会福祉施設等への非常用電源等整備促進事業を活用

【 災害用可搬型蓄電池の整備 】

	数量		
	600	2000	計
合計	11	2	13
特養	1	1	2
ショート	1	1	2
デイ	3		3
ヘルプ	3		3
居宅	3		3



3. 大規模防災訓練

令和6年10月6日（日）9:00～12:30

BCP(事業継続計画)に基づく初動確認と福祉施設避難所開設のあと、BCP説明研修の3部制

4. 自衛消防訓練審査会

令和6年9月6日（金）1隊2名参加

5. 令和7年3月11日（火）特養現場職員による「KIZUKI」の実施

高齢者介護施設の夜勤時間に大規模震災が発生したことを想定し限られた人員と各自の備蓄品知識・災害対応能力を駆使し想定される様々な事象を乗り越え、職員・入居者が夜勤時間を生き延びるイメージをシミュレーションするゲーム

6. 衛生管理委員会の開催（全12回）

安全確認（労働環境・衛生）・職員健康診断・腰痛予防・ストレスチェック・感染症対策

Ⅲ 苦情処理

【法人受付】

日付	種別	内容	改善対策
7/22	ケア内容	訪問介護利用者からのサービス実施内容の相違	申立人とサービス内容を確認し再開
11/6	その他	匿名者で職員の対応に不満	職員へ丁寧・親切に誤解を与えない対応を徹底。カスタマーハラスメントについては上司に報告を促す
合 計			2

Ⅳ 地域交流

1. 第27回 好日苑まつり

(1) 実行委員会 全4回 (6/20・7/25・8/22・9/26)

(2) 実施内容

日 時 : 令和6年9月8日(日) 12:00~14:00、15:00~16:00

参加者 : 特養入所者及びご家族及び地域住民

内 容 : 5年ぶりに地域交流としての好日苑まつりを、9月8日(日)に苑の駐車場に模擬店も出店し開催しました！快晴に恵まれ大勢の方にご来苑頂き、盛況のうちに終了する事が出来ました。また今年は同日に上睦会(自治会)のお祭りの神輿も来苑され、お祭り気分満載の1日でした。



V 理事会・評議員会

1. 理事会及び評議員会 等

(1) 理事会議案

第1回 令和6年5月24日（金）	
第1号議案	令和5年度 事業報告（案）
第2号議案	令和5年度 決算報告（案）／監事監査報告
第3号議案	社会福祉充実計画
第4号議案	給与規程の一部改正（東京都介護職員・介護支援専門員居住支援特別手当事業）
第5号議案	次期役員候補者推薦（案）
第6号議案	役員及び評議員報酬規程の改正（案）
第7号議案	令和5年度定時評議員開催
報告事項①	新聞掲載記事紹介（読売新聞・シルバー新報）
第2回 令和6年6月14日（金）	
第1号議案	理事長職辞任
第2号議案	理事長選任
第3号議案	役員等賠償責任保険契約
第4号議案	個人情報保護規定の一部改正
第5号議案	給与規程「別表2 手当」一部改正
報告事項①	響会 Instagram・LINE 開設・登録案内について
第3回 令和6年10月25日（金）	
第1号議案	本館床頭台更新プロポーザル結果及び契約締結
第2号議案	独立行政法人福祉医療機構借入金返済完了及び抵当権登記の抹消
報告事項①	理事長の業務執行報告
報告事項②	好日苑内装仕上げ大規模改修工事完了報告
報告事項③	次世代介護機器導入支援事業費補助申請予定
報告事項④	給食業務委託費増額改定報告
第4回 令和7年1月24日（金）	
第1号議案	第7次中期経営計画（案）
第2号議案	育児・介護休業等に関する規則の一部改正
第3号議案	食費の値上げに伴う「運営規定」の改訂
報告事項①	社会福祉法人響会 東京都介護職員宿舎借り上げ支援事業取り扱い規程
報告事項②	調布地区法人協の活動報告
報告事項③	馬込地区地域包括支援センター評価選定結果
第5回 令和7年3月28日（金）	
第1号議案	令和6年度 第1回 補正予算（案）
第2号議案	令和7年度 事業計画（案）
第3号議案	令和7年度 当初予算（案）
第4号議案	年額1,000万円を超える業務委託契約
報告事項①	理事長の職務執行状況報告
報告事項②	令和6年度 第三者評価結果報告 「特養」「ショートステイ」「デイ」「ヘルプ」「ケアプラン」

(2) 評議員会議案

定時評議員会 令和6年6月14日（金）	
第1号議案	令和5年度 事業報告（案）
第2号議案	令和5年度 決算報告（案）／監事監査報告
第3号議案	社会福祉充実計画
第4号議案	次期役員選任（案）
第5号議案	役員及び評議員報酬規程の改正（案）
第6号議案	役員等賠償責任保険契約
報告事項①	響会 Instagram・LINE 開設・登録案内について

(3) 役員及び評議員（令和 7 年 3 月 31 日現在）

役職名	氏名	備考
理事	中山 政昭	理事長
理事	栃原 憲彦	施設長
理事	戸金 隆三	
理事	海老澤 信吉	
理事	門倉 友子	
理事	常安 雅彦	
理事	小林 信正	
監事	谷塚 秀男	
監事	秋元 雪絵	
任期 R5. 6. 16～R7-定時評議員会まで		

役職名	氏名	備考
評議員	杉山 鈴子	
評議員	鈴木 壽子	
評議員	星野 勝世	
評議員	森井 郁夫	
評議員	海老澤 幸子	
評議員	玉井 直仁	
評議員	中野 眞木夫	
評議員	大字 久美子	
任期 R3. 6. 18～R7-定時評議員会まで		

2. 本部会議 等

(1) 幹部会

上半期開催	主な内容	下半期開催	主な内容
4 月 4 日	部門報告・行政等通知・医療契約書改	10 月 10 日	部門報告・行政等通知・ｲﾝｽﾀ募集
4 月 11 日	部門報告・行政等通知・Instagram 等	10 月 17 日	部門報告・行政等通知・指定更新研修
4 月 18 日	部門報告・行政等通知・入所指針改定	10 月 24 日	部門報告・行政等通知・職員親睦会
4 月 25 日	部門報告・行政等通知・処遇改善手当	10 月 31 日	部門報告・行政等通知・FB 確認事項
5 月 2 日	部門報告・行政等通知・福祉避難所	11 月 7 日	部門報告・行政等通知・都物価高騰
5 月 16 日	部門報告・行政等通知・生産性向上指針	11 月 14 日	部門報告・行政等通知・収支モデル
5 月 23 日	部門報告・行政等通知・定額減税	11 月 21 日	部門報告・行政等通知・年賀状送付
5 月 30 日	部門報告・行政等通知・居住支援手当	11 月 28 日	部門報告・行政等通知・火災連絡者
6 月 6 日	部門報告・行政等通知・理事長交代	12 月 5 日	部門報告・行政等通知・育児介護改正
6 月 13 日	部門報告・行政等通知・好日苑まつり	12 月 12 日	部門報告・行政等通知・食費改定
6 月 20 日	部門報告・行政等通知・SPK 誤作動	12 月 19 日	部門報告・行政等通知・借上宿舍改定
6 月 27 日	部門報告・行政等通知・食費値上げ	12 月 26 日	部門報告・行政等通知・可搬型蓄電池
7 月 4 日	部門報告・行政等通知・床頭台 PP	1 月 9 日	部門報告・行政等通知・ボラ記念品
7 月 11 日	部門報告・行政等通知・SPK 損害修理	1 月 16 日	部門報告・行政等通知・給与内規改定
7 月 18 日	部門報告・行政等通知・床頭台 RFP	1 月 23 日	部門報告・行政等通知・人材コンサル
7 月 25 日	部門報告・行政等通知・内装工事経過	1 月 30 日	部門報告・行政等通知・R6 補正予算
8 月 1 日	部門報告・行政等通知・6 次計画評価	2 月 6 日	部門報告・行政等通知・契約職時給
8 月 8 日	部門報告・行政等通知・配置医師加算	2 月 13 日	部門報告・行政等通知・就職相談会
8 月 15 日	部門報告・行政等通知・最低賃金	2 月 20 日	部門報告・行政等通知・人材確保補助金
8 月 22 日	部門報告・行政等通知・職員親睦会	2 月 27 日	部門報告・行政等通知・BCP 更新
8 月 29 日	部門報告・行政等通知・7 次計画検討	3 月 6 日	部門報告・行政等通知・特休考え方
9 月 5 日	部門報告・行政等通知・給食委託比較	3 月 13 日	部門報告・行政等通知・契約書改定
9 月 12 日	部門報告・行政等通知・借入返済完了	3 月 19 日	部門報告・行政等通知・台湾企業視察
9 月 19 日	部門報告・行政等通知・第三者評価	3 月 27 日	部門報告・行政等通知・区物価高補助
9 月 26 日	部門報告・行政等通知・職員採用計画		
10 月 3 日	部門報告・行政等通知・床頭台 RFP 審査		
全 50 回開催			

(2) 経営会議

開催日	経営会議議題
4月5日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和6年度4月5月人事 令和5年度第5回理事会決議報告 令和5年度事業報告（案）について 介護職員処遇改善補助金計画書・介護職員等処遇改善加算計画書 第23回ひびきほっとサロン実施報告 本館内装仕上げ大規模改修工事入札結果と工事への協力依頼 心の小箱（苦情・意見等）について 「理事長」「施設長」のコメント
5月9日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和6年度第1回理事会開催案内 東京都介護職員・介護支援専門員居住支援特別手当事業 令和6年度前期特養申込2次評価者数と今後の優先入所制度について 防災訓練【職員安否確認報告】事前告知 好日苑内装工事への協力について 新館居室電気温水器更新工事（57台） 心の小箱（苦情・意見等）について 「理事長」「施設長」のコメント
6月7日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和6年7月人事 令和6年度第1回理事会決議、定時評議員会、第2回理事会開催報告 令和6年度夏期賞与等支給 第24回ひびきほっとサロン実施報告 災害時訓練【職員安否確認報告】実施報告 令和6年度職員親睦会アンケート協力依頼 令和6年度【定額減税】について 響会 公式 Instagram / LINE 開設・登録依頼 心の小箱（苦情・意見等）について 「理事長」「施設長」のコメント
7月5日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和6年8月人事 令和6年度定時評議員会、第2回理事会決議報告 第27回好日苑まつりについて 令和6年度職員親睦会開催について 心の小箱（苦情・意見等）について 「理事長」「施設長」のコメント
8月7日	前月の実績報告（部門報告含む） 介護職員処遇改善加算等 実績報告 令和6年度合同慰霊祭開催 第25回『ひびきほっとサロン』実施報告 令和6年度 自衛消防訓練審査会参加 特別養護老人ホーム「新」優先入所に関する評価結果について 粗大ごみ回収及び書類廃棄について 心の小箱（苦情・意見等）について 「理事長」「施設長」のコメント
9月6日	前月の実績報告（部門報告含む） 第27回好日苑まつり開催について 令和6年10月1日 響会最低賃金改定 ストレスチェック実施（10月実施） 第3回調布地区法人協フードパントリー実施報告 防災訓練（自然災害BCP）実施について 心の小箱（苦情・意見等）について 「理事長」「施設長」のコメント

開催日	経営会議議題
10 月 8 日	令和 6 年度 第 3 回理事会開催案内 第 26 回【 ひびきほっとサロン 】実施報告 第 27 回好日苑まつり実績報告 職員親睦会から職員懇親会中止に伴う対応について 防災訓練（自然災害 BCP）実施報告 給食業務委託費増額改定について 社内ルール確認 心の小箱（苦情・意見等）について 「理事長」「施設長」のコメント
11 月 8 日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和 6 年度 第 3 回理事会決議報告 ストレスチェック実施（10 月実施）結果 調布地区法人協連絡会フードドライブ開始報告 心の小箱（苦情・意見等）について 「理事長」「施設長」のコメント
12 月 6 日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和 6 年度 1 月人事 令和 6 年度冬期賞与等支給 年末年始手当の増額 第 27 回【 ひびきほっとサロン 】実施報告 令和 7 年～年賀状の送付について 粗大ごみの回収 心の小箱（苦情・意見等）について 「理事長」「施設長」のコメント
1 月 10 日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和 6 年度第 4 回理事会開催案内 人財確保への取組 可搬型蓄電池整備 令和 7 年度事業計画作成について 心の小箱（苦情・意見等）について 「理事長」「施設長」のコメント
2 月 7 日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和 6 年度第 4 回理事会決議報告 馬込地区地域包括支援センター評価結果 第 7 次中期経営計画について 第 28 回ひびきほっとサロン開催報告 令和 6 年度ボランティア表彰について 心の小箱（苦情・意見等）について 「理事長」「施設長」のコメント
3 月 7 日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和 7 年 4 月人事 令和 6 年度第 5 回理事会開催案内 令和 7 年度 永年勤続表彰者 調布地区法人協の活動につて 心の小箱（苦情・意見等）について 「理事長」「施設長」のコメント

事務部門

経営及び介護現場に関するサポートを迅速かつ正確に行い、最新の情報を継続して維持・保管ができるように努め、老朽化した建物・設備整備・修繕を行い、法人事務分野を含め、適切な事務処理を行いました。

システムを活用しての情報処理・保管を行い、経営分析指標となる月次報告書を作成、労働状況等のデータベース管理を行い、各種届出・調査等が速やかに行えるように努めました。建物・設備等の老朽化対応では、本館・新館の内装仕上げ大規模改修工事、介護支援システム「ほのぼのNEXT」への変更、馬込拠点のパソコン入替等を行いました。

また、ホームページ・メールサーバーのセキュリティ強化及び経費削減を目的に「XServer」に移行しました。

1. 主な規程改正

	規 程	備 考
1	役員及び評議員報酬規程	理事長報酬改定
2	個人情報保護規定	法令改正
3	育児・介護休業等に関する規則	法令改正
4	社会福祉法人響会 東京都介護職員宿舎借り上げ支援事業取り扱い規程	新規設置

2. 職員数

令和7年3月31日現在（在籍者）

法人合計			正 規			非正規		
計	女性	男性	計	女性	男性	計	女性	男性
198	139	59	136	89	47	62	50	12
—	70%	30%	—	65%	35%	—	81%	19%

3. 育児休業取得者数／出産者数

法人合計			女 性			男 性		
取得者	対象者	取得率	取得者	対象者	取得率	取得者	対象者	取得率
3	3	100%	2	2	100%	1	1	100.0%

4. 役員及び管理的地位にある者に占める女性の割合

令和7年3月31日現在

役員	管理監督職（係長以上）
22.2%	52.6%

5. 年次有給休暇消化率

法人全体
74.4%

※ 年度内消化日数 ÷ 4/1現在の有給日数

6. 安全衛生

- (1) 産業医 熊木医師
- (2) 衛生管理者 角川事務係長
- (3) 安全衛生委員会 全 12 回（月 1 回）
 - ① 巡回指導（産業医により巡回点検）
 - ② 健康指導（健康診断結果報告、ストレスチェック実施状況報告、心の健康 等）
 - ③ 労働衛生（長時間労働、職場におけるパワーハラスメント 等）
 - ④ 感染症状況（新型コロナウイルス、インフルエンザ 等）
- (4) 労働災害申請（業務災害 1 件、通勤途上 1 件）

7. 情報管理

- (1) 経営情報
 - ① 経理規程に基づく月次報告
 - ② 経営会議における月次報告（経営実績報告）
 - ③ 古田土会計による月次報告（経営分析）
 - ④ 当初予算、補正予算、決算書（計算書類等）の作成
- (2) 業務システム

システム名	用途
PCA クラウド社会福祉法人会計 DX	経理会計における財務管理
PCA クラウド固定資産 DX	固定資産管理（減価償却計算等）
PCA クラウド給与 DX	給与会計・年末調整等の源泉徴収管理
PCA Hub	電子帳簿保存法による帳票保存
ADVANCE 勤怠クラウド	出勤・退勤時間、欠勤、休暇等管理
サイボウズ	情報共有
Excel	人事・労働者情報等のデータベース
ほのぼの NEXT	介護報酬・利用料請求
XServer	ホームページ・メール管理

- (3) ネットワークセキュリティ
 - ① ファイアウォールによる不正アクセスからの保護
 - ② ウイルス対策ソフトによるウイルスの検出と削除、システムの保護
 - ③ 迷惑メールフィルターの随時更新

8. 各種届出等

【主な届出】

種別	届出先	内 容
経営情報	大田区	社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム(大田区提出)
	東京都	介護サービス事業者の経営情報の報告
	税務署	公益法人等の損益計算書等の提出
労働関係	労働基準監督署	就業規則変更届(給与規定改正)
		健康診断結果報告
		心理的な負担の程度を把握するための検査結果報告(ストレスチェック)
	東京労働局	一般事業主行動計画届 (次世代育成支援対策推進法・女性活躍推進法)
法務関係	法務局	理事長変更登記、資産の総額登記
	法務局	抵当権登記の抹消

9. 建物・設備整備

【主な修繕・設備整備 等】

	名称		区分	完了
1	エレベーター修理(震撼装置)		修繕	6/18
2	本館 210 室トイレ漏水		修繕	4/4
3	本館 3 階 汚物除去機 パッキン修理		修理	4/30
4	介護予防ソフト		固定	6/3
5	新館休憩スペース		固定	6/10
6	内装関係	新館居室内装工事	固定	8/8
7		本館内装工事	固定	8/8
8		本館トイレ配管工事	固定	8/8
9		本館内装不随工事	固定	8/8
10		天窓ト遮熱・遮光コーティング	修繕	8/8
11		洗面所排水配管交換工事	修繕	8/8
12		本館 3F 浴室床長尺シート	修繕	8/8
13		本館ベランダ側溝清掃	委託	8/8
14	スプリンクラー内装修繕		修繕	8/8
15	デイテーブル 4台		固定	7/25
16	スプリンクラー修理キャンセル		修理	9/6
17	スプリンクラー修理		修理	9/27
18	タイムレコーダー		固定	9/27
19	本館食堂ガラスシール工事		修繕	11/26
20	本館食堂飛散フィルム		修繕	12/18
21	ケアパレット		固定	12/19
22	厨房事務所結露対策		修理	12/10
23	移乗支援ロボット Hug 6 台		固定	1/21
24	本館床頭台		固定	2/20
25	給排水管老朽化調査(部分調査)		委託	3/5
26	本館徘徊センサー		固定	2/18
27	新館電子錠主装置(1・2・3 階 計 3 台)		固定	2/28
28	馬込地区 パソコン		固定	2/14
29	ケアプラン電話移設		修繕	3/9

特養部門（特別養護老人ホーム 好日苑）

令和6年度は「第6次中期経営計画」の最終年度としてハード面、ソフト面共に大きな変化をもたらした1年となりました。年度初めには介護報酬の改定があり、「協力医療機関との連携体制の構築」、感染症や災害への対応力向上として「事業継続計画（BCP）」の策定及び「高齢者虐待防止措置」の義務化、働きやすい職場環境づくりとして「生産性向上推進体制加算」が創設され、当苑でも適切な介護報酬の算定が行えるよう整えました。その中でも令和6年度は現場職員から要望が多くありました移乗用介護ロボット（HUG）6台を導入。ICT化に向けた介護ソフトの変更、居心地の良い環境及び働きやすい職場環境として本館内装工事と本館床頭台更新。新館居室の壁紙張替え工事を実施させて頂きました。

人材確保では、5月から段階を踏んで特定技能外国人財を受け入れ、計3名の特定技能外国人財の育成を行い、夜勤を含む通常業務を任せられる頼もしい存在となりました。

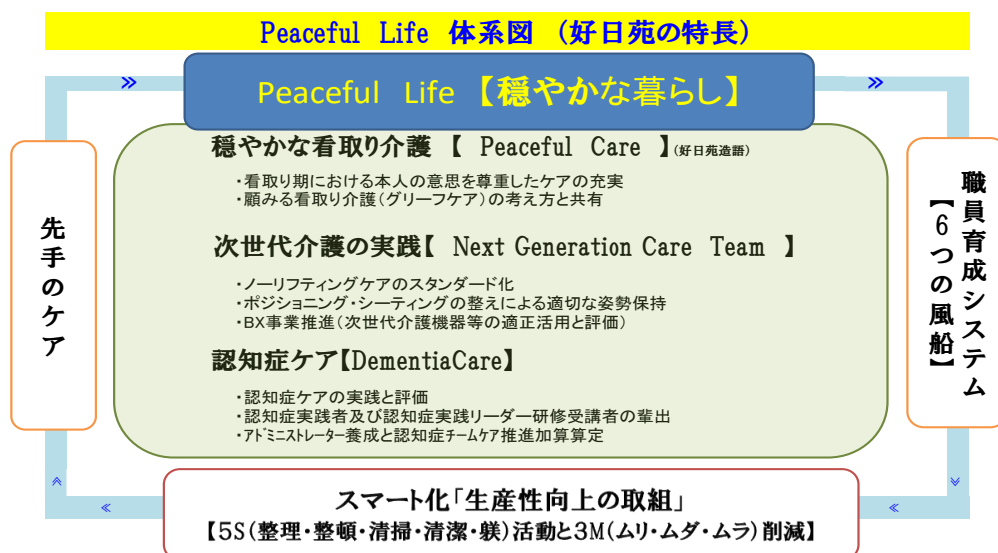
認知症ケアについては日々の取り組み内容をアクティブ福祉にて発表させて頂き、広く好日苑を知って頂く機会となりました。またスマート化の取り組みについて、排せつメーカーの変更による業務のスマート化を行うと共にコストの大幅な削減も実現できました。

最後に感染症発症状況ですが、5月と1月に新型コロナウイルス感染症の集団感染が発生し、収束に概ね1ヶ月を要しました。今後も感染症対策の予防に努めながら「通い型介護」の実践に向けて邁進していきます。

【重点目標】の評価

(9) 好日苑（特養・ショート）≫第6次中期経営計画を踏まえた令和6年度事業計画の重点施策	
利用者	① Peaceful Care（看取り介護）の実践 ② 次世代介護の標準化及び個別機能訓練加算、ADL維持等加算の適正な算定 ③ 認知症実践者及び認知症実践リーダー研修受講者の輩出による専門的な支援の実践とアクティブ福祉in東京'24への参画
職員	① PDCAサイクルに基づく職員育成システムの運用とQC活動（アクティブ福祉参画） ② 科学的介護に基づく「先手のケア」の実践 ③ スマート化における働きやすい職場環境創り（5Sの実行と3Mの検討） ④ DX事業の推進（次世代介護機器の適正活用と評価）
経営	⑧ 響会 大規模防災訓練の実施 ⑨ 地域との現状の関りの継続 ⑩ 入院日数 1,200 日／年 ≫施設稼働 98.0% （特養 96.6%、SS108%）

I 本館・新館 目標 「Peaceful Lifeの実現」



「職員育成システム」

【6つの風船】

「洞察力」「コミュニケーション」「知識」「技術力」「専門的意識」「好日苑の特長」この6つの風船をバランスよく膨らませる事が出来る人財を育てていきます。

- ・人事考課制度の適正運用
- ・BS（ベーシック・スキル）研修制度の活用
- ・「特養 育成本」を活用したPDCAサイクル（職員個別育成計画の活用と評価）
- ・無資格未経験者、外国“人財”の育成
- ・次世代介護を担うリーダー及びネクスト職員の育成
- ・対面式及び動画視聴式による研修体制の効率化

令和6年度は9名の新入職員を対象にBS研修を、次世代を担うネクスト職員(中堅職員)10名を対象にネクストBS研修を実施させて頂きました。また6年度より特定技能外国人財として3名の職員が入職。介護未経験の職員も3名入職し、「特養 育成本」を活用した育成を行い、夜勤を含むフル勤務ができるようになり、頼りになる職員の仲間が増えました。研修の機会につきましても対面式の全体研修を11回、動画視聴研修を5回開催し好日苑の求める『6つの風船』をバランスよく膨らませる事が出来る人財育成が出来たと実感しております。

【スマート化】

好日苑でいう「スマート化」とは、余計な肉を取り必要な部分は残すために、筋トレとしての研修や、共通書式等による事務作業の簡素化、職員協働による業務の効率化を図ることを目的としています。

- ・生産性向上に向けた取組（働きやすい職場環境創り）
本館⇒チームアプローチ（チューターユニット制）の機能強化
新館⇒ユニットケアの実践
看護⇒好日苑式チームナーシングの検討
- ・5S（整理・整頓・清潔・清掃・躰）の実行と3M（ムリ・ムダ・ムラ）現状把握
- ・介護・看護業務の整理と効率化
- ・業務マニュアルの見直しと更新

生産性向上に向けた取組として、本館では主任・副主任を中心によりチューターを意識したチームの機能強化、新館ではユニットケアの実践に向けて「ユニットリーダー研修」に4名の主任及び副主任を受講させる事が出来ました。各自が学んだユニットケアをチームで共有し新館会議にて実践が出来ました。看護部門においては一昨年度途中より常勤看護職員の増員が出来た事で3名体制だった常勤職員が6名体制に増え順調に看護業務の整理を行う事が出来、チームで協働していく体制が整いました。5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)について、本館内装及び床頭台更新と新館居室のリニューアルに伴い、不要なものを整理し綺麗な環境が整いましたので、引き続き綺麗な環境維持に努めていくと共に、3M(ムリ・ムダ・ムラ)の視点で業務手順書の作成を行い、より質の高いケアの実現に向けて令和7年度も継続して取り組んでいきます。

「先手のケア」

気付きの重要性を他職種で共有し先の生活を見越した支援（先手のケア）をする事で、入居者の安心した暮らしを支援していくと共に、介護サービスの質の向上を図る観点から、介護サービスの質の評価と科学的介護の取組を推進しケアプランを通してエビデンスの可視化に努めていきます。

- ・入院日数 1,200 日/年
- ・科学的介護 LIFE（データに基づいた介護の可視化）による「根拠のある介護」の実践
- ・自立支援促進加算の評価と見直しによる適正運用（配置医師との連携）
- ・他職種との連携強化（介護・看護・PT・栄養・相談）

ご入居者様の安心した暮らしの提供を目的に、配置医師の先生方のご協力の下、介護・看護・相談・栄養・理学療法士・ご家族様と密に連携を図る事で、ご入居者様の意向に沿った形で、早めの対応を心掛け、入院に至る重篤な症状を未然に防ぐ取り組みを実践し入院日数を年間 1200 日以内としたのに対し 677 日と大幅に目標を達成する事ができました。また「根拠のある介護」の実践として毎月、LIFE で作成したデータを厚労省へ提出すると共に、適正な加算算定を行う事でサービスの質の向上にも努めていく事が出来ました。

【Peaceful Care】「穏やかな看取り介護」

入居されてから看取り介護で退居に至るまで、食べる楽しみをいかに長く支援できるのか、藤島式嚥下グレードを参考に、入居者の嚥下レベルごとの支援を設定し、少しでも長く生活して頂くことを目的として、最期は施設で、ご家族と共に安らかに看取ることが出来る一連の流れの確立を目標としています。

- ・経口維持による他職種での食事支援と口腔衛生の取組
- ・看取り期における本人の意思を尊重したケアの充実
- ・顧みる看取り介護（グリーンケア）の考え方の共有

令和 6 年度は退居者 36 名のうち 20 名の方（56%）を苑にて看取ることができました。令和 5 年度の 76% に比べ看取り介護を実施した方は減少しましたが、病院等での療養での退所など、ご本人の身体状況に合わせ、その人らしく過ごして頂く事を目的とした選択肢を選ばれた方も観られました。好日苑での看取り介護の考え方の幅が広がったと考えております。尚、令和 6 年度の看取り介護実施期間の合計は 412 日間で、看取り介護期間の平均は 21 日間でした。平成 18 年度から令和 6 年度までの 19 年間で、看取り介護を実施した方の総数は 330 名となりました。

「次世代介護実践チーム(NGCT)」【Next Generation Care Team】

次世代介護の実践として、次世代介護機器やノーリフティングケアの浸透を図る事で、入居者様、職員双方に優しいケアを実現していきます。

- ・ノーリフティングケア（有する能力を活かしたケア）の継続的な実践（ボディメカニクスと福祉用具の活用）
- ・生産性向上（DX 事業推進）の取組（次世代介護機器の適正運用と評価）
- ・機能訓練指導員との協働による日常生活における機能訓練の実践と評価（機能訓練加算と ADL 維持等加算の算定）
- ・Peaceful Life の実現に向けたポジショニングやシーティングの標準化

「次世代介護実践チーム(NGCT)」を中心に、ノーリフティングケアの考え方を基本として、次世代介護機器の適正運用と評価を行い、令和 6 年度は令和 3 年度から導入している「介護に必要不可欠な存在となっている」移乗用介護ロボット(HUG)を 4 台導入。各フロアに 1 台ずつの配置とし、入浴時に使用できる「入浴用 HUG」も 2 台導入し、課題となっていた入浴時のノーリフティングケアの実践を行う体制を整える事が出来ました。またポジショニングやシーティングの標準化にも力を注いでいく事で、第三者評価でも適正な姿勢保持が保たれていると評価して頂きました。

認知症ケア検討会【Dementia Care】

認知症介護実践者研修及び認知症介護実践リーダー研修の受講を通して認知症への理解を深めると共に、行動・心理症状（BPSD）の予防及び出現時の早期対応ができるよう認知症へのスキルアップをチーム全体で行います。

- ・認知症の対応力を強化する為の事例検討会、研修の実施
- ・アクティブ福祉 in 東京 '24 への参画
- ・認知症実践者及び認知症実践リーダー研修受講者の輩出

認知症へのスキルアップを目的に各階の副主任が中心となって事例検討会を行いました。認知症の手法や考え方などの研修も行いながら、困難事例等にどのように対応していくかを1年間の計画を立て実践していきましました。それぞれ失敗や成功を繰り返しながらもチームで連携を取りながら実践していく事ができました。令和6年度の最後には、1年間の実践事例を発表する場を設け、先輩職員からの講評を受けました。各階での取り組みを発表する場を作る事や、目標を持つことでやる気にも繋がり、好日苑全体でのチームワーク向上にも繋がりました。

【 係長会議(3C) 】

① 利用者：入院日数削減への提案・取組

1,200 日/年の目標に対して、「先手のケア」の取り組みで早期発見・早期対応を心掛けていく事で、5 月及び 1 月に感染症の発症がありましたが、677 日と目標を達成する事が出来ました。

② 職 員：人財確保対策

令和6年度は、対面とオンラインでの就職フェアが開催されましたが、若い世代の求職者が少なくシニア層での介護補助員として 2 名の採用を行う事が出来ました。

採用活動の実績としましては、東京都の介護職員就業促進事業にて 1 名の職員採用またインスタやホームページによる直接応募や、非常勤職員からの雇用変更等、令和 6 年度は 15 名の正規職員採用に繋げる事が出来ました。

就職フェア	
令和 6 年 7 月 10 日	おおた介護のお仕事就職相談・面接会⇒不参加
令和 6 年 10 月 26 日	大田区 ふくしのしごと市 1 名採用(介護補助員)
令和 6 年 12 月 1 日	福祉の仕事 就職フォーラム(オンライン開催)
令和 7 年 12 月 10 日	第 2 回特別養護老人ホーム等就職相談会 1 名採用(介護補助員)

採用状況	正規職員		非常勤職員		派遣職員	
	入職	退職	入職	退職	入職	退職
介護職員	14	9	2	3	1 (1)	1 (1)
看護職員 理学療法士	1	4	0	0	2.8 (3)	1 (1)

* () 内は実数

③ 経 営：特養 138 床 特養稼働目標 96.6%

ショートステイ 19 床 ショート稼働目標 108%

施設稼働目標 98.0% 入院日数 1,200 日/年

令和 6 年度稼働実績

特養 97.2% ショートステイ 116.8%

施設稼働 99.6%、入院日数 677 日/年(前年度比較+8 日)

令和6年度の稼働実績ですが、全ての部門で目標を大きく上回る事が出来ました。「先手のケア」の実践による入院日数削減と「断らないショートステイ」の実践による空床ベッドの活用等が上手く噛み合った事が目標達成の要因の一つと考えています。

【 看護師会議 】

① 先手のケア

- ・入院日数 1,200 日/年
- ・他職種との連携強化(介護・看護・PT・栄養・相談)
- ・医療との連携

② スマート化

- ・5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)の徹底
- ・看護業務の効率化

- ・業務マニュアルの更新

③ 穏やかな看取りケア【Peaceful Care】

- ・看取り期における本人の意思を尊重したケアの充実
- ・看取り前段階からの他職種とのケアの連携、医療との連携

【 本館会議 】「好日苑における 6 つの取り組み×SDGs」

- 重点目標 1：「職員育成システム」
- 重点目標 2：「スマート化」
- 重点目標 3：「先手のケア」
- 重点目標 4：「穏やかな看取り介護」
- 重点目標 5：「次世代介護の実践」
- 重点目標 6：「認知症ケア」

【 新館会議 】

- ① 利用者：“専門性”と“想い”を汲んだケア(当たり前の生活)
- ・新館全体でのカバー体制構築に向けて
- ・「24時間の暮らしの継続」に向けて(ユニットケアの実践)
- ・スマート化から利用者視点への変化

Ⅱ 生活支援

1. 情報の共有化を図り、多職種協働のケアを提供します。

(1) ケアプランの質の向上について

令和 6 年度は退居者 36 名、入居者 39 名でした。その中で、看取り介護で旅立たれた方は 20 名でしたが、病院等での療養で退居された方が 3 名と、ご本人の身体状態に合わせてその人らしく過ごして頂く事を目的とした選択肢を選ばれた方も観られた年度となりました。

また、ご入居者様の QOL の維持・向上を考える上で、次世代介護機器の活用も定着しており、ご入居者様、職員ともに負担の少ないケアが行えるようになりました。介護業界も生産性向上・ICT 化が進んでいる中で、好日苑が培ってきた良い面は継続しながら、時代に順応した柔軟な視点を持ちケアの質の向上に向けて、取り組んで行きたいと思います。

(2) 本館業務改善と職員育成

令和 6 年度は、前年度開始した安心入浴＝(イコール)「個別ケアを知ってるからこそできる集団入浴」が軌道にのり、次のステップとして、入浴チームを結成して質の向上(満足度の向上)に努めることから始めました。改めて基本の介助方法から、リスク回避、また羞恥心への配慮も再考しました。職員育成面では、特定技能外国人の受け入れを行い、基本的な好日苑における育成の考え方は変えずに「業務ではなく、ケアを教える。利用者を知る。」を第一に、コミュニケーション、記録面での工夫をして、勤務デビューに繋げることができました。下半期にかけては、改めて生産性向上の取り組みの目的、具体的な方法を検討しながら、勤務体制(フリー早番の動き等)の構築に努めていきました。また食事シーンでの職員の動き方、配薬方法の適正化を図り、マニュアルの見直しによる、業務の標準化を図る事が出来ました。今年度は、各階の独自のルールや流れのそれぞれのいい部分を取り入れ、全体化、標準化することができました。次年度も、好日苑従来型の特徴を活かして、更なる生産性向上に努めていきます。

(3) 新館業務改善と職員育成

令和6年度は、ユニットケアの原点に立ち戻り「基本とは」をキーワードに、「食事」「口腔ケア」「身体洗浄」「ポジショニング・ボディーメカニクス」「主任・副主任に業務バランス」をテーマに、それぞれが基本として考えていること、応用として行っていることの意見を出し合いました。新館会議メンバー間でも他者の意見を聞き、「そうゆう考え方もある」と気づきに繋がり、改めて根拠の大切さを感じることができました。「人によってやり方が違う」ことがご入居者様だけではなく、新入職員の混乱を招くことを意識し、「基本」を大切にされたケアを行うことに取り組んだ1年でした。また、ユニットケア施設としては、「ケアと介護」について考える場をつくり、自立支援の元の介護と、気持ちに寄り添ったケアを使い分け、ご入居者様の身体も心も大切にできる視点を持つことができる介護職員の育成を意識しました。次年度は、ソフトの部分とハード、システムが融合でき、継続したユニットケアができ、かつ生産性が向上するように取り組んでいきます。

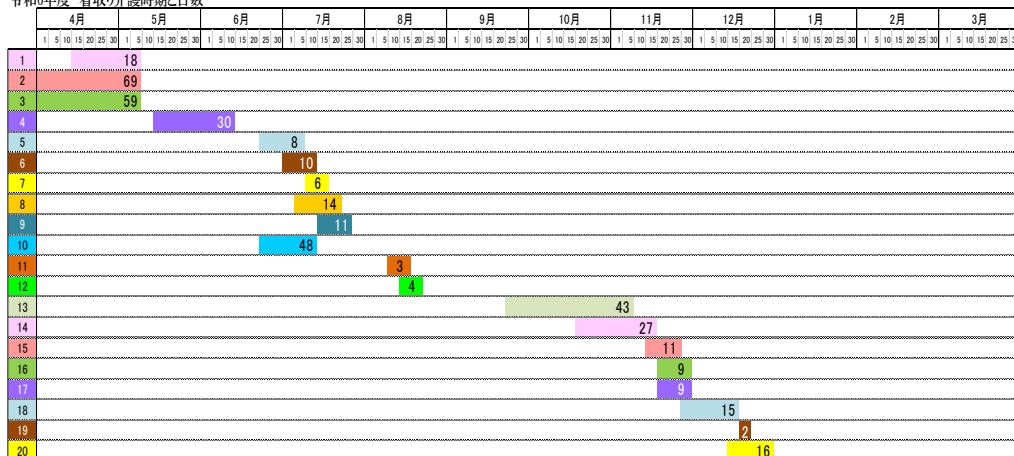
2. 「安心と暖かさ」を感じられる看取り介護を目指します。

配置医師によるご家族への病状の説明を行い、苑での看取り介護についての説明と同意を経て実施いたしました。令和6年度は退居者36名のうち20名の方(56%)を苑にて看取ることができました。令和5年度の76%に比べ看取り介護を実施した方は減少しましたが、病院等での療養での退所など、ご本人の身体状況に合わせ、その人らしく過ごして頂く事を目的とした選択肢を選ばれた方も観られました。好日苑での看取り介護の考え方の幅が広がったと考えております。尚、令和6年度の看取り介護実施期間の合計は412日間で、看取り介護期間の平均は21日間でした。(表②)平成18年度から令和6年度までの19年間で、看取り介護を実施した方の総数は330名となりました。

今後も、Peaceful Careの体系図『図1』に基づいて、出来る限り長く経口摂取が出来る支援、看取る側、看取られる側の立場に立った支援を心がけていきたいと思います。

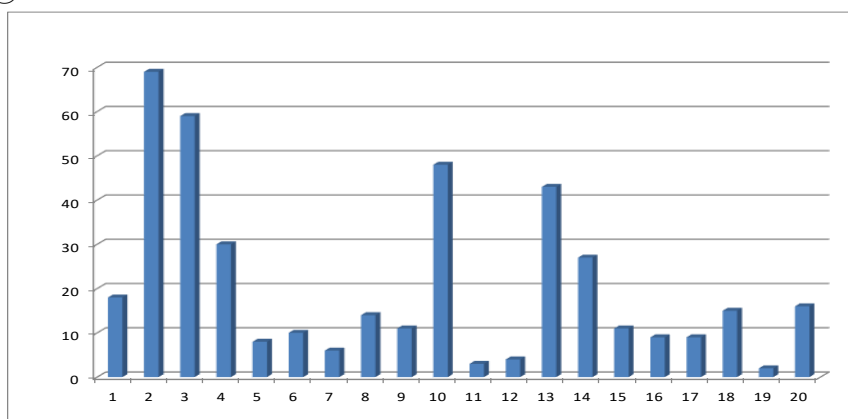
【看取り介護時期と日数のグラフ】①

令和6年度 看取り介護時期と日数



【看取り介護期間】②

対象者	看取り介護期間
1	18
2	69
3	59
4	30
5	8
6	10
7	6
8	14
9	11
10	48
11	3
12	4
13	43
14	27
15	11
16	9
17	9
18	15
19	2
20	16
合計日数	412
平均	21



※ 令和6年度に看取り介護で退居された方は20名となり、平均看取り介護期間は21日間でした。

『図 1』

好日苑 【 Peaceful Care (穏やかな看取り介護) 】の体系図 (目安)

藤島式嚥下グレード	IV 正常		Ⅲ 軽症			Ⅱ 中等症			Ⅰ 重症		経口不可	
	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①		
食形態	常食	刻み食	なめらか食(ソフト)				水分トロミ又はゼリー				皮下点滴	
		やわらか食				ミキサー食						
食提供	3食経口摂取				補助栄養				2回食又はハーフ食		楽しみ経口摂取	経口不可
									胃瘻の選択			
栄養ケアマネジメント	低リスク						高リスク					
	中リスク											
経口維持往診(VE)					内視鏡検査							
配置医師面談	入居時Dr面談											
	状態変化(入退院等)時Dr面談						胃瘻選択面談		看取り介護Dr面談			
	(1)看取り介護 説明 CM面談				(2)看取り介護 導入(判断) Dr面談							
	① BMI 16.0 以下											
	② 摂取カロリー700kcal以下				CMより看取り介護意向の確認を継続して行う			① 面談後BMI 14.5 以下				
	(喫食率1/2(50%)以下)							② 摂取カロリー500kcal 以下				
								又は喫食率1/5(20%)程度				
	※ ①と②の両方の条件を満たす方							③ 嚥下グレード⑤以下				
	※ 【看取り介護に関する事前確認書】の再提出(胃瘻・延命希望も確認)							※ 原則として①②③の全ての条件を満たし、医師が判断した方				
Peaceful Care 『時間の流れ』												

(1) 顧みる看取り介護

令和6年度は、Peaceful Care の考え方を基に本館で13名の方、新館で7名の方の看取り介護を実施致しました。また、看取り介護にはならなくてもご家族様と状況の共有を行いながら、看取り介護に準じた対応を行い好日苑でお見送りさせて頂いた方も7名とご家族の意向に寄り添った対応が行えたかと思ひます。20名の方を看取らせて頂いた背景には好日苑での看取り介護が定着している事他に、ご入居時や状態の変化時に配置医師と面談を行い、最期をどこで迎えたいか、ご本人やご家族のご意向を確認させていただくことで、職員がご本人やご家族と同じ方向を見て支援を行っていることも要因と考えられます。

看取り介護に限らず、ご入居者様のお見送りの経験の少ない職員も増えている中で、ご入居者様やご家族様が最期まで安心して過ごしていただける施設となるよう、専門職としての姿勢はもちろんのこと、人として温もりのある関わりとご本人を中心にした自然な支援が行えるように Peaceful Care の実践に取り組んでいきたいと思ひます。

3. 安全なサービス提供をします。

令和6年度は事故報告書提出が299件(特養209件70%、ショートステイ90件30%)でした。令和5年度の301件と比較すると2件減で横ばいの状態でした。(表①) 要介護度の内訳では、要介護4と要介護5の方が51%を占め、要介護3を加えると84%となっており、令和5年度と同様に8割以上を占めています。(表②)

事故内容では「転倒滑落」67%、「投薬過誤」22%で全体の89%となっており、転倒滑落の事故及び投薬過誤の事故を減らす事が毎年の課題となっております。(表③)

① <令和5年度>

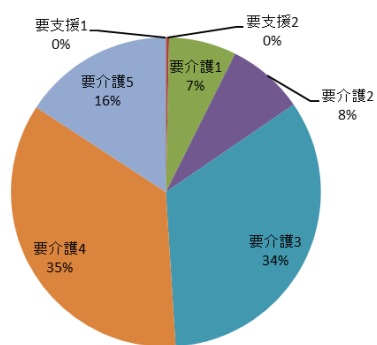
合計	特養	ショート	明け方	早朝	日中	夜間	深夜	本館	174	58%
301	235	66	20	43	137	45	56	新館	127	42%
割合	78%	22%	7%	14%	46%	15%	19%			

<令和6年度>

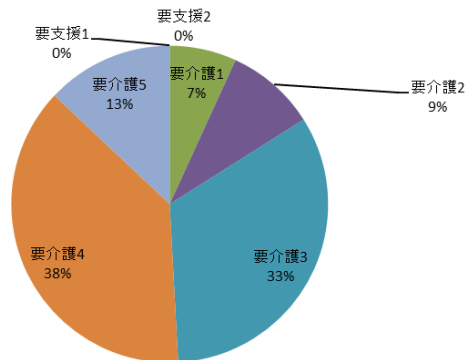
合計	特養	ショート	明け方	早朝	日中	夜間	深夜	本館	153	51%
299	209	90	12	46	129	62	50	新館	146	49%
割合	70%	30%	4%	15%	43%	21%	17%			

● 事故報告書【要介護度別】②

<令和5年度>

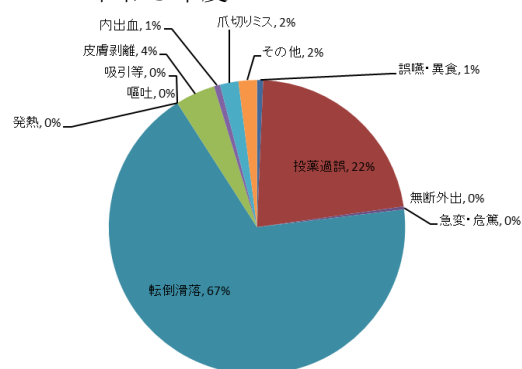


<令和6年度>



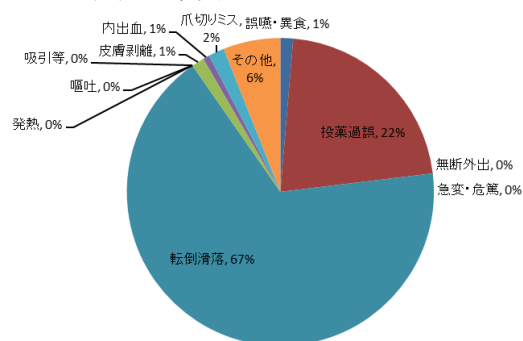
● 事故報告書【事故内容内訳】③

<令和5年度>



発生事項		
誤嚥・異食	1%	2
投薬過誤	22%	66
無断外出	0%	1
急変・危篤	0%	1
転倒滑落	67%	203
発熱	0%	0
嘔吐	0%	0
吸引等	0%	0
皮膚剥離	4%	13
内出血	1%	2
爪切りミス	2%	6
その他	2%	7
合計		301

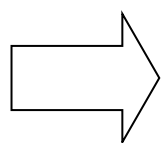
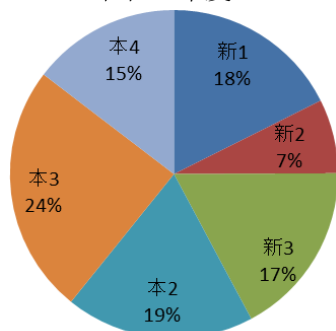
<令和6年度>



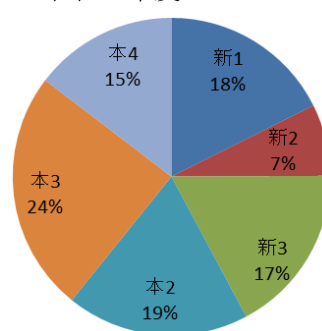
発生事項		
誤嚥・異食	1%	4
投薬過誤	22%	65
無断外出	0%	0
急変・危篤	0%	0
転倒滑落	67%	201
発熱	0%	0
嘔吐	0%	0
吸引等	0%	0
皮膚剥離	1%	4
内出血	1%	2
爪切りミス	2%	5
その他	6%	18
合計		299

● 事故報告書【事故報告書のフロア別割合】④

<令和5年度>



<令和6年度>



● 事故報告書【フロア別割合の前年度比較】⑤

令和4年度		令和5年度		増 減	
新1	62	新1	53	-15%	1%
新2	23	新2	22	-4%	
新3	41	新3	52	27%	
本2	40	本2	56	40%	3%
本3	73	本3	74	1%	
本4	56	本4	44	-21%	

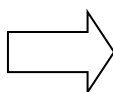
令和5年度		令和6年度		増 減	
新1	53	新1	71	34%	13%
新2	22	新2	34	55%	
新3	52	新3	41	-21%	
本2	56	本2	52	-7%	-14%
本3	74	本3	57	-23%	
本4	44	本4	44	0%	

【転倒滑落事故について】

転倒事故報告件数は201件と、令和5年度と比較して2件減少も、変わらず件数が多い結果となりました。（表⑥）事故報告299件の中で最も多かった転倒事故（全体の67%）の傾向をみると、令和5年度と同様に、特定の入居者様の繰り返しでの転倒事故が多く、その方々の転倒事故発生リスクをリスク管理委員会等において分析し、個別に対策を立てていますが、事故を減らすには至りませんでした。また限られた職員の中で転倒を防ぐには、職員の気付き（配慮）が必要であると考えています。令和7年度も転倒へのリスクに対し、個別ケア視点でのリスクマネジメントおよび出来る限りの余暇活動（レクリエーション等）や個別機能訓練を実施し身体を動かす機会を支援する事で、少しでも生活のリズムを整えていく事で、事故再発防止に努めていきます。

⑥ ＜令和5年度転倒滑落件数＞

本館2階	特養	21	37	107	53%
	SS	16			
本館3階	特養	47	48		
	SS	1			
本館4階	特養	22	22		
	SS	0			
新館1階	特養	12	40	96	47%
	SS	28			
新館2階	特養	18	18		
	SS	0			
新館3階	特養	38	38		
	SS	0			
合 計 (転倒・滑落)			203		



＜令和6年度転倒滑落件数＞

本館2階	特養	15	36	104	52%
	SS	21			
本館3階	特養	34	38		
	SS	4			
本館4階	特養	30	30		
	SS	0			
新館1階	特養	18	52	97	48%
	SS	34			
新館2階	特養	16	18		
	SS	2			
新館3階	特養	23	27		
	SS	4			
合 計(転倒滑落)			201		

4. 生活の場としての空間を提供します。

(1) 本館

令和6年度は、内装仕上げ大規模改修工事を5ヵ月間に渡り実施、また床頭台を51台全て更新することができました。利用者様にとって快適な生活環境をご提供させて頂くことが出来ました。職員にとってもきれいな職場環境となり、働きやすい空間となりました。次年度以降は、この環境を継続して維持していくことを目指し「安心して落ち着いて過ごしやす空間作り」に努めてまいります。

(2) 新館

新館開所20年を前に、居室の壁紙を一新しました。内装工事期間中は、居室に入れずにいましたが、「綺麗になるなら」と協力いただき、明るくなった居室と一緒に喜びました。日常清掃の生活支援員が定着し、居室清掃に力を入れることができるようになりました。居室空間が落ち着ける場所になるよう、ご家族の協力もいただきながら、取り組んでまいります。

5. 生活に変化を創り、健康増進を図ります。

（１）本館

令和6年度も、日常生活に彩を与えられることを目的として、「彩活動クラブ」を継続して本館全体で協力しながら余暇活動の充実を図ってまいりました。イベントを企画したり、入居者様に季節や花の匂い、風を感じて頂き、QOLの向上、自立支援への意欲向上に繋がりました。令和7年度は、イベントだけでなく、日常の中でも、隙間時間を有効活用しながら、生活に変化を創り、健康増進を図っていきます。

（２）新館

季節感を大事にした、ユニット空間づくりを意識しています。季節の花を飾るユニット、玄関に新聞が届くユニット、季節の食べ物を提供するユニット、それぞれの利用者様状況に合わせ、「今何月だっけ」から、「〇〇があるから、何月だよね」という会話ができるような仕掛けをしています。

「ラジオ体操」「イベント湯」が定着し、何気ない一日でも、今日もいい日だったね。となるようこれからも工夫していきます。

6. 生活リハビリ（ALCT）

令和6年度は、「次世代介護実践チーム（NGCT）」メンバーを中心に前年度からの介護機器使用の浸透を継続して取り組みました。介護ロボットの活用により入居者の生活に合わせた離臥床が行えたり、褥瘡に配慮し離床することができるため、居室から出て食事が取れ、発語が増えたなどご入居者様の暮らしに変化をもたらすことができました。また、Hugを4台導入したことで、全フロアにHugが設置されることになりました。それぞれのフロアでHugを使用できるため入居者の生活に合わせた排泄誘導が徐々に行われるようになっていきます。入浴用Hugも本・新館で1台ずつ配置され、入浴時の入居者および職員の負担軽減のため活用していきます。今後、更に介護ロボットの活用を浸透させ、職員の負担軽減ができることでご入居者様の生活の質の向上を図っていききたいと思います。

Ⅲ 相談支援

1. 入居希望者の情報を把握し、迅速な入居手続きを行います

令和6年度は表①のとおり、退居者数は36名となり、退居率は26%で前年度の退居率32%と比較して6%退居率が下降しました。この内1名が本館から新館へ居室移動をされた方となりますので、実際は35名の退居となります。本館では23名の方が、新館では13名の方が退居され退居率はそれぞれ26%で、本新館共に4人に1人のご入居者様が入れ替わったこととなります。

大田区から受理した待機者リストは表③のとおり69件で、そのうち30件（43%）は入居に結びつけることが出来ませんでした。その理由は表④のとおりとなっており、家族都合で、在宅介護を継続したいという理由が一番多く、次いで有料ホームに入所継続の理由で全体の43%でした。尚、待機中にご逝去された方が5名おりました。また施設都合での入居できなかった方も4名おり、理由としては医療行為の対応が困難な方でした。

<令和6年度 入退居実績> ①

1.入退居者数

										《館内移動(本館⇒新館1名)(新館⇒本館0名)》								
年度当初	本館			新館			合計			入居前					退居後			
	入居	退居	在籍	入居	退居	在籍	入居	退居	在籍	自宅	老健	病院療養	有料H 宿泊タイプ	GH 経費 小多機	病院 逝去	苑内 逝去	看取 介護	病院 療養
4月	2	3	84	1	0	50	3	3	134	1			1	1	1	2		
5月	6	3	87	0	2	48	6	5	135	4		1	1			2	3	
6月	1	0	88	2	1	49	3	1	137		2		1				1	
7月	5	6	87	1	0	50	6	6	137	2	1	1	1	1	1		5	
8月	2	2	87	0	3	47	2	5	134	1		1			2		3	
9月	2	1	88	3	0	50	5	1	138	1			2	2		1		
10月	0	0	88	1	1	50	1	1	138	1								1
11月	2	3	87	0	1	49	2	4	136	1			1				4	
12月	3	2	88	3	3	49	6	5	137	3	2						4	
1月	0	2	86	2	1	50	2	3	136			1	1		1	1		1
2月	2	0	88	0	0	50	2	0	138	2								
3月	1	1	88	0	1	49	1	2	137			1				1		1
合計	26	23		13	13		39	36		16	5	5	8	4	5	7	20	3

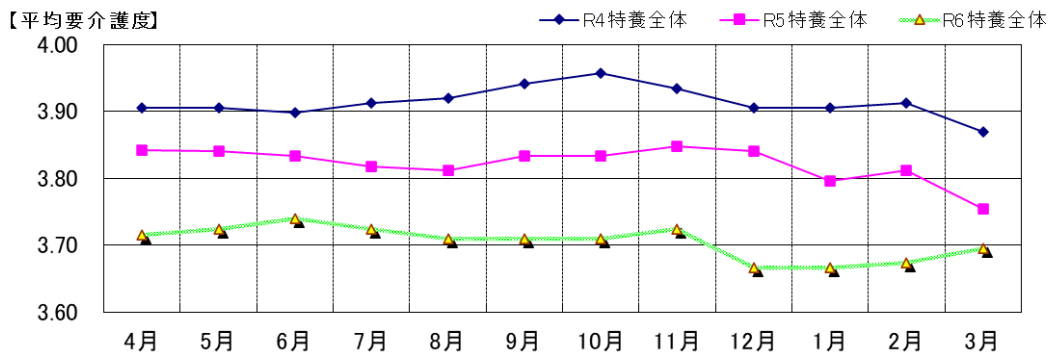
令和6年度《特養入居リスト受理実績》

本館	受理	44
	入居可	27
	不可	17
① リスト受理から入居可までの割合		61%
② 不可になったケースの割合		39%
新館	受理	25
	入居可	12
	不可	13
① リスト受理から入居可までの割合		48%
② 不可になったケースの割合		52%
全館受理リスト数		69
全館入居受入可数		39
全館調査段階終了数		30
① 全館リスト受理から入居可までの割合		57%
② 全館不可になったケースの割合		43%

令和6年度《特養入居不可の理由》

理 由		件数
家族都合	有料ホームに入所継続	4
	個室希望	3
	老健・療養型入所継続	2
	他特養への入居	3
	在宅生活を継続	9
	経済的に困難	0
	その他	0
施設都合	経済的に困難	0
	契約者が居ない	0
	医行為対応不可(鼻腔・吸引回数・IVH)	4
	入院中	0
	その他	0
待機中に逝去		5
合 計		30

【特養全体】 令和6年度平均要介護度の推移 ⑤



⑥ 平均要介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
R4特養全体	3.91	3.91	3.90	3.91	3.92	3.94	3.96	3.93	3.91	3.91	3.91	3.87	3.91
R5特養全体	3.84	3.84	3.83	3.82	3.81	3.83	3.83	3.85	3.84	3.80	3.81	3.75	3.82
R6特養全体	3.72	3.72	3.74	3.72	3.71	3.71	3.71	3.72	3.67	3.67	3.67	3.70	3.71
本館	3.69	3.70	3.73	3.72	3.72	3.72	3.72	3.73	3.69	3.68	3.67	3.67	3.70
新館	3.76	3.76	3.76	3.74	3.70	3.70	3.70	3.72	3.62	3.64	3.68	3.74	3.71

【本館・新館】令和6年度新規入居者の要介護度4.5割合 ⑦

本 館	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/月平均
要介護1～3	0	1	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	5
①要介護4～5	2	5	1	4	2	2	0	1	1	0	2	1	21
②新規入居者計	2	6	1	5	2	2	0	2	3	0	2	1	3
①÷②新規入居者70%	100%	83%	100%	80%	100%	100%		50%	33%		100%	100%	85%
6ヶ月平均70%	77%	75%	80%	87%	83%	83%	89%	88%	83%	71%	67%	67%	
1年平均70%	85%	88%	87%	87%	85%	85%	84%	82%	81%	79%	78%	78%	
新 館	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/月平均
要介護1～3	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	3
①要介護4～5	1	0	2	0	0	2	1	0	1	2	0	0	9
②新規入居者計	1	0	2	1	0	3	1	0	2	2	0	0	2
①÷②新規入居者70%	100%		100%	0%		67%	100%		50%	100%			74%
6ヶ月平均70%	83%	83%	83%	100%	86%	86%	71%	71%	71%	57%	75%	75%	
1年平均70%	92%	92%	92%	92%	85%	82%	77%	77%	77%	77%	80%	80%	

令和6年度は平均要介護度3.72でスタートし令和6年度末には3.70と、▲0.02%介護度が軽減しました。また、令和6年度の要介護度4と5の新規入居者の方の割合の平均は、本館では85%、新館では74%で、日常生活継続支援加算の条件を満たす事が出来ております。（表⑥⑦）

2. 利用者が安心して過ごせる相談援助をします。

令和6年度も、1日最低2回のラウンドを行い、入居者の声に耳を傾け、必要に応じて個別に話を聞き、入居者の悩みや相談に対する援助を行なってきました。また入居者の重度化に伴い、ご家族からの相談機会も増えてきました。お話を伺う時間を都度調整し、じっくり相談に耳を傾けることで、ご家族からの相談援助も行なえたと思います。

ケアプラン作成の際には、各専門職種によるサービス担当者会議を開催し、ケアプランの説明には入居者本人がご理解を得られる状況の場合は、積極的にご家族と同伴で説明機会を造り、入居者本人が自身の支援について納得頂ける様努めました。

3. 家族との交流を促進します。

（1）本館

令和6年度は、5年度に引き続き予約制での面会を行ってきました。来苑時に日々のご様子を都度お伝えしながら、ご家族様と交流を図ってきました。また合同家族会を開催して、好日苑での取り組みを共有させていただきました。今後も、好日苑の目指している「通い型介護」を実現すべくご家族様とともに、利用者様の生活の向上を構築していきます。

（2）新館

予約制面会ながらも、小さなお子さんの面会やご家族そろっての面会もできるようになり、明るい声が増えた一年でした。クリスマスには、ご家族にご協力いただき、利用者様が一番喜ばれるプレゼントをお渡しすることができました。暮らしの継続ができるよう、ご家族・職員ワンチームで協力し合える関係づくりを目指していきます。

4. 地域の交流を促進します。

（1）ボランティア受け入れ

令和6年度も5年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により積極的なボランティアの受け入れが出来ない一年でしたが、好日苑まつりの際に、子供たちによる太鼓の演奏やマジックショーなどを行っていただきました。また年度末の3月には学校の休み期間を活用し、介護補助の体験ボランティアとして学生のボランティアの受入も実施させて頂きました。次年度は、地域交流の一環としてボランティアの方の受け入れを積極的に行っていきたいと思っております。

（２）実習生受け入れ

実習施設にとっては、様々な養成施設から実習生を受け入れ指導することで、職員自らの介護技術等の再認識の機会を得られ、サービスの質の向上にも繋がるというメリットがあります。

介護福祉士の倫理綱領に後継者の育成があげられているように、実習施設として、実習生が実習から様々な事を学べる環境を整備し、指導者側の意識を高めていくことが必要となります。

令和６年度は、新型コロナウイルスも５類となり、受け入れをお断りすることもなくなりました。実習生の傾向としては、以前よりも、介護福祉士の実習が少なくなってきたおり、職業訓練校からの実習が多くなっています。実習生の受入れも多様化してきており、指導する側の指導育成も課題となってきたおり、限られた時間の中で有意義な実習が行えるようにしていく工夫も必要に感じています。実習をすることで、働くことのイメージを持ち「介護に更なる興味」と「好日苑で働いてみたい」と思えるような、魅力ある介護施設を目指していきたいと考えております。

５．オンブズパーソン相談日

令和６年度は、毎月１回の相談日を儲け、本館・新館で延べ１９名の方々の相談を受けて頂きました。法人に対する勧告はありませんでしたが、入居者様からの個別の相談については、事実確認・改善を行い、入居者様に安心して生活をして頂けるよう取り組みました。オンブズパーソン相談日があることを、ご存じない方も多くおりますので、いつでも相談できることを周知していきたいと思えます。

またオンブズパーソンは、法人の苦情に関する第三者委員も兼務して頂いていますので、法人全体の投書箱（苦情や要望等の受付）である「こころの小箱」での受付内容もご報告させていただきます。

『 令和６年度 オンブズパーソン委員会 』

日時：令和６年５月２１日

内容：

- ① 施設長挨拶
- ② 職員紹介・委員紹介
- ③ 令和５年度 オンブズパーソン相談報告２０件
- ④ 令和５年度 苦情報告３件
- ⑤ 感染症対応状況報告
- ⑥ 令和６年度のオンブズパーソン相談日程について

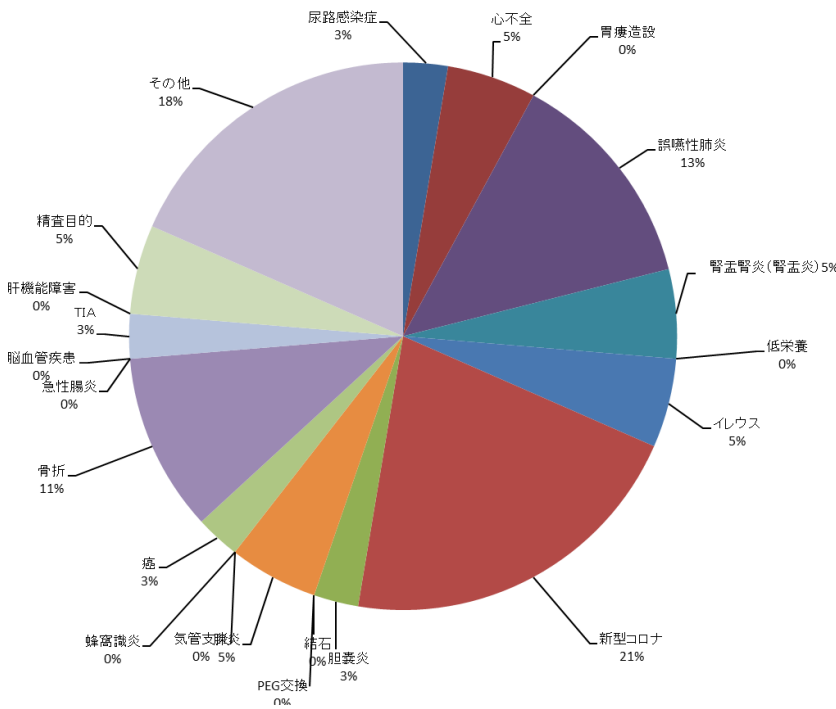
IV 健康管理

1. 入院の必要のない生活をしていただく取り組みをします。

令和6年度の入院日数は、令和5年度の入院日数669日に対し677日と8日増加も年間1,200日以内の入院目標を達成する事が出来ました(表①②)。なお、入院された方は、令和5年度の37人同様、令和6年度も34人と抑えることが出来ました。ただし1人当たりの入院日数は令和5年度の17.6日間にに対し令和6年度は19.3日間と約1.7日間増加した結果となりました。

①

【令和5年度入院に至る疾病別割合】

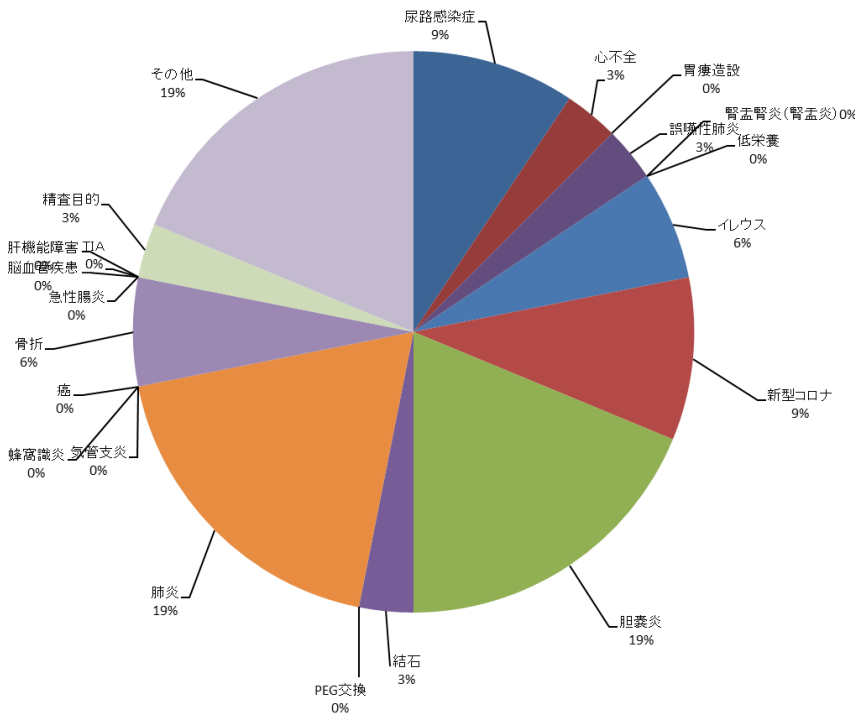


【令和5年度入院日数】

	入院日数
尿路感染症	14
心不全	70
胃瘻造設	0
誤嚥性肺炎	96
腎盂腎炎	14
低栄養	0
イレウス	15
新型コロナウイルス	51
胆嚢炎	38
結石	0
PEG交換	0
肺炎	62
気管支炎	0
蜂窩織炎	0
癌	20
骨折	144
急性腸炎	0
脳血管疾患	0
TIA	3
肝機能障害	0
精査目的	53
その他	89
合計	669

②

【令和6年度入院に至る疾病別割合】



【令和6年度入院日数】

	入院日数
尿路感染症	40
心不全	7
胃瘻造設	0
誤嚥性肺炎	9
腎盂腎炎	0
低栄養	0
イレウス	52
新型コロナウイルス	41
胆嚢炎	148
結石	17
PEG交換	0
肺炎	162
気管支炎	0
蜂窩織炎	0
癌	0
骨折	60
急性腸炎	0
脳血管疾患	34
TIA	0
肝機能障害	0
精査目的	26
その他	81
合計	677

R5	一人当たりの入院日数	17.6 日	⇒	R6	一人当たりの入院日数	19.3 日
----	------------	--------	---	----	------------	--------

	R6 入院日数	R5 入院日数	増減	%
尿路感染症	40	14	26	286%
心不全	7	70	-63	10%
胃瘻造設	0	0	0	
誤嚥性肺炎	9	96	-87	9%
腎盂腎炎	0	14	-14	
低栄養	0	0	0	
イレウス	52	15	37	347%
新型コロナ	41	51	-10	80%
胆嚢炎	148	38	110	389%
結石	17	0	17	
PEG交換	0	0	0	
肺炎	162	62	100	261%
気管支炎	0	0	0	
蜂窩織炎	0	0	0	
癌	0	20	-20	0%
骨折	60	144	-84	42%
急性腸炎	0	0	0	
脳梗塞	34	0	34	
TIA	0	3	-3	
肝機能障害	0	0	0	
精査目的	26	53	-27	49%
その他	81	89	-8	91%
合計	677	669	8	101%

『 入院疾病別日数前年度比較 』

【前年度と比較して増加した入院日数】

- ① 胆嚢炎 110 日増
- ② 肺炎 100 日増
- ③ イレウス 37 日増
- ④ 脳梗塞 34 日増

【入院に至る疾病順位（前年度増減）】

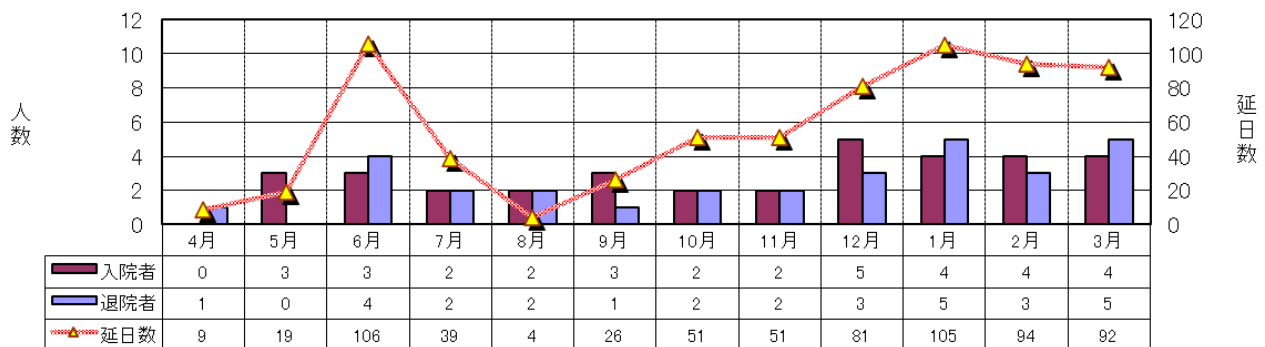
- ① 肺炎 162 日（+100 日）
- ② 胆嚢炎 148 日（+110 日）
- ③ 骨折 60 日（-84 日）
- ④ イレウス 52 日（+37 日）
- ⑤ 新型コロナ 41 日（-10 日）
- ⑥ 尿路感染症 40 日（+26 日）
- ⑦ 脳梗塞 34 日（+34 日）

入院されたご入居者様は、要介護 4 と要介護 5 の方が全体の 69%（表④）で、やはり要介護の重い方の入院リスクが高いと言えます。

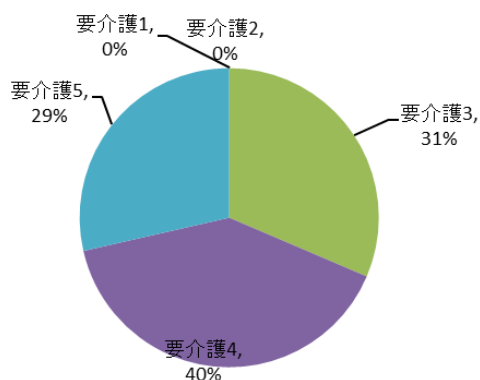
年間入院日数 677 日の月平均入院日数は、前年度と同じ 56 日（増減なし）でした。（表⑤）

本館での入院日数は、R5 年度 421 日が R6 年度 425 日で前年度と比べ+4 日間増加、新館での入院日数は、R5 年度 248 日が R6 年度 252 日で前年度と比べ+4 日間増加しました（表⑤）。

③【令和 6 年度 特養入院日数】



④ 要介護度別入院率



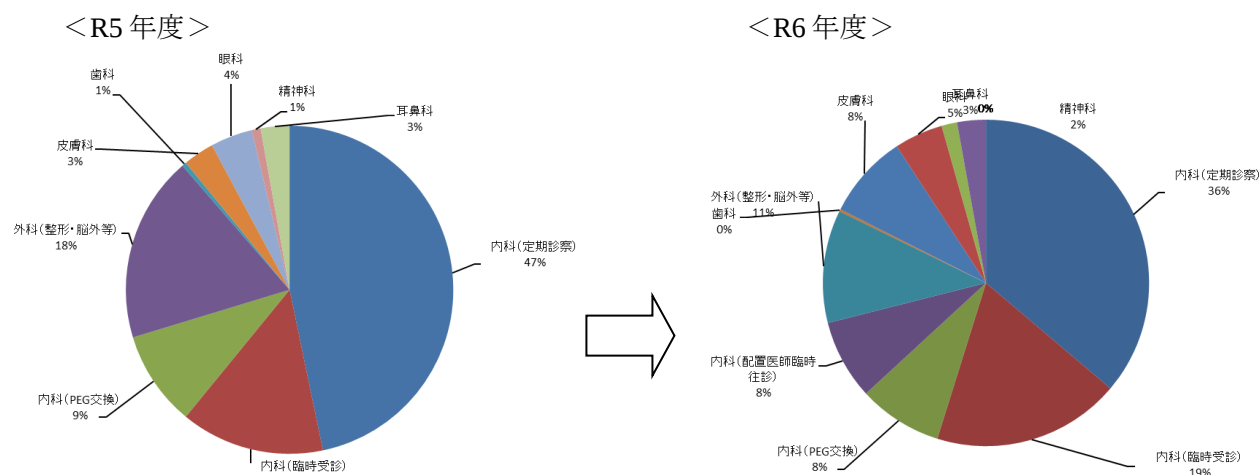
⑤ 入院者と入院日数

	本館			新館			合計		
	入院者	退院者	延日数	入院者	退院者	延日数	入院者	退院者	延日数
4月	0	1	9	0	0	0	0	1	9
5月	3	0	19	0	0	0	3	0	19
6月	3	4	106	0	0	0	3	4	106
7月	1	2	30	1	0	9	2	2	39
8月	1	1	1	1	1	3	2	2	4
9月	0	0	0	3	1	26	3	1	26
10月	1	0	16	1	2	35	2	2	51
11月	1	1	4	1	1	47	2	2	51
12月	3	2	54	2	1	27	5	3	81
1月	4	3	77	0	2	28	4	5	105
2月	3	3	77	1	0	17	4	3	94
3月	1	3	32	3	2	60	4	5	92
合計	21	20	425	13	10	252	34	30	677

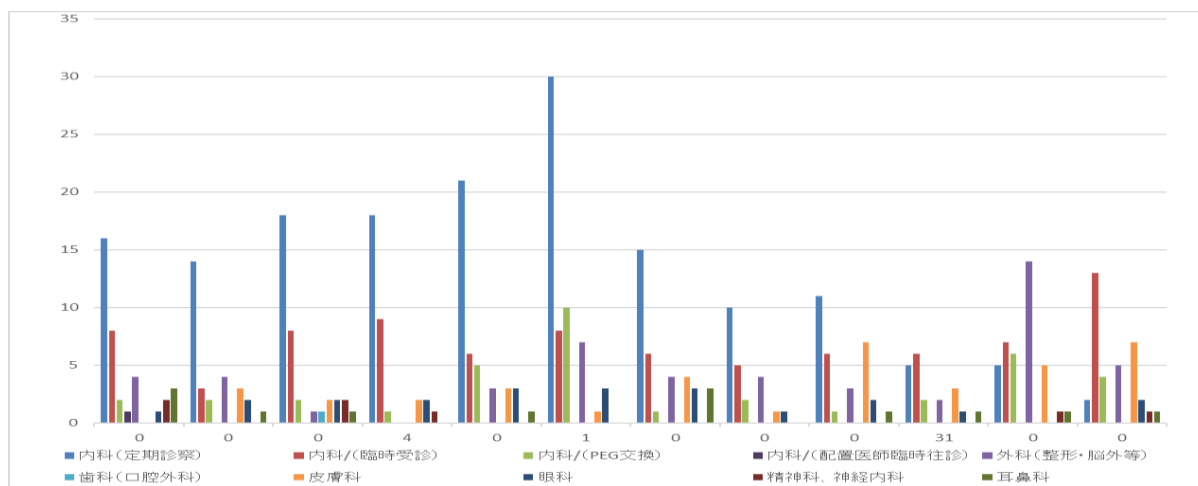
【受診回数】

令和6年度も配置医師との連携の下、定期通院や臨時通院、また専門医への受診を延べ456回（前年度比-2回：表⑨）実施致しました。

⑥ 【施設通院対応（診療科別）割合】



⑦ 『令和6年度月別受診回数』



⑧ 令和5年度【通院対応回数（苑送迎等対応分）月別件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科(定期診察)	24	29	26	14	17	6	18	13	27	9	3	28	214
内科/(臨時受診)	6	5	13	2	2	10	7	2	7	6	1	4	65
内科/(PEG交換)	2	5	4	5	4	5	3	2	3	3	2	5	43
外科(整形・脳外等)	9	4	10	5	7	13	9	12	1	9	0	5	84
歯科(口腔外科)	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
皮膚科	2	1	2	0	1	2	1	1	3	1	0	0	14
眼科	4	0	0	0	0	1	4	2	2	1	3	2	19
精神科・神経内科	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	4
耳鼻科	2	2	1	1	1	0	2	1	3	0	0	0	13
	50	48	56	27	32	38	45	33	46	30	9	44	458

令和6年度【通院対応回数（苑送迎等対応分）月別件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科(定期診察)	16	14	18	18	21	30	15	10	11	5	5	2	165
内科/(臨時受診)	8	3	8	9	6	8	6	5	6	6	7	13	85
内科/(PEG交換)	2	2	2	1	5	10	1	2	1	2	6	4	38
内科/(配置医師臨時往診)	0	0	0	4	0	1	0	0	0	31	0	0	36
外科(整形・脳外等)	4	4	1	0	3	7	4	4	3	2	14	5	51
歯科(口腔外科)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
皮膚科	0	3	2	2	3	1	4	1	7	3	5	7	38
眼科	1	2	2	2	3	3	3	1	2	1	0	2	22
精神科・神経内科	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	1	7
耳鼻科	3	1	1	0	1	0	3	0	1	1	1	1	13
	36	29	37	37	42	60	36	23	31	51	39	35	456

⑨	R6	R5	±
内科(定期診察)	165	214	-49
内科(臨時受診)	85	65	20
内科(PEG交換)	38	43	-5
内科(配置医師臨時往診)	36	-	-
外科(整形・脳外等)	51	84	-33
歯科	1	2	-1
皮膚科	38	14	24
眼科	22	19	3
精神科	7	4	3
耳鼻科	13	13	0
	456	458	-38

<令和6年度の通院の特徴>

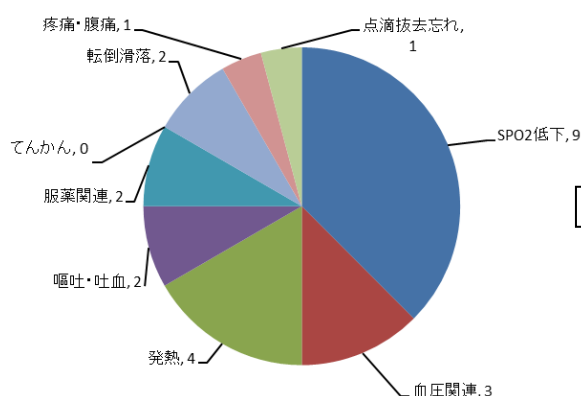
令和6年度の通院回数は456回。今年度よりオレンジ色の「配置医師臨時往診」を追加しています。この臨時往診は看取り介護の往診を除いた緊急時に配置医師が駆け付けてくれた回数となっております。内科の定期診察と臨時受診等で日々の健康管理をして頂くと共に臨時往診を行って頂く事で、重篤化を防ぎ、入院日数を抑える事が出来たと考えております。尚、新型コロナウイルス感染症が流行する前に課題となっていました、皮膚科受診につきましては往診医に入って頂く事で大幅に抑える事が出来ており、その分、必要な内科の臨時受診等に行く事が出来ました。(表⑧⑨)

2. 緊急連絡体制の継続と対応の確認をします。

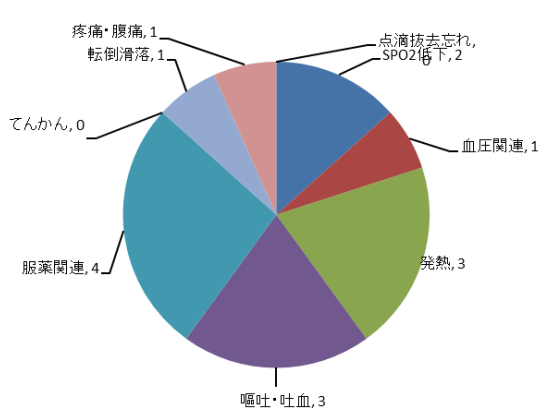
令和6年度のオンコール回数は15件で、令和5年度の22件と比較して-7件となっています。オンコール内容は、服薬関連が4件、次いで発熱、嘔吐・吐血が3件でした。日中の様子で夜間帯に想定されるリスクを事前に多職種にて共有し、対策を周知しておくことで、オンコール件数が減少してきていると考えます。(表①②③)

① 【特養オンコール内容】

<令和5年度>

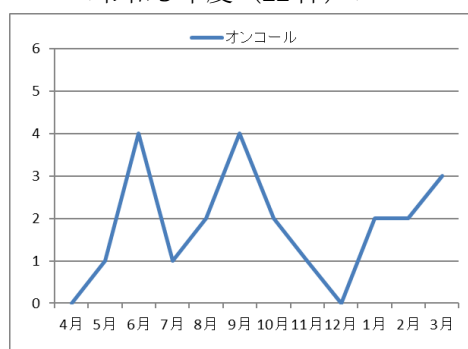


<令和6年度>

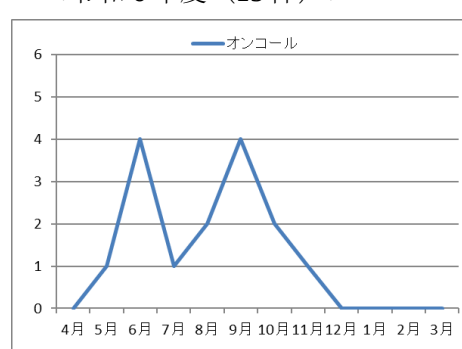


② 【オンコールの月別回数】

<令和5年度 (22件)>



<令和6年度 (15件)>



③ 令和6年度 月別オンコール件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
SPO ₂ 低下			1			1							2
血圧関連							1						1
発熱			1		1	1							3
嘔吐・吐血			1			2							3
服薬関連		1			1		1	1					4
てんかん													0
転倒滑落			1										1
疼痛・腹痛				1									1
点滴抜去忘れ													0
合計	0	1	4	1	2	4	2	1	0	0	0	0	15

V 栄養管理

1. おいしい食事の提供をします。

食事は入居者様にとって楽しみのひとつであり、「食べる」ことは生きていく上でとても大切です。「食」を通じて生き甲斐や楽しみに繋がるように、環境づくりに心がけ、安心で安全な食事が提供できるように努めました。今年度も感染症対策しながら、デイサービスでは『イベント食』を楽しんで頂けるように内容の見直しを給食委託業者の調理師、栄養士と相談しながら行うことができました。またコロナ前のように、デイサービス『イベント食』に入居者様をご招待して召し上がって頂きました。同じ施設内でも普段と違った場所で召し上がることにより、外食にきたような感覚で召し上がることができ、少し緊張感もありつつ楽しんで頂く事ができました。入居者様においても少しでも口から食べることができて、また楽しい食事が出来るように行事食(表①)、選択食(表②)、おやつバイキングを実施しました。おやつバイキングについては、今まで開催していた多種多様な洋菓子や和菓子を選ぶバイキングと、毎年好評である利用者様が自らおやつ作りに参加できる夏期は「クリームあんみつ」、秋期は「フレンチトースト」を特養でも各フロア1回ずつ開催しました。「クリームあんみつ」では普段のおやつではなかなかお出しできないアイスクリームを用いて懐かしい甘味に笑顔が多くみられました。「フレンチトースト」においても甘い香りがフロアに広がり、出来上がりを楽しみにされる様子が見られました。入居者様・利用者様の声に耳を傾けながら、また献立内容もマンネリ化しないように今後も努めて参ります。

【栄養摂取基準（令和6月3月末日現在）】

エネルギー	1374kcal
蛋白質	55.3g
カルシウム	475mg
レチノール当量	592 μ g
ビタミン B1	0.64mg
ビタミン B2	0.77mg
ビタミン C	65mg
穀類エネルギー比	59.5%
脂質エネルギー比	24.4%
蛋白質エネルギー比	16.1%
食塩相当	8.8g

① 令和6年度 行事食一覧

4月 お花見弁当 	5月 江戸前ちらし寿司 	6月 ご当地メニュー九州 
7月 そうめん (七夕) 	8月 うなぎちらし 	9月 敬老のお祝い膳 
10月 きのごごはん 	11月 秋のちらし寿司 	12月 (クリスマス) 
1月 お正月御膳 (1日) 	1月 お正月御膳 (2日) 	1月お正月御膳 (3日) 
2月 恵方巻き (節分) 	3月ちらし寿司(雛まつり) 	握り寿司 

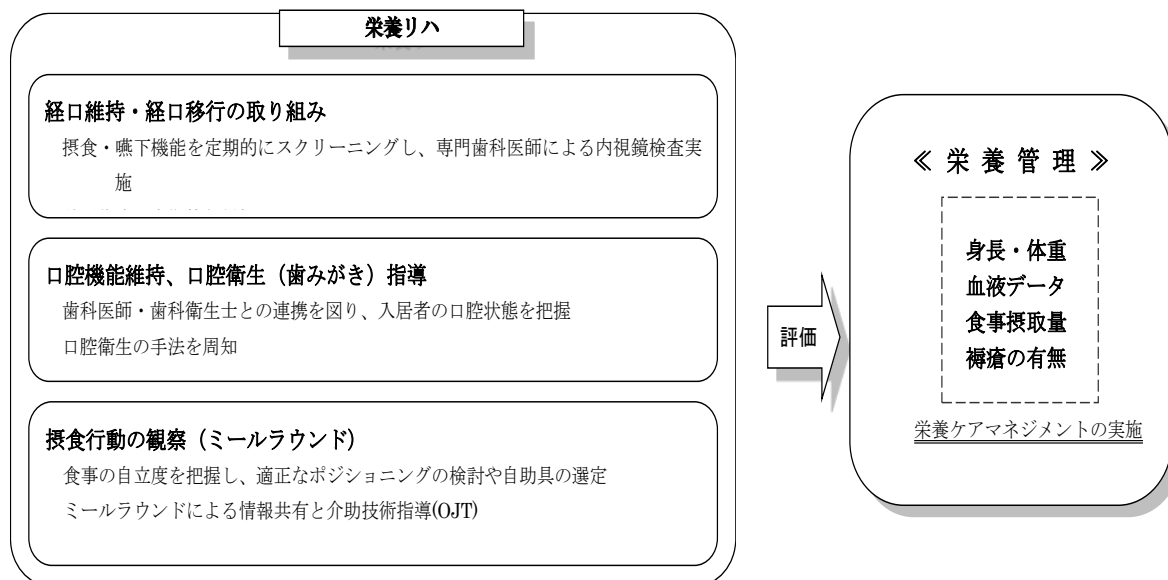
② 令和6年度 選択食一覧 (上段：Aメニュー 下段：Bメニュー)

4月	4/7 夕食時 白身魚のスープ煮	4/14 夕食時 サバの味噌煮	4/21 夕食時 肉団子と白菜の煮物	4/28 夕食時 ブリ大根
	ハンバーグの デミグラスソース	肉そば	和風スパゲティ	ホタテと野菜の 中華炒め
5月	5/5 夕食時 白身魚のフライ	5/12 夕食時 五目卵焼き	5/19 夕食時 白身魚のマヨネーズ焼	5/26 夕食時 マスのきのこソース
	とろろそば	鶏肉の香味ソース	牛肉のおろし煮	ソース焼きそば
6月	6/2 夕食時 ホキの田楽	6/9 夕食時 たらの沢煮	6/23 夕食時 カレーの揚げおろし煮	6/30 夕食時 サワラの幽庵焼
	塩ラーメン	牛肉のポン酢ソテー	和風スパゲティ	親子煮
7月	7/7 夕食時 蓮根つくね	7/14 夕食時 アジの七味焼	7/21 夕食時 赤魚の粕漬け焼	7/28 夕食時 牛肉のワイン煮
	サバのみりん焼	海鮮中華炒め	ちゃんぽん麺	カレーそば
8月	8/4 夕食時 鶏肉とピーマン炒め	8/11 夕食時 白身魚の西京焼	8/18 夕食時 ブリ大根	8/25 夕食時 中華風玉子焼
	醤油ラーメン	冷やし担々麺	牛肉の炒め物	サワラのピリ辛照焼
9月	9/1 夕食時 鶏肉のカレー風味焼	9/15 夕食時 サワラの 和風ステーキ	9/22 夕食時 白身魚の梅照焼	9/29 夕食時 牛肉のカレーソテー
	エビカツフライ	ソース焼きそば	豚肉のべっこう煮	ミートソース
10月	10/6 夕食時 牛肉の生姜焼	10/13 夕食時 ブリの照焼	10/20 夕食時 豚肉のもろみ味噌焼	10/27 夕食時 サワラの味噌煮
	かに玉	鶏肉のおろし煮	かき玉うどん	きのこそば
11月	11/3 夕食時 豚肉のスタミナ焼き	11/10 夕食時 揚げ出し豆腐 五目あん	11/17 夕食時 豚肉のカレー風味	11/24 夕食時 白身魚の 和風ステーキ
	サバのみりん焼	カレーうどん	味噌ラーメン	和風スパゲティ
12月	12/8 夕食時 豚肉と水菜の みぞれ煮	12/15 夕食時 コロッケ	12/22 夕食時 ポークチャップ	12/29 夕食時 マスの焼浸し
	塩焼きそば	ホッケの塩焼き	肉そば	ホタテと野菜の 中華炒め
1月	1/5 夕食時 マスの照焼	1/12 夕食時 サバの塩焼	1/19 夕食時 オムレツの茸ソース	1/26 夕食時 赤魚の煮付
	牛肉の甘辛煮	鶏肉の香味ソース	カレーうどん	ちゃんぽん麺
2月	2/2 夕食時 アジの胡麻だれ焼	2/9 夕食時 中華風玉子焼	2/16 夕食時 ホキの韓国風照焼	2/23 夕食時 マスの焼き浸し
	エビと玉子の塩炒め	鶏肉のべっこう煮	あんかけ焼きそば	塩ラーメン
3月	3/2 夕食時 豚肉の梅しそ焼	3/9 夕食時 サワラの香味焼	3/23 夕食時 チーズハンバーグ	3/30 夕食時 焼肉風炒め
	にゅうめん	牛肉の煮物	たらこのスパゲティ	黒豚焼売

2. 栄養マネジメントを適切に実施します。

「1回食」または「2回食」「ハーフ食」での食事提供、個別水分アセスメントによる適正水分量やOS-1(経口補水液)の活用、経口摂取と経管栄養の併用などにより、これまでよりも入居者様のライフステージに合わせた栄養ケアマネジメントの設定が益々求められるようになりました。これは好日苑が“最期を看取れる施設”として、健康増進や栄養改善のみならず、体力に合わせた負担のない食事を効率よく摂取することや、本人の食べられるだけを中心とした苦痛のない食事、味わう程度の楽しみとしての食事など、入居者様のライフステージが多様化してきていることによります。

令和3年度の介護報酬改定から「栄養マネジメント強化加算」が新たに創設されました。「食と栄養」がより重要となり、専門職として栄養マネジメントやミールラウンドの強化、低栄養状態の改善に向けた取り組み、維持に努めることができました。またその指標としてLIFE(科学的介護情報システム)に情報を提供し、PDCAサイクルに沿ったサービスの質の向上に繋げることができ、個別性のある栄養マネジメントの設定、モニタリングを行うことへ繋げています。また以前より使用している「栄養リハカルテ」については、継続して経口維持往診の際に情報共有のツールとして活用しています。



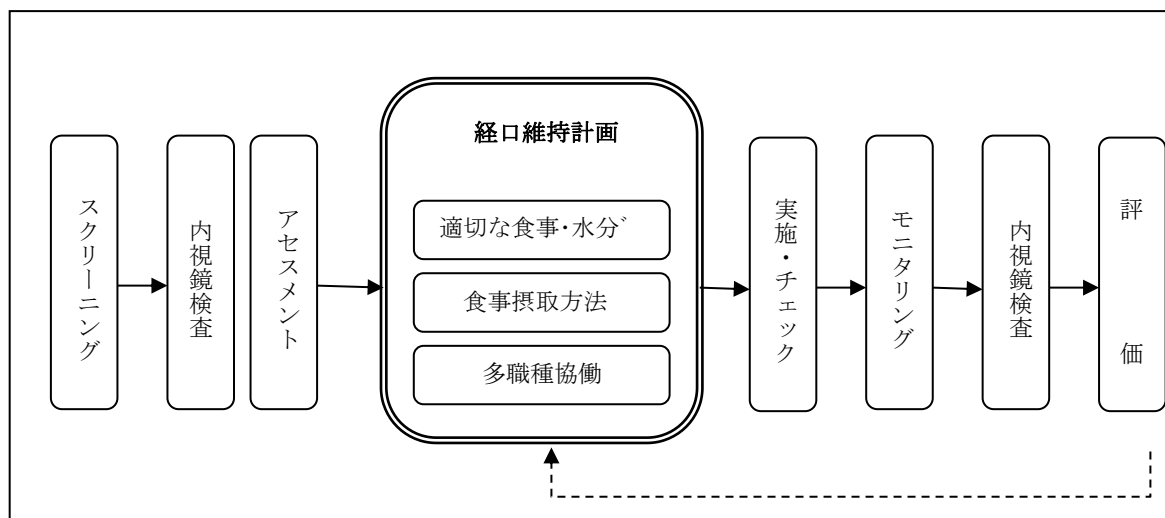
3. 経口維持計画、経口移行計画を適切に実施します。

経口維持計画の取り組みを始めて18年目となりました。昭和大学歯科病院歯科医師のご協力のもと、経口摂取への取り組みを円滑に維持することができました。今後も専門医の助言を頂きながらPeaceful Careの実現に向けて取り組んで参ります。

令和6年度は延べ25名の方に受けて頂くことができました。25名のうち、21名(84%)の方が新規受診されました。また、胃瘻利用者2名(8%)の方が、経口維持往診にて専門医による内視鏡検査を行い、現状の摂食・嚥下機能状態の評価を行いました。吸引の必要性やお楽しみの経口摂取が望めるかを評価して頂きました。平成22年度より『藤島式嚥下グレード』による機能評価法を導入し、内視鏡検査の度に摂食・嚥下機能のグレード付けを歯科医師にして頂き、どの程度の食事(内容や量)が食べられるのかを時間の流れと共に段階的に評価することで、その方のライフステージに合った【食】を提案できるように努めました。また感染症対策しながら25名のうち6名(24%)の家族が経口維持往診の立会いをされています。実際の食事の様子や専門の歯科医師に直接、ご本人の状態について説明をして頂くことで、より具体的に現状の課題や支援方法を共有して頂けるように取り組

んでいます。また、栄養リハカルテには歯磨き指導の助言内容や摂食・嚥下機能評価、入院歴等を記載し、医療に係わる情報を集約することで総合的な栄養ケアマネジメントの運営を目指しました。また今年度も継続して「経口維持加算」への取り組みを行っています。専門医の助言のもと多職種で情報共有しながら、その方に合わせた食事形態や内容、リハビリ的な取り組みを行いました。少しでも長く口から食べることができるように支援しています。

『 経口維持計画 』



内視鏡検査の様子

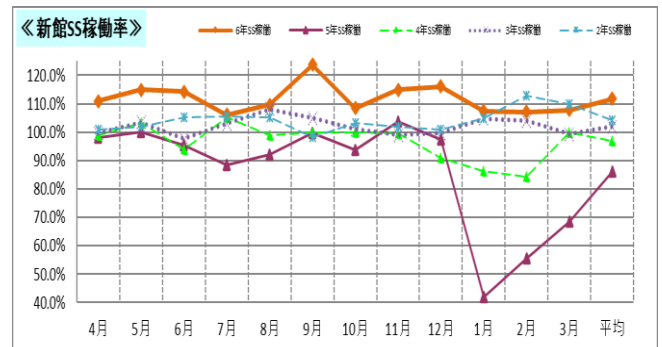
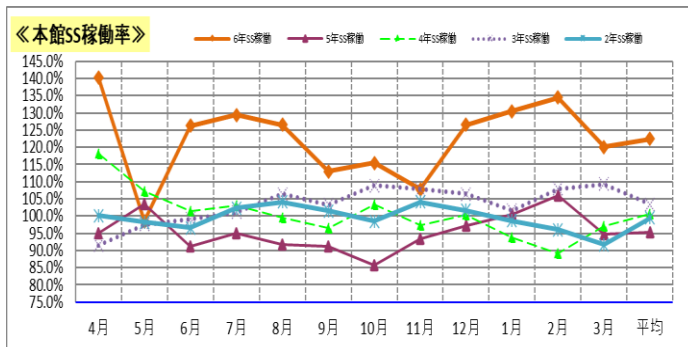
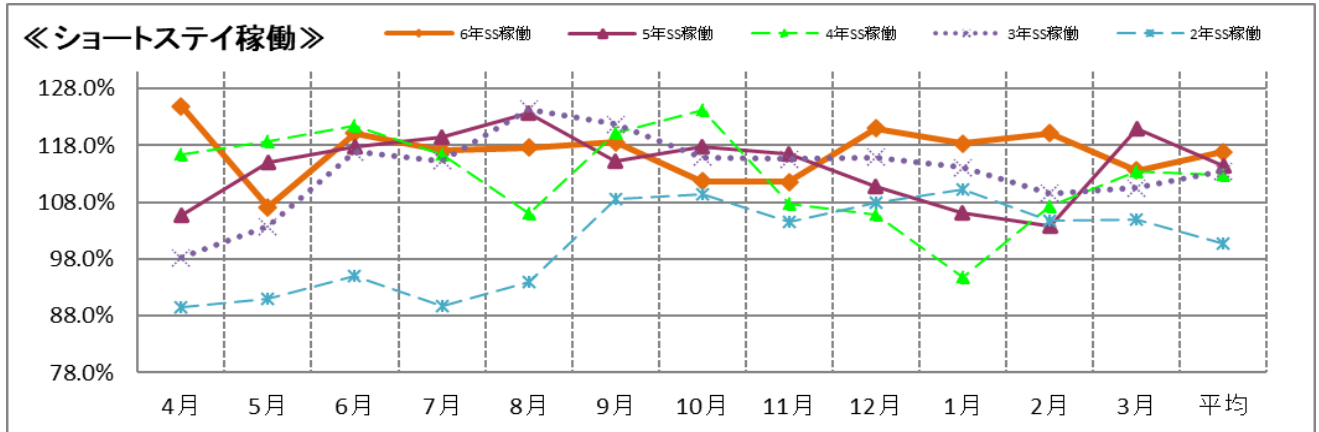


Ⅵ 短期入所生活介護

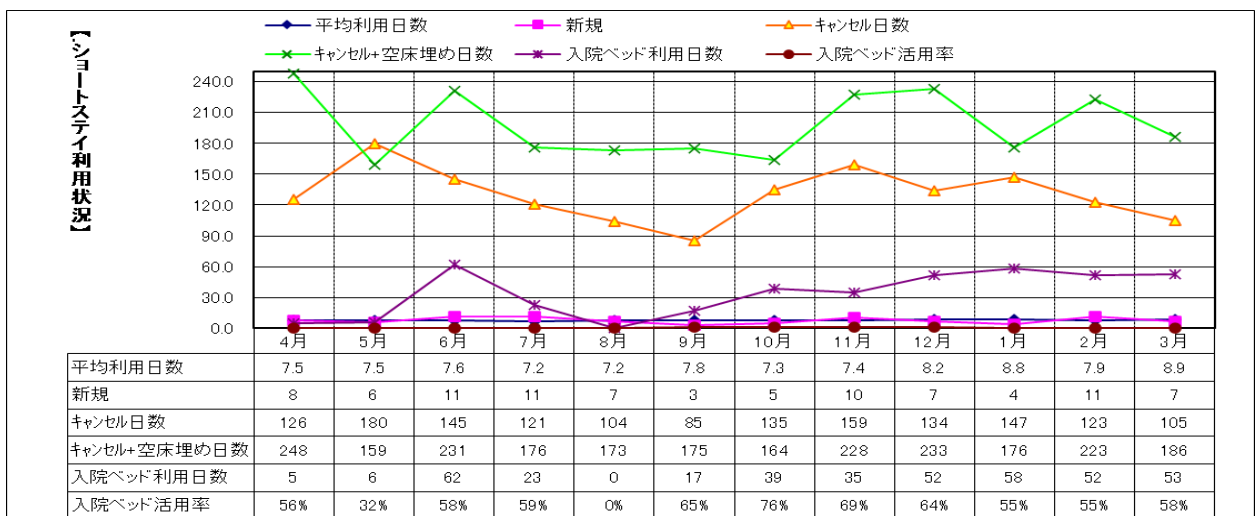
令和6年度は、平均年間稼働率116.8%と高稼働を維持する事が出来ました。（表①）医療ニーズの高い方や認知症の周辺症状で在宅介護が難しくなっている方を、ご家族様や介護支援専門員、在宅の医療機関と連携を密に取り「断らないショートステイ」を実現したことが大きな要因と考えています。また緊急的な活用（独居や老々介護等）、またご家族様のキーパーソンとしての機能が不十分なケースも多く対応し、響会方程式の中でのショートステイの役割（寛ぎの提供、第2の我が家への繋ぎ役）を感じる事が多い一年でした。

令和7年度も、ご家族様、担当の介護支援専門員に選ばれる好日苑ショートステイを目指すとともに、更に法人内連携も強化していきます。

① 令和6年度【ショートステイ稼働率】



② 令和6年度【ショートステイ平均利用日数等】



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
月当初予約日数	617	644	635	663	638	633	651	598	622	646	556	621	627
(%)	108.2%	109.3%	111.4%	112.6%	108.3%	111.1%	110.5%	104.9%	105.6%	109.7%	104.5%	105.4%	108.5%

Ⅶ 人財育成（研修）

令和6年度 第1回「新入職員基礎研修(BS)内容」						社会福祉法人響会 特別養護老人ホーム 好日苑 9：00～18：00 勤務（3日間）			
No.	日付	時間				場所	内容	研修担当職員	
1	1 日目	9:00	～	9:15	0:15	相談室1.2	施設長挨拶	施設長	
							オリエンテーション	特養課長	
3		9:20	～	9:50	0:30		【事業運営方針】 ・第6次中期経営計画 ・令和6年度事業計画 ・事業継続計画（BCP）～自然災害・感染症～	特養課長	
4		9:50	～	10:50	1:00		【大田区の介護保険制度の現状】 ・制度全般（保険料・要介護度等） ・優先入所制度 ・特養の現状（要介護度・料金等）		
5		11:05	～	12:05	1:00		【法人組織や事業・各種規定】 ・倫理綱領・就業規則・給与規定 ・運営規定（特養・デイ・ヘルパー） ・オンブズパーソン委員会設置要綱 ・苦情解決の取組に関する実施要綱 ・個人情報保護規定 ・各種サービス指針 各種申請書含む	事務主任	
6		12:05	～	13:05	1:00		休憩		
7		13:05	～	14:05	1:00		館内設備・防災研修	事務主任	
8		14:15	～	14:47	0:32		動画研修 ・「心が伝わる」 ビジネスマナーの基本 Part1 企業人・社会人として働くという事 Part2 笑顔・あいさつ・言葉遣い	介護係長	
		14:55	～	15:51	0:56		動画研修 ・【新版】社会人 やっていいこと・悪いこと		
		16:00	～	16:44	0:44		動画研修 ・新入社員のための「社会人のルール」		
		16:50	～	17:40	0:50		動画研修 ・新入社員のための「報連相の基本」		
9		17:40	～	18:00	0:20		報告書作成		
10	2 日目	9:00	～	10:30	1:30	相談室1.2	好日苑の特徴～6つの風船～ 相手の気持ちを大切にする	介護係長	
11		10:40	～	11:30	0:50		【Peaceful Care】研修 ～穏やかな看取り介護～ 顧みる看取り介護	相談係長	
		11:30	～	12:30	1:00		介護記録		
12		12:30	～	13:30	1:00		休憩		
13		13:30	～	14:30	1:00		虐待防止・身体拘束廃止	相談係長	
14		14:30	～	15:30	1:00		認知症ケアの理解		
15		15:40	～	16:50	1:10		介護技術研修（ボディメカニクス）	理学療法士	
16		17:00	～	17:30	0:30		介護現場におけるハラスメント対策について	介護係長	
17	17:30	～	18:00	0:30	報告書作成				

18	3 日目	9:00	～	10:30	1:30	相談室1.2	ICF 的考え方入門	相談係長
19		10:40	～	11:20	0:40		好日苑の食事～人を良くする食事～ 食形態・食中毒予防 栄養ケア計画	管理栄養士
20		11:20	～	12:20	1:00		好日苑でいう『栄養リハ』とは 経口維持計画/経口移行計画 口腔ケア	
21		12:20	～	13:20	1:00		休 憩	
22		13:20	～	14:50	1:30		医療研修～先手のケア研修～ 「健康管理」	看護係長
23		15:00	～	16:40	1:40		「感染予防」「胃腸管理」 「吸引等の医行為（実技含む）」 「褥瘡予防」	
24		16:50	～	17:30	0:40		動画研修 働く人のメンタルヘルス①②	介護係長
25		17:30	～	18:00	0:30		振り返り・報告書作成	

令和6年度《【新館】内部研修》

開催月	開催日	場 所	内 容	参加人数
6月	24日	相談室	緊急時対応研修 ～太枠・アドバイザー研修～	7名

令和6年度《【看護職員】自主勉強会》

開催月	開催日	場 所	内 容	参加人数
4月	23日	医務室	医療・介護事故とKYT	10名
8月	28日	相談室	感染対策の基本を知る	6名
10月	6日	医務室	胃ろうについて	6名
12月	23日	医務室	腰痛体操と対策	5名
1月	29日	相談室	好日苑式チームナーシングのイメージ	5名
3月	26日	医務室	特養における看護職員の役割	4名

令和6年度<<【両館】合同内部研修 >>

開催月	開催日	場 所	内 容	参加人数
4月	11日	職員食堂	令和5年度事業計画説明	22人
5月	18日	職員食堂	Peaceful Care研修	9名
6月	21日	相談室	介護基礎研修 介護福祉士の職業倫理	9名
7月	5日	相談室	避難所運営ゲームHUG	17名
7月	19日	職員食堂	安全管理体制研修	11名
8月	7日	相談室	感染症対策実地訓練	10名
9月	20日	職員食堂	KYT研修	11名
10月	15日	相談室	リーダーBS フィードバック研修	14名
11月	22日	職員食堂	感染症対策・食中毒対策	15名
1月	17日	職員食堂	「認知症ケア」研修 ～認知症の人と介護者のこころの理解～	11名
2月	21日	職員食堂	安全管理体制研修	10名
3月	21日	職員食堂	次世代介護機器研修	12名

令和6年度<<【動画視聴】研修 >>

開催月	締切	内 容	参加人数
4月	5月15日	「介護現場におけるハラスメントに関する職員研修」 配信先: 大田区福祉人材eラーニングシステム」	73名
6月	7月4日	「新任職員向け事故防止活動とコンプライアンス防ぐべき事故と防げない事故 事故防止対策の基本を学ぶ」 配信先: 安全な介護	70名
8月	9月8日	「高齢者虐待防止研修」 神戸市高齢者虐待防止 介護従事者研修用映像「よりよい介護をめざして」	79名
10月	11月20日	施設における感染拡大予防研修 基礎編1 施設における標準予防策(手指衛生、個人防護具)について	74名
12月	1月31日	早わかりシリーズ 新・危機管理編 これだけは知っておきたい「私たちの地震対策」 突然の大地震発生！そのとき、あなたはどう行動する！？	74名

令和6年度<【外部】研修>

開催日	主催	研修名	参加者
6月19日	東社協	2024年介護報酬改定について	特養課長 介護係長 相談係長
7月22日	老施協	令和6年度 介護施設における安全対策担当者養成研修	特養課長 介護係長 相談係長 看護係長
5月30日	東京ちどり病院	感染対策研修会	看護職員
5月1日	ユニットケア推進センター	ユニットリーダー研修(eラーニング)	介護主任
7月16日	ユニットケア推進センター	ユニットリーダー実地研修(みぎわホーム)	介護主任
7月3日 ～ 2月5日	東社協	チームマネジメントを学ぶ研修会	介護主任
7月3日 ～ 2月5日	東社協	チームマネジメントを学ぶ研修会	介護副主任
6月28日	東京都高齢者福祉施設協議会	介護職員のためのオンライン情報交換会	介護職員
6月28日	東京都高齢者福祉施設協議会	介護職員のためのオンライン情報交換会	介護職員
8月28日	東京都福祉局	アドミニストレーター養成研修	相談係長
8月28日	東京都福祉局	アドミニストレーター養成研修	介護主任
7月2日	東社協	栄養士のための 介護報酬改定と新しい栄養評価基準について	栄養主任
7月12日	東社協	東京都認知症介護実践者研修	介護副主任
11月26日	ユニットケア推進センター	看護職のためのユニットケア研修	看護職員
1月29日	ユニットケア推進センター	看護職のためのユニットケア研修	看護職員
9月24日	東京都福祉保健財団	指導看護師研修会	看護職員
10月1日 ～ 12月31日	東京都保健医療局	東京都感染対策リーダー養成研修	看護係長
9月24日	大田区	苦情、クレーム防止の接遇マナー	介護係長
10月22日	東京都	第1回東京都災害派遣福祉チーム(東京DWAT)登録研修会	相談係長
10月16日	福祉人材センター	認知症実践者研修	介護副主任
11月7日	大田区保健所	感染症予防講演会	介護主任
11月7日	大田区保健所	感染症予防講演会	看護職員
11月28日	東京都福祉局	アドミニストレーター養成研修	介護主任
11月13日	東京都福祉保健財団	R6年度 宣言法人限定ステップアップセミナー	特養課長
11月22日	ユニットケア推進センター	ユニットケアセミナー	介護係長
12月10日	大田区	外国人向け介護の仕事に役立つ日本語講座	特定技能
10月22日	ユニットケア推進センター	ユニットリーダー研修(実地研修)	介護副主任
11月28日	東京都	結核予防講演会 高齢者施設における結核対策	看護職員
1月8日	東京都高齢者福祉施設協議会	特養における看護職員の役割	看護職員
1月14日	東京都福祉保健財団	施設職員向け福祉用具講習会	介護主任
1月27日	東京都災害福祉広域支援ネットワーク	R6年度 第2回 東京DWAT登録研修会	介護主任
1月27日	東京都災害福祉広域支援ネットワーク	R6年度 第2回 東京DWAT登録研修会	介護主任
1月9日	ユニットケア推進センター	ユニットリーダー研修	介護副主任
1月29日	大田区福祉管理課	高次脳機能障害の学びを深める	介護職員
3月11日	東社協	介護現場のハラスメント研修	介護係長
3月12日	東社協	東京都認知症介護実践リーダー研修	介護主任

Ⅶ 会議・委員会

令和6年度《特養会議開催内容》

会議名	開催月	開催日	【特養会議】 内容の概要
特養会議	4月	5日	R5年度の振り返り 前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告
	5月	9日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 東京都居住支援特別手当の支給について
	6月	7日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 6/10以降の感染症対策の緩和について
	7月	5日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 特定入所者介護サービス費の見直しについて
	8月	7日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 好日苑まつり・アクティブ福祉について
	9月	6日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 響会 大規模防災訓練について 会議体系についての確認
	10月	8日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 第三者評価アンケートについて
	11月	8日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 挨拶について
	12月	6日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 年末年始のショートステイについて
	1月	10日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 新型コロナウイルス感染状況共有
	2月	7日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 感染症発症状況確認
	3月	7日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 床頭台更新工事完了報告

参加者

理事長・施設長・特養課長
介護係長・相談係長・看護係長
管理栄養士・介護主任

会議レジュメ

1. 特養部門の前月実績分析
2. 各会議報告
(3C・本館会議・新館会議・看護師会議・食事会議)
3. 各委員会報告
(リスク・認知症・NGCT・合同排泄)
4. 各専門職種から
5. 検討課題

今年度を振り返って

令和6年度は介護報酬改定に伴い新たな加算取得に向けた取組や義務化された項目の適正運用等の確認等を特養会議を通して全体で共有していきました。
また5Sや3Mの削減への取組等についても、特養会議が核となる会議ですので、各会議・各委員会での検討事項の方向性を確認・調整を行うとともに、特養の方向性を周知する重要な会議として位置づけて検討を進めていきました。

令和6年度《特養係長会議開催内容》

会議名	開催月	開催日	特養主任会議(3C)内容
特養係長会議（3C）	4月	4日	利用者状況、職員状況、本館内装仕上げ大規模改修工事
		12日	利用者状況、職員状況、特養人事考課結果
		19日	利用者状況、職員状況、「ほのぼの」システム操作説明の共有
		26日	利用者状況、職員状況、感染症クイックマニュアルの更新
	5月	2日	利用者状況、職員状況、R5年度 事業報告
		10日	利用者状況、職員状況、R6年度 新館家族会について
		17日	利用者状況、職員状況、特定技能外国人財の育成について
		24日	利用者状況、職員状況、職員BS研修について
		31日	利用者状況、職員状況、新型コロナ感染状況
	6月	14日	利用者状況、職員状況、結核追跡調査協力の依頼について
		21日	利用者状況、職員状況、施設調査書の作成について
		28日	利用者状況、職員状況、2024年介護報酬改定について
	7月	4日	利用者状況、職員状況、東京都立高校生職場体験事業について
		12日	利用者状況、職員状況、好日苑まつりの制限緩和について
		19日	利用者状況、職員状況、インスタの職員紹介写真について
		26日	利用者状況、職員状況、アクティブ福祉in東京'24 抄録について
	8月	2日	利用者状況、職員状況、夏！体験ボランティア受入れについて
		9日	利用者状況、職員状況、虐待の芽チェックリスト自己点検について
		16日	利用者状況、職員状況、好日苑まつりについて
		23日	利用者状況、職員状況、結核健診について
	9月	30日	利用者状況、職員状況、生産性向上の取組について
		5日	利用者状況、職員状況、第三者評価について
		13日	利用者状況、職員状況、自転車通勤利用職員のレインコート掛けについて
		20日	利用者状況、職員状況、響会大規模防災訓練について
	10月	27日	利用者状況、職員状況、先発医薬品(長期収載品)の選定療養
		4日	利用者状況、職員状況、本館多床室床頭台プロポーザルについて
		11日	利用者状況、職員状況、響会大規模防災訓練について
		18日	利用者状況、職員状況、次世代介護機器導入促進支援事業について
	11月	24日	利用者状況、職員状況、インフルエンザワクチン接種について
		1日	利用者状況、職員状況、本館家族会について
		7日	利用者状況、職員状況、「多床室床頭台(可動式造作家具)」契約について
		14日	利用者状況、職員状況、福祉の職場宣言ステップアップセミナー
	12月	22日	利用者状況、職員状況、年末年始手当について
		29日	利用者状況、職員状況、ほのぼのケアパレットについて
		5日	利用者状況、職員状況、アクティブ福祉in東京'25抄録について
		13日	利用者状況、職員状況、ホームページセキュリティ強化
	1月	20日	利用者状況、職員状況、見守り支援機器及び通信環境の一体的整備事業
		27日	利用者状況、職員状況、人材確保コンサルティングについて
		1日	利用者状況、職員状況、個人目標について
		9日	利用者状況、職員状況、令和7年度事業計画作成について
	2月	17日	利用者状況、職員状況、新型コロナ感染症発症状況
		24日	利用者状況、職員状況、実習生の受入れについて
		31日	利用者状況、職員状況、第三者評価結果報告書について
		6日	利用者状況、職員状況、有期雇用契約の更新について
	3月	14日	利用者状況、職員状況、車いすの設備について
		21日	利用者状況、職員状況、居宅・ヘルプ事業所統合について
		28日	利用者状況、職員状況、実務者研修好日苑校開校について
		6日	利用者状況、職員状況、R7年4月1日 永年勤続表彰者
	3月	14日	利用者状況、職員状況、新型コロナワクチン接種について
		21日	利用者状況、職員状況、台湾企業施設見学受入れの件
		28日	利用者状況、職員状況、委員会メンバーについて

参加者

施設長・特養課長
介護係長・相談係長・看護係長・PT

会議レジュメ

1. 前回の議事確認
2. 好日苑利用者状況(台帳)確認
3. 特養「組織図」と「人財」確認
4. 今日現在の稼働率状況確認
5. 特養(AP)検討課題
6. 新型コロナウイルス対応について
7. 報告事項
8. 3C来週の予定確認

今年度を振り返って

特養係長会議(3C)を特養の主要会議とし、特養部門の現状(コロナ発生状況確認・入居者状況・人財・組織・運営・課題・方向性等)を調整し協働を図るため、週1回(通算51回)開催いたしました。

特養においては、常に24時間365日動いていますので、1週間前の状況が殆ど変化している状態であり、情報の共有化と他職種協働の重要性を改めて認識いたしました。

また介護報酬の改定に伴い新たな加算や現行の対応の義務化等、より適正な運用が求められてきていますので、3Cを中心に加算算定に向けた検討や現行の取り組みが適正に運用できているかの点検を実施致しました。次年度も引き続き緊張感を持って対応していきます。

令和6年度《本館会議開催内容》

会議名	開催月	開催日	【本館会議】 内容の概要
本館会議	4月	11日	・事業計画説明 ・今年度方向性共有 ・入浴担当チーム内容共有
	5月	13日	・特定技能外国人の育成方法検討 ・入浴担当チーム内容共有 ・居担業務内容見直し ・義歯誤飲事故振り返り
	6月	13日	・特定技能外国人の育成ステップの検討 ・入浴業務マニュアル見直し ・大規模防災訓練振り返り
	7月	11日	・ネクストBS研修フィードバック ・入浴チーム（過去の重大事故共有） ・各階進捗状況報告 ・入浴研修へ向けて
	8月	16日	・F早体制構築に向けて ・好日苑まつり開催へ向けて ・3年後の理想
	9月	15日	・非常勤（高校在学中）の育成方法検討 ・F早体制構築に向けて ・各階進捗状況報告
	10月	16日	・生産性向上に向けた取り組みのイメージ、具体的手法を共有 ・F早体制開始後の評価 ・上半期振り返り
	11月	14日	・生産性向上に向けた取り組み - 各業務マニュアル整理 ・各階会議内容整理 ・各階進捗状況報告
	12月	11日	・生産性向上に向けた取り組み - 食事時間の動画検証 - 各業務マニュアル整理進捗 ・各階進捗状況報告
	1月	16日	・一文字目標発表 ・生産性向上に向けた取り組み - 食事時間の動画検証 - 各業務マニュアル整理進捗 ・感染症対応整理
	2月	13日	・生産性向上に向けた取り組み - 食事時間の動画検証 - 各業務マニュアル整理進捗 ・感染症対応整理 ・防災訓練実施へ向けて
	3月	11日	・一年間の振り返り ・次年度委員会方向性検討 ・主任育児休暇にあたって対応検討

参加者

本館係長・本館CM
本館主任・本館副主任

会議レジュメ

1. 前月の提案事項の進展状況確認
2. 法人伝達事項
3. 特養会議でのポイント確認
4. 各階運営状況報告&課題提起
5. 本館全体の検討課題
6. 5S委員会

今年度を振り返って

令和6年度は、入浴体制変更が軌道に乗ってきたこともあり、入浴チームを結成して質の向上に努めることから始めました。改めて基本の介助方法から、リスク回避、また羞恥心への配慮の検討もしました。そして特定技能外国人を初めて受け入れるにあたって育成方法の検討をしてきました。下半期にかけては、改めて生産性向上の取り組みの目的、イメージ、具体的な方法を共有しながら、F早体制の構築に努めてきました。その後、昼食時間の職員の動き方、配薬方法の統一を図り、併せて各業務マニュアルの見直しを行い、誰が行っても一定水準以上のサービスが提供できるように、また職員の配置転換があっても、スムーズに勤務に入れるように努めてきました。まだ機能していない点もありますが、次年度も引き続き生産性の向上に努めていきます。

令和6年度《新館会議開催内容》

会議名	開催月	開催日	【新館会議】 内容の概要
新館会議	4月	11日	☐ NEXT研修事前勉強会、研修実施 ☐ 各階(ユニット)目標共有
	5月	13日	・基本って「食事」 ・アドバイザー・太梓 ・3階での早番時間ずらし(お試し)の共有
	6月	9日	☐ ほのぼの共有 ☐ 7/21(日) イベント ☐ 基本がって「口腔ケア」
	7月	11日	・基本がって「陰部洗浄」 ・業務バランス確認(入浴含め)→例えば、買い物に行ける時間ができないか ・NEXT活躍への取り組み
	8月	10日	・好日苑祭りの動き方 ・やりたいこと発表 ・基本って「ポジショニング & ボディメカニクス勉強会」 ・ユニットリーダー実地研修報告～南町田 みぎわホーム～(竹内主任)
	9月	12日	・生産性向上について ・暮らしに必要、不必要(ユニットケア視点・生産性向上視点) ・アクティブ福祉
	10月	15日	・基本って「主任・副主任の業務バランス」 ・入浴勤務隙間時間の使い方について(午後、早番が入浴業務の必要がなくなった場合、F日が前倒し入浴をする必要が無い場合)
	11月	12日	・基本って「主任・副主業務 第二弾」 ・ユニットリーダー実地研修報告～みなみ風はなみずきユニット～(佐藤副主任) ・感染症の研修報告(渡邊主任)
	12月	10日	・基本って「ケアと介護」 ・通い型介護
	1月	15日	・NEXTの活躍の場
	2月	13日	・基本って「ケアと介護」 ☐ ・配薬介助時のルール ・人事考課面談の心構え ・職場マナー ・NEXTの活躍の場 ・浴室での異食事故振り返り
	3月	11日	・ユニットリーダー実地研修報告～みなみ風～(溝口副主任) ・人事考課面談の心構え - 面談する側される側のロールプレイングを行う。 ・配薬マニュアル ・入浴について

参加者
新館係長 新館主任・新館副主任

会議レジュメ
1. 前月の提案事項の進展状況確認 2. 法人伝達事項 3. 特養会議でのポイント確認 4. 各階運営状況報告&課題提起 5. 新館全体の検討課題 6. 新館内部研修計画検討

今年度を振り返って
R6年度は「基本」について考える時間を設けました。基本があつての応用。基本はぶれることはない。ということを改めて共有する場としました。来期は浸透しているかを意識し、基本を大事にできるようにします。 新館会議で話しただけでは答えに辿り着いていない内容もあるが、聞ける環境はあるので、自分から獲得していく意識を持っていく必要があります、新館会議メンバーはその役割であることを自覚し、来期もリーダーシップが発揮できるようにしていきます。

令和6年度《看護師会議開催内容》

会議名	開催月	開催日	【看護師会議】 内容の概要
看護師会議	4月	23日	・特養会議からの報告（実績含む） ・オンコール対応, 看取り介護振り返り ・医務室スマート化に向けての取り組み 各階マニュアル, 各種チェックリストについて
	5月	23日	・特養会議からの報告（実績含む） ・オンコール対応, 看取り介護振り返り ・生産性向上に向けての取り組み 感染症パス見直し（本館3階で使用） 介護ソフト「ほのぼの」への移行について ・悩みの共有とアドバイス
	6月	24日	・特養会議からの報告（実績含む） ・オンコール対応, 看取り介護振り返り ・生産性向上に向けての取り組み ・配置医師緊急時対応加算について ・状態変化時の対応共有（遅番時間帯） （頭部外傷・義歯紛失）
	7月	31日	・特養会議からの報告（実績含む） ・オンコール対応, 看取り介護振り返り ・生産性向上に向けての取り組み ・ニトロペン（狭心症用舌下錠）の使用法周知 ・東京都感染対策リーダー研修について （オンデマンド研修動画）
	8月	28日	・特養会議からの報告（実績含む） ・オンコール対応, 看取り介護振り返り ・生産性向上に向けての取り組み ・業務での共有, 周知事項
	9月	メールにて実施	・特養会議からの報告（実績含む） ・オンコール対応, 看取り介護振り返り ・生産性向上に向けての取り組み 各階マニュアル, 各種チェックリストについて
	10月	メールにて実施	・特養会議からの報告（実績含む） ・オンコール対応, 看取り介護振り返り ・生産性向上に向けての取り組み
	11月	18日	・特養会議からの報告（実績含む） ・オンコール対応, 看取り介護振り返り ・生産性向上に向けての取り組み ・勉強会「事例振り返り」 ・感染症振り返り（本館2階）
	12月	25日	・特養会議からの報告（実績含む） ・オンコール対応, 看取り介護振り返り ・生産性向上に向けての取り組み ・勉強会「事例振り返り」 ・職員インフルエンザワクチン接種事故振り返り ・年末年始の薬局預かり薬について ・事業継続計画（BCP）机上訓練実施
	1月	29日	・特養会議からの報告（実績含む） ・オンコール対応, 看取り介護振り返り ・生産性向上に向けての取り組み 感染症パス見直し（本館3・4階で使用） ・勉強会「好日苑式チームナースング」イメージ 「チームワーク」「タイムマネジメント」
	2月	27日	・特養会議からの報告（実績含む） ・オンコール対応, 看取り介護振り返り ・生産性向上に向けての取り組み 各階マニュアル, 各種チェックリストについて ・勉強会「事例振り返り」
	3月	31日	・特養会議からの報告（実績含む） ・オンコール対応, 看取り介護振り返り ・生産性向上に向けての取り組み 各階マニュアル, 各種チェックリストについて 利用者コロナワクチン接種, 感想と課題 ・勉強会「事例振り返り」

参加者
特養課長・看護係長・看護職員

会議レジュメ
- 経営会議・特養会議報告 - 利用者状況報告 - ターミナルケア対応 - 感染症等予防対策 - 褥瘡等予防対策 - 提案事項

今年度を振り返って
令和6年度の平均稼働率は99.6%と5年度に続き高稼働を維持することができました。その要因として、前年度同様「先手のケア」の実践とご家族様や入居者様の気持ちに沿った対応が挙げられます。 6年度も新型コロナ感染の発症があり入院は3名にとどまりましたが、後遺症が長引き、食事摂取やADLに影響を及ぼしている入居者様が目立ちました。高齢者への感染症の影響を痛感した年でもあります。7年度は感染症の発症を最小限に抑え、引き続き「先手のケア」で悪化を防ぎ適切な医療連携を行いながら、理念である「安心と暖かさ」をご利用者様・ご家族様に体感していただけるよう努めます。 5年度から6年度に入職したメンバーの成長も顕著であり、コミュニケーションを通して職員育成に努めて7年度も引き続き緊張感を持って専門職としての役割を果たしていきます。

令和6年度《食事会議開催内容》

会議名	開催月	開催日	【食事会議】 内容の概要
食事会議	4月	11日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・わくわく手作りおやつ「蒸しパン」 ・令和6年度非常食入れ替え一覧表 ・感染症報告
	5月	16日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・クックチル導入後の進捗状況 ・感染症報告
	6月	20日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・温冷配膳車下膳での注意点 ・わくわく手作りおやつ「クリームあんみつ」 ・感染症報告
	7月	18日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・わくわく手作りおやつ(特養) 「クリームあんみつ」 ・好日苑まつりの内容確認 ・感染症報告
	8月	22日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・わくわく手作りおやつ(特養含む) 「クリームあんみつ」 ・好日苑まつりの内容最終確認 ・感染症報告
	9月	19日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・好日苑まつり振り返り ・残菜調査について ・感染症報告
	10月	24日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・わくわく手作りおやつ(特養含む) 「フレンチトースト」 ・残菜調査結果について ・感染症報告
	11月	21日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・わくわく手作りおやつ(特養) 「フレンチトースト」 ・第三者評価結果について ・感染症報告
	12月	19日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程確認 ・わくわく手作りおやつ(デイ) 「クロカンブッシュ」 ・わくわく手作りおやつ(特養) 「フレンチトースト」 ・お正月の食事について ・感染症報告
	1月	16日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・正月三が日の振り返り ・来年度のイベント内容案 ・感染症報告
	2月	20日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・わくわく手作りおやつ「白玉団子」 ・感染症報告
	3月	13日	・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・ほっとサロン来年度予定 ・感染症報告

参加者
特養課長・在宅課長 本館介護係長・新館介護係長 在宅係長・管理栄養士 委託事業者マネージャー 委託事業所好日苑所長
会議レジュメ
1. 前回の議事確認と進行状況確認 2. 前月の食事関係報告と検討事項 3. 今月・来月以降の検討課題の整理 4. 委託事業所より意見・要望等
今年度を振り返って
今年度も皆様が楽しみにされている【握り寿司】を職人さんのデモンストレーションの形で、給食委託事業者の協力のもと、開催することができました。また特養の入居者様をデイサービスで月1回開催しているイベント食にご招待して、食事を楽しんで頂くことができました。普段とは違う場所での食事は、外食のような感覚もあり、テーブルを囲みながら和やかな時間になりました。そして日々のメニューに関しても、マンネリ化しないように新しいメニューを入れ、今後も食を通じて喜んで頂ける食事を提供することができるよう、給食委託事業者と協力して行きたいと思います。

令和6年度《リスク管理委員会・生産性向上委員会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【リスク管理委員会】 内容の概要
リスク管理委員会・生産性向上委員会	4月	5日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 生産性向上の取組について 令和6年度事業計画説明
	5月	9日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 生産性向上の取組について BPSDとハラスメントの違いについて
	6月	7日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 生産性向上の取組について 介護記録新ソフトについて
	7月	5日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 生産性向上の取組について 災害訓練(避難所運営ゲームHUG)
	8月	7日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 生産性向上の取組について 感染症対応訓練(個人防護具着脱訓練)
	9月	6日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 第三者評価説明 生産性向上についての研修
	10月	8日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 生産性向上の取組について 上半期の重大事故の振り返り
	11月	8日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの BCP事業継続計画の説明
	12月	6日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 生産性向上の取組について 「ケア」と「介護」について
	1月	7日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 生産性向上の取組について コロナ対応について 次世代介護機器・外国人採用について
	2月	7日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 生産性向上の取組について コロナ感染対応振り返り
	3月	7日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 生産性向上の取組について 災害訓練(災害想定ゲームKIZUKI)

参加者
施設長・特養課長 介護係長・相談係長 看護係長・介護主任
会議レジュメ
1. 前回の議事確認と進行状況 2. 先月の事故報告状況(統計) 3. 先月の事故報告書からみるA+ 4. ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの (気になる事故等) 5. その他
今年度を振り返って
利用者様も変化していく中で状態に合わせてリスク回避だけではなく、感染予防も重要であることは変わりません。今年度は次世代介護機器も増えたり、外国人採用も積極的に行ってきましたが、そうした状況の変化にもリスク視点を持つ重要性を学びました。今後は更に視野を広げて日々の事故予防力を上げるとともに、きちんと振り返りをし、学んだことを無駄にしない取り組みを来期も継続していきたいと思いをします。

令和6年度《次世代介護実践チーム(NGCT)開催内容》

会議名	開催月	開催日	【次世代介護ケアチーム】 内容の概要
次世代介護実践チーム(NGCT)	4月	23日	・メンバー紹介 ・6年度目標共有 ・事業計画説明 ・次世代機器活用状況共有
	5月	28日	・6年度の具体的取組内容共有 ・次世代介護機器活用状況 ・エアマットレスのデモおよび商品説明会 ・勉強会、体操について検討
	6月	25日	・次世代介護機器活用状況 ・介護機器の使用方法的復習とリスクの共有 ・腰痛アンケートの配布
	7月	23日	・次世代介護機器活用状況 ・入浴介助時の腰にかかる負担の共有と対策の検討 ・腰痛予防体操の検討
	8月	27日	・次世代介護機器活用状況 ・PTによる勉強会(腰痛体操、これだけ体操) ・腰痛アンケートの集計結果報告 ・NGCTの活動内容や社内紹介の内容検討
	9月	24日	・次世代介護機器活用状況 ・ラジオ体操・腰痛予防体操状況報告 ・勉強会:浴室でのスライディングシート活用方法 ・床走行式リフトのデモ
	10月	22日	・次世代介護機器活用状況 ・ラジオ体操・腰痛予防体操状況報告 ・上半期の振り返り
	11月	26日	・次世代介護機器活用状況 ・事例検討会 ・見守りセンサー「HITOMEQ」のデモおよび説明会 ・フロアでのスライディングシートの活用について再共有
	12月	17日	・次世代介護機器活用状況 ・ラジオ体操・腰痛予防体操状況報告 ・事例検討会 ・「スイトルボディ」のデモンストレーション ・アクティブ福祉in東京について
	1月	28日	・次世代介護機器活用状況 ・ラジオ体操・腰痛予防体操状況報告 ・PTによる勉強会:浴室用Hugの使用方法的 ・施設における困難事例への対応方法を学ぶ報告
	2月	25日	・次世代介護機器活用状況 ・ラジオ体操・腰痛予防体操状況報告 ・第2回腰痛アンケート配布 ・勉強会:固定式リフト・床走行式リフト
	3月	25日	・今年度の振り返り ・メンバーから一言 ・次世代介護機器活用状況 ・腰痛アンケート結果報告

参加者
介護係長・理学療法士・新館主任(1名)・ 本館主任(1名)・各階介護職員(6名)・看護 師

会議レジュメ
1, 次世代介護機器の活用状況 2, ラジオ体操、腰痛予防体操の実施状況
今年度を振り返って
令和6年度は、「ノーリフティングケアの実践と介護機器を使用し、利用者の暮らしが変わる」委員会メンバーが中心となってフロアで介護機器(道具)を使いこなせるようになる」「更なる職員の腰痛軽減」を目標とし取り組みました。 ノーリフティングケアでは、前年度からの介護機器使用の浸透を継続し、腰痛対策ではラジオ体操に加え腰痛予防体操を作成し発信。職員の腰痛悪化の予防や軽減に繋がりました。また、介護ロボットの活用により、入居者の生活に合わせた離臥床が行えたり、褥瘡に配慮し離床することができたため、居室から出て食事が取れるようになり発語が増えたなど入居者の暮らしに変化をもたらすことができました。また、業者を招いてエアマットや見守りセンサー等、介護用品の勉強会を行いその使い方や機能など学び、今後の業務に活かせる知識を得ることができました。次世代介護機器では入浴用Hugを導入し、浴室という特別な環境下で介護ロボットを使用することを開始。着衣の着脱も含めた手順を試行錯誤している状態であるが入居者や職員の負担軽減になっています。 次年度は、苑として眠りスキャンの導入を予定。委員会メンバーが中心となり円滑に導入できるよう取り組んでいきます。また、これまでPTが主体となって実施してきたノーリフティングケアや介護機器等の浸透をCWが主体となって実施できるよう取り組みます。そして、引き続き入居者の生活の質の向上や職員の腰痛予防と業務の生産性の向上につなげていきたいと思ひます。

令和6年度《認知症ケア検討会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【認知症ケア委員会】 内容の概要
認知症ケア検討会	5月	14日	今年度の認知症検討会の内容、目的共有 計画書作成
	7月	17日	各階進捗状況確認 BPSDへの対応について意見交換
	10月	29日	各階進捗状況確認 意見交換
	11月	13日	各階進捗状況確認
	1月	11日	各階進捗状況確認 認知症ケアの手法(カンフォータブルケア・ユマニ チュード・パーソンセンタードケア・タクティールケア) について学ぶ
	2月	13日	各階進捗状況確認
	3月	7日	1年間の実施報告会

参加者
各階副主任(うち認知症介護実践者研修 受講者3名)
会議レジュメ
1. 勉強会資料
今年度を振り返って
令和6年度は各階の副主任を中心に認知症の基 礎知識や手法を学びながら、各階での課題抽 出、改善に向けて取り組んできました。 認知症 実践リーダー研修等を受講している主任と共に行 う事で専門性の向上だけでなくリーダー力の向上 にも繋がったかと思います。 年度の最後には1 年間取り組んできた事を発表する場を設けまし た。 目標を持って実践することでやる気にも繋が り、好日苑全体でのチームワーク向上にも繋が りました。

令和6年度《身体的拘束適正化に伴う委員会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【身体拘束廃止委員会】 内容の概要
身体的拘束適正化委員会	4月	9日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・新人BS研修予定
	5月	17日	・前月の身体拘束者確認(特養1名) ・6月の新人BS研修予定確認
	6月	21日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・新人BS研修報告
	7月	19日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・「虐待の芽チェックシート」実施開始報告
	8月	16日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・新館感染対応中の支援状況報告
	9月	13日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・「行動制限」に繋がりがかねない事例の共有
	10月	18日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・「スピーチロック」の考え方の共有
	11月	22日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・本館感染対応中の支援状況報告
	12月	20日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・感染症発症時の視点の共有
	1月	17日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・本館感染症対応中による不適切ケア予防の確認
	2月	21日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・感染症対応の振り返り
	3月	21日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・基本技術や知識習得の重要性の再共有

参加者
施設長・特養課長・在宅課長・看護係長・ 介護係長・相談係長・理学療法士

会議レジュメ
1. 前回の議事確認・経過報告等 「拘束の種類」「現在の状況」 「今後の方向性」 2. その他

今年度を振り返って
令和6年度は身体拘束を実施することなく一年間を過ごすことが出来ました。身体拘束適正化の考えが浸透しており、ご入居者の尊厳や不利益を第一に、支援を行うという考え方が根付いている結果でと考えております。 半面、未経験の職員の入職も増えており、基本的な知識や技術が伴わない支援が、「行動の制限」や「不適切なケア」に繋がる可能性があることを改めて認識することが出来た一年となりました。 また、令和6年度も感染症に追われた一年間でしたが、ご入居者の「行動の制限」を強いられる状況の中で、身体的拘束実施に至ることはなく対応することが出来ました。今後の課題として、感染対応中であっても、できるだけ普段の生活が継続できるような「精神面での拘束」が緩和できるような支援の必要性を感じております。 引き続き定期的な研修の実施を行い、職員の意識と技術の向上を図っていききたいと思います。

令和6年度《虐待防止委員会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【虐待防止委員会】 内容の概要
虐待防止委員会	4月	9日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ)
	5月	17日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ) 新人BS研修について
	6月	21日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ) 「虐待の芽チェックシート」実施に向けて
	7月	19日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ)
	8月	16日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ) 「虐待の芽チェックシート」結果報告の共有
	9月	13日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ)
	10月	18日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ)
	11月	22日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ)
	12月	20日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ)
	1月	17日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ) ・認知症ケア研修(虐待予防)について
	2月	21日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ) 感染症対応の振り返り
	3月	21日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ)

参加者

施設長・特養課長・在宅課長・看護係長・
介護係長・相談係長

会議レジュメ

1. 前回の議事確認
2. 不適切ケアについて
3. その他

今年度を振り返って

令和6年度は虐待防止委員会にて、日々の業務に潜む「不適切ケア」を事前に他職種にて検討し、フィードバックしていく事で、各職員が自身のケアの点検を行い、「不適切なケア」から「虐待」に至らないよう小さな芽を摘む取り組みを行っていきました。この委員会の取り組みにより、会議や研修等で「不適切ケア」について考える機会が増えたと感じています。また7月に「虐待の芽チェックシート」を活用したアンケート結果を分析し、そこから見えてきた傾向と対策をリスク管理委員会等を通じて現場にフィードバックする事が出来ました。

令和6年度《本館・新館合同排泄委員会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【本館・新館 排泄委員会】 内容の概要
本館・新館合同排泄委員会	4月	18日	・前年度取り組み内容、製品のコンセプトの共有、年間スケジュール説明(ライフリー切り替え時期は夏ごろの予定) ・上半期は排泄道具をテナからライフリーに切り替える事もふまえ、まずは「ライフリー製品に慣れる」とした
	6月	20日	・委員会メンバーで各階職員へライフリー製品の使用方法と道具についてフィードバック ・ライフリー用の定時排泄表(各館合わせる)を作成 ・まずは委員会メンバーがライフリー製品に慣れることを目的に委員会メンバーでの発注業務を開始
	8月	20日	・ライフリー使用状況評価 ・年間配送スケジュールについて共有(お盆や年末年始の大まかな予定把握、災害対策として3日分余裕がある状態を目指す)
	10月	28日	・ライフリー使用状況評価 ・ライフリー製品発注をフロア業務へ移行→発注表を全体統一書式へ変更(Excel管理) ・下半期目標について「ライフリー製品を使いこなす」とした
	12月	26日	・ライフリー使用状況、フロア発注についての評価 ・年末年始に向けての状況共有(発注・管理等) ・全体、館別、フロア別での6月9月の失禁数を見える化(6月:テナ時代、9月:ライフリー切り替え3か月目)
	3月	27日	・各委員会メンバーで12月のフロア利用者様失禁数を見える化(要因を掘り下げ、製品を使いこなす)

参加者
新館2階:1名(委員長) 本館2階、3階、4階:各1名 新館1階、2階、3階:各1名
会議レジュメ
1. 前回の議事確認と進行状況確認 2. 排泄物品検討 3. 視点共有 4. その他
今年度を振り返って
今年度の排泄委員会は オムツ製品の変更があり、使用方法から、 発注。フローアへ浸透から定着までを委員 メンバーで行いました。皮膚トラブル増減、 失禁増減についても調査し、「道具に慣れる」 を目標に取り組んでまいりました。来年度は 「道具を使いこなす」を意識していきます。

令和6年度《褥瘡予防委員会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【褥瘡予防委員会】 内容の概要
褥瘡 予 防 委 員 会	4月	22日	褥創発生者5名、発症者状況報告 悪化しない工夫 薬剤選定のポイント
	5月	25日	褥創発生者5名、発症者状況報告 薬剤選定のポイント
	6月	24日	褥創発生者5名、発症者状況報告 夏季におけるスキンケアのポイント
	7月	31日	褥創発生者4名、発症者状況報告 亜鉛華軟膏入手困難、代替薬剤について
	8月	28日	褥創発生者3名、発症者状況報告 亜鉛華軟膏の代替薬剤の特徴(ポリベビー) 創部の保清・洗浄について
	9月	30日	褥創発生者3名 発症者状況報告 創部の保清・洗浄について
	10月	30日	褥創発生者3名 発症者状況報告 褥瘡該当者現用の要因の共有 ポリベビー評価
	11月	18日	褥創発生者1名 発症者状況報告 楠間椅子用クッションの購入案について
	12月	25日	褥創発生者2名、発症者状況報告 ポリベビー採用決定 褥瘡写真撮影時のルールについて
	1月	29日	褥創発生者1名、発症者状況報告 褥瘡対策について多職種でできることとは？
	2月	27日	褥創発生者1名、発症者状況報告 褥瘡保護部が汚染された時のCWでの対応共有 処置やケアの工夫
	3月	31日	褥創発生者4名、発症者状況報告 車いす用クッションの納品・使用について

参加者

施設長・特養課長
看護係長・
介護係長・相談係長
管理栄養士・看護職員

会議レジュメ

1. 関係通知確認
2. 褥瘡(疑い含む)発生状況確認
3. 予防対策
4. その他検討事項

今年度を振り返って

4年度より開始した褥瘡往診は、看護職員の創傷ケア・予防に対する意識向上に繋がり、褥瘡などの皮膚トラブルに対する対応能力が向上したと実感しております。

課題としていた会議の活性化に関しては、看護職員の専門的な発言が増えており、7年度も引き続き多職種で参加する意義を有効に活かし、専門職目線での意見交換ができる会議を目指します。

令和6年度《感染症対策委員会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【感染症対策委員会】 内容の概要
感染症対策委員会	4月	26日	感染症関連通知等 感染症等発症状況確認 法人内動向確認 感染症マニュアルの更新について 予約制面会の制限の解除について
	5月	31日	感染症関連通知等 感染症等発症状況確認 法人内動向確認 感染対策の基本について
	6月	28日	感染症関連通知等 感染症等発症状況確認 法人内動向確認 BCP感染症対策の更新について 予約制面会の制限解除後の状況について 八王子保健所より結核追跡調査協力依頼について
	7月	26日	感染症関連通知等 感染症等発症状況確認 法人内動向確認 第27回好日苑祭りでの感染対策について 夏の感染感染対策のポイント
	8月	30日	感染症関連通知等 感染症等発症状況確認 法人内動向確認 八王子保健所より結核追跡調査協力依頼その後
	9月	27日	感染症関連通知等 感染症等発症状況確認 法人内動向確認 マスク着用について
	10月	25日	感染症関連通知等 感染症等発症状況確認 法人内動向確認 特養全体動画視聴研修について
	11月	29日	感染症等発症状況確認 法人内動向確認 感染症対策研修の実施について 使い捨てエプロンの検討について
	12月	27日	感染症関連通知等 感染症等発症状況確認 法人内動向確認 食に関する通い方介護の再開について 年末年始の感染症発症時の対策の確認
	1月	31日	感染症関連通知等 感染症等発症状況確認 法人内動向確認 本館コロナ対応振り返り
	2月	28日	感染症関連通知等 感染症等発症状況確認 法人内動向確認 感染症強化月間終了後の対応について
	3月	28日	感染症関連通知等 感染症等発症状況確認 法人内動向確認 クイックマニュアル更新状況の確認

参加者
施設長・事務長 特養課長・地域課長・在宅課長 看護係長・管理栄養士 デイ係長・介護係長・相談係長
会議レジュメ
1. 関係通知確認 2. 感染症(疑)発生状況確認 3. その他検討事項 4. 施設長から
今年度を振り返って
令和6年度も新型コロナ感染の蔓延があり、介護・看護による施設内療養を行い、高齢・持病による悪化リスクなど考えられる中、入院は3名に留まりました。 しかし、後遺症による体調不良が長期に持続するご入居者様もみられ、新型コロナ感染の脅威を強く実感した年度でもあります。 介護・看護の連携強化の観点から、毎朝の対応打ち合わせ・毎日のミーティングでの情報共有などを行い、多職種連携に努め、タイムリーな対応見直しを行いました。 7年度も感染症対策委員会を中心に情報共有を図り、感染症蔓延防止に努めて参ります。

令和6年度《吸引等安全対策委員会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【感染症対策委員会】 内容の概要
吸引等安全対策委員会	6月	21日	・令和6年度東京都介護職員等によりたんの吸引等の実施のための研修(不特定多数の者対象)SD確認。 ・事故報告の確認 ・医行為に関する書面整理状況
	9月	20日	・令和6年度東京都介護職員等によりたんの吸引等の実施のための研修(不特定多数の者対象)SD確認。 ・事故報告の確認 ・医行為に関する書面整理状況
	12月	20日	・令和6年度東京都介護職員等によりたんの吸引等の実施のための研修(不特定多数の者対象)SD確認。 ・事故報告の確認 ・医行為に関する書面整理状況
	3月	21日	・令和7年度東京都介護職員等によりたんの吸引等の実施のための研修(不特定多数の者対象)SD確認。 ・事故報告の確認 ・医行為に関する書面整理状況

参加者
施設長・特養課長 看護係長・介護係長・相談係長
会議レジュメ
1. 関係通知確認 2. 吸引等に関する安全対策課題等 3. その他検討事項 4. 施設長から

今年度を振り返って
令和6年度は実地研修のみの受講を実施し2名の介護職員に研修を受講させることが出来ました。また常勤の看護職員の増員を受けて、新たに2名の正看護師に指導看護師の研修を受講。次年度より指導看護師4名体制で実地研修を行う事ができる体制を整える事が出来ました。次年度は実地研修だけでなく講義＋実地研修の受講者も増やし、入居者様の健康を守る為、吸引が実施できる職員を増やしていく予定です。

Ⅸ 活動計画

令和6年度《【本館】年間行事・レクリエーション》

開催月	場 所	内 容
4月	稲荷坂公園	お花見 近くの公園で桜を楽しみました。
5月	各階食堂	端午の節句 男性利用者中心に、玄関の鯉のぼりを鑑賞、外気浴も楽しめました。
	本館4階	カーネーション作り 母の日にちなんで、カーネーション作りをしました。
6月	玄関	紫陽花鑑賞 正面玄関に咲いてる紫陽花に水をやり、鑑賞しました。
	ダイルーム	ナイトイベント ライトアップにて幻想的な空間を作り、プラネタリウム、映画鑑賞を行いました。
	本館4階	てるてる坊主作り 色とりどりのてるてる坊主を作り、みんなで飾りました。
7月	本館2階	白くまカフェ アイスにフルーツなどカラフルにトッピングして楽しめました。
	本館全階	七夕イベント 笹飾りをして、願いごとをしました。
8月	各階食堂	すいか割り 各階で、すいか割りをして、みんなでいただきました。
	本館3階	かき氷作り 皆でかき氷を作り、涼を感じました。
9月	玄関	夕涼み会 甘味を味わいお月見をしました。
	3F吹抜け	好日苑まつり 職員出し物、雪谷太鼓、手品ショーなどを楽しみました。
	ダイルーム	敬老式典 喜寿・米寿・白寿・百寿・長寿の方に代表してお祝いをいたしました。
10月	ダイルーム	秋の大運動会 玉入れ、ボーリング、応援合戦など行い、盛り上がりました。
11月	本館3階	アイスイベント バニラアイスにカラースプレートトッピングして楽しめました。
12月	本館全階	クリスマス会 飾り付けで雰囲気作り、おやつを作ったり、チキンを食べたり、各階工夫して行いました。
1月	各階食堂 3階吹き抜け	新年会 お節をつまみ、御神籤を引いたりしてお正月気分を味わいました。
	4階食堂	書初め 新たな気持ちで書初めを行いました。
2月	本館2階	節分 職員が鬼となり、豆まきを行いました。
3月	本館4階	雛祭り 小さな雛段を飾り、雛あられを楽しみました。

毎月、第2日曜日を誕生日会の日と設定し、おやつにはショートケーキがです。
誕生日の方のご希望に添えるようなお祝いを担当職員が企画して、お誕生日お祝いをしております。

令和6年度《【新館】年間行事・レクリエーション》

開催月	場 所	内 容
4月	ベランダ	「お花見」 稲荷坂公園やベランダに出て桜見学。それぞれ桜を味わいました。 桜色のデザートも楽しんでいただきました。
5月	玄関	「端午の節句」 玄関の鯉のぼりとともに、記念写真をとりました。
	リビング	「母の日」 日頃の感謝を込めて、「カーネーション」と「いちごのショートケーキ」を楽しみました。
6月	リビング	「父の日」 日頃の感謝を込めて、「お寿司」と「素敵なミュージック」を楽しみました。
	玄関	「あじさい見学」 今年も玄関前のあじさいがきれいに咲きました。
7月	各フロアー	「七タイベント」 短冊に願いを込めました。
	職員食堂	「CLUB好日苑」 ホスト風喫茶で、癒しのひと時を過ごしていただきました。
8月	ベランダ	「足湯(冷や)」 夏の暑さを楽しみました。かき氷屋さんも出ました。
	ユニット	「夏野菜」 真っ赤な冷やしトマトで夏バテ予防。 「野球観戦」 高校野球を枝豆を食べながら応援。
9月	好日苑祭り	「好日苑祭り」 地域のお神輿も参戦。屋台も帰ってきました。
	玄関	「花火」 夏の終わりを華やかに。
	敬老会	「本・新館合同敬老会」 日々の感謝を伝える場にさせていただきました。
10月	各フロアー	「流しそうめん」 割った竹(プラスチック)を通った、そうめんをキャッチ。ちょっとしか取れなくても、味は格別。
	リビング	「秋の味覚」 焼き芋大好き。柿も大好き。
11月	ベランダ	「外気浴」 気候も良い中で、ベランダに出て外気浴を行いました。

12月	各フロア	「クリスマス会」 ご家族からのプレゼントをお渡しし、皆でケーキを食べました。 あったか〜いおでんで1年の締めくくりをみなさんで楽しみました。
	職員食堂	「年末こたつで紅白歌合戦」 年末と言えば紅白歌合戦。職員が全力で唄いました。
1月	各フロア	「新年会」 職員からの年賀状が届きました。みなさんのもとに獅子舞がやってきました。
2月	各階フロア	「節分」 鬼めがけ、おもいきり豆を投げました。
	リビング	「バレンタインデー」 チョコレート味の綿あめ。ちょっと変な感じ。
3月	ベランダ	「お花見」 桜の開花が遅く、各階でベランダに出て桜の蕾を見ました。

毎月、第2日曜日を誕生日会の日と設定し、おやつにはお誕生日ケーキがです。
誕生月の方のご希望に添えるようなお祝いを担当職員が企画して、お誕生日お祝いしております。
特に節目の白寿、百寿などには、ユニットみなさんでおめでとうを伝えています。

令和6年度《本館クラブ活動実績》

今年度を振り返って
R6年度は「彩活動クラブ」も4年目となり、継続して日常生活に彩を与えられることを目的として、季節を感じたり、自然を感じられる余暇活動を行うよう努めました。また内容に応じて、本館全体で取り組んだり、各階にて取り組んだりしてきました。（季節レク、おしゃれイベント、運動会、個展など）活動を通してやりがいを感じ、自立支援への意欲向上へ繋げることができました。次年度も、利用者様の生活に彩をあたえられるよう工夫をし、また取り組み内容をご家族様や外部へ伝えることにも力を注いでまいります。

令和6年度《新館クラブ活動実績》

今年度を振り返って
朝はラジオ体操から始まって、カラオケや書道を楽しまれる方。パズルに集中する方など、仲間をお誘いされる方、1人で楽しめる方。それぞれの特別な時間を過ごすことができるよう、職員はサポーターで参加しました。

令和6年度《【本館】理髪実績》

実施日		場 所
4月	7日	3階吹き抜け
	11日	2．4階団らんコーナー
5月	5日	3階吹き抜け
	16日	2．4階団らんコーナー
6月	2日	3階吹き抜け
	13日	2．4階団らんコーナー
7月	7日	3階吹き抜け
	11日	2．4階団らんコーナー
8月	4日	2．4階団らんコーナー
	8日	2．4階団らんコーナー
9月	1日	3階吹き抜け
	12日	2．4階団らんコーナー
10月	6日	3階吹き抜け
	10日	2．4階団らんコーナー
11月	3日	3階吹き抜け
	14日	2．4階団らんコーナー
12月	1日	3階吹き抜け
	12日	2．4階団らんコーナー
1月	5日	3階吹き抜け
	9日	2．4階団らんコーナー
2月	2日	3階吹き抜け
	13日	2．4階団らんコーナー
3月	1日	3階吹き抜け
	12日	2．4階団らんコーナー

令和6年度《【新館】理髪実績》

実施日	場 所
4月23日	各階セミパブリックスペース
5月28日	各階セミパブリックスペース
6月25日	各階セミパブリックスペース
7月23日	各階セミパブリックスペース
8月20日	各階セミパブリックスペース
9月24日	各階セミパブリックスペース
10月22日	各階セミパブリックスペース
11月26日	各階セミパブリックスペース
12月24日	各階セミパブリックスペース
1月28日	各階セミパブリックスペース
2月25日	各階セミパブリックスペース
3月25日	各階セミパブリックスペース

令和6年度 家族会開催報告

令和6年度も5月に新館、11月に本館にて家族会を開催させて頂きました。感染対策を講じながらの開催となりましたので、1家族2名のみでの参加と制限のある開催となりましたが、新館では10名のご家族様が参加。本館でも11名のご家族様が参加して下さいました。施設での取り組みを知って頂く機会として、スライドショー形式で日々の活動報告、次世代介護機器の体験会等を行い、好日苑の取り組みをご理解いただく良い機会となりました。



令和6年度 自衛消防訓練審査会・警会 大規模防災訓練

9月6日（金）に特養事務と本新館介護職員の合同チームにて自衛消防訓練審査会に参加しました。優勝は残念ながら逃してしまいましたが、日々の訓練の大切さを学べる良い機会となりました。



令和6年10月6日（日）に巨大地震発生後から、どう施設運営を行いご入居者様の生活を維持するのか、大規模防災訓練を実施しました。今年で4回目となる今回の訓練では、事務所が不在となる休日を想定した訓練とし、より現実に近い想定での訓練となりました。



3月7日（金）に夜間の震災時の対応等を想定した災害想定ゲーム「KIZUKI」を購入し、訓練を実施しました。夜間帯という職員が限られた状況下では如何に冷静に、対応する職員間で協力をするかが大きなポイントとなります。ゲームではありますが、非常に緊張感があり大きな気づきを得る研修でした。



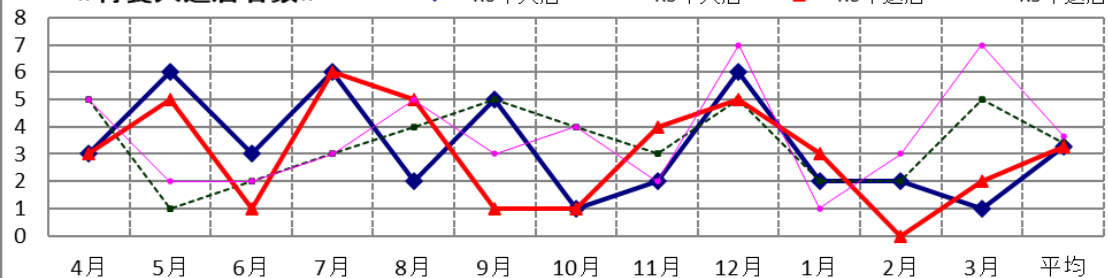
◆ 令和6年度 特養入退居者状況

	本館			新館			合計			入居前					退居後			
	入居	退居	在籍	入居	退居	在籍	入居	退居	在籍	自宅	老健	病院療養	有料H 宿泊タイプ	GH 経費 小多機	病院 逝去	苑内 逝去	看取 介護	病院 療養
年度当初	—	—	85	—	—	49	—	—	134									
4月	2	3	84	1	0	50	3	3	134	1			1	1	1	2		
5月	6	3	87	0	2	48	6	5	135	4		1	1			2	3	
6月	1	0	88	2	1	49	3	1	137		2		1				1	
7月	5	6	87	1	0	50	6	6	137	2	1	1	1	1	1		5	
8月	2	2	87	0	3	47	2	5	134	1		1			2		3	
9月	2	1	88	3	0	50	5	1	138	1			2	2		1		
10月	0	0	88	1	1	50	1	1	138	1								1
11月	2	3	87	0	1	49	2	4	136	1			1				4	
12月	3	2	88	3	3	49	6	5	137	3	2						4	
1月	0	2	86	2	1	50	2	3	136			1	1		1	1		1
2月	2	0	88	0	0	50	2	0	138	2								
3月	1	1	88	0	1	49	1	2	137			1				1		1
合計	26	23		13	13		39	36		16	5	5	8	4	5	7	20	3

R6年度	
入居	39
退居	36
±	3

R5年度	
入居	41
退居	44
±	-3

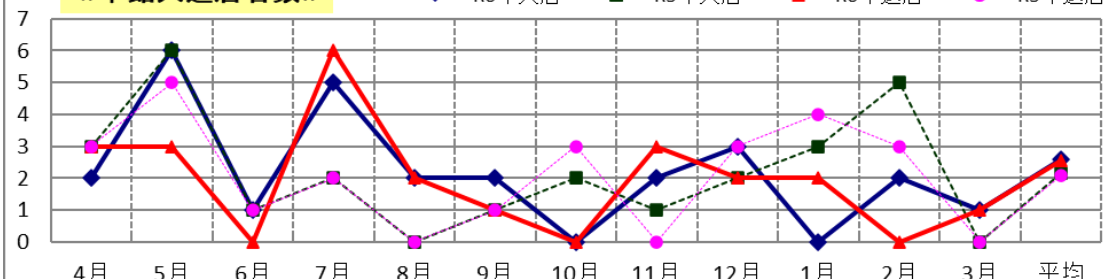
《特養入退居者数》



R6年度	
入居	26
退居	23
±	3

R5年度	
入居	26
退居	25
±	1

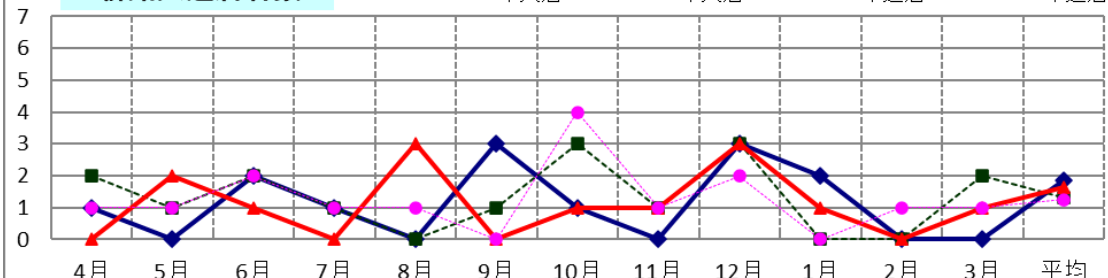
《本館入退居者数》



R6年度	
入居	13
退居	13
±	0

R5年度	
入居	16
退居	15
±	1

《新館入退居者数》



◆ 特別養護老人ホーム好日苑 利用状況

令和7年3月31日 現在

【年齢】

	本館	新館	合計
最高齢	101	102	
100以上	3	3	6
90以上	31	18	49
85以上	24	10	34
80以上	18	12	30
75以上	6	4	10
70以上	4	1	5
65以上	1	1	2
64以下	1	0	1
最年少	58	67	137
平均	87.2	87.8	87.4

百寿(100)	1	1	2
白寿(99)	1	0	1
米寿(88)	10	3	13
喜寿(77)	1	1	2
古希(70)	0	0	0

【性別】

	本館	新館	合計	%
男性	12	7	19	14%
女性	76	42	118	86%
合計	88	49	137	

【階層】

	本館	新館	合計	%
1	9	0	9	7%
2	10	4	14	10%
3①	12	6	18	13%
3②	15	10	25	18%
4	42	29	71	52%
合計	88	49	137	

補足給付率 52.3% 40.8% 48.2%

【負担割合】

	本館	新館	合計	%
0%	8	0	8	6%
10%	76	45	121	88%
20%	1	4	5	4%
30%	3	0	3	2%
合計	88	49	137	100.0%

【認知症高齢者自立度】

	本館	新館	合計	Ⅲ	Ⅱ
無	2	2	4	1/3	1/2
I	5	4	9		
Ⅱa	8	7	15		
Ⅱb	14	14	28		
Ⅲa	18	11	29		
Ⅲb	18	4	22	81	124
Ⅳ	16	2	18		
M	7	5	12		
合計	88	49	137	59%	91%

【要介護度】

	本館	新館	合計
要支援	0	0	0
介護度 1	5	3	8
介護度 2	8	1	9
介護度 3	22	15	37
介護度 4	29	18	47
介護度 5	24	12	36
合計	88	49	137
平均	3.67	3.71	3.69
要介護4.5率	60.2%	61.2%	60.6%

【在籍期間】

	本館	新館	合計
1ヶ月未満	1	0	1
1年未満	23	10	33
2年未満	17	9	26
3年未満	16	8	24
4年未満	7	5	12
5年未満	5	6	11
6年未満	12	3	15
7年未満	2	1	3
8年未満	1	5	6
9年未満	0	1	1
10年未満	2	0	2
11年未満	0	1	1
12年未満	0	0	0
13年未満	0	0	0
14年未満	1	0	1
15年未満	0	0	0
16年未満	0	0	0
17年未満	0	0	0
18年未満	0	0	0
19年未満	0	0	0
20年未満	0	0	0
21年未満	1	0	1
22年未満	0	0	0
23年未満	0	0	0
24年未満	0	0	0
25年未満	0	0	0
26年未満	0	0	0
合計	88	49	137
平均	3.0年	3.2年	3.1年
	36ヵ月	39ヵ月	37ヵ月

◆ 令和6年度 東京都福祉サービス第三者評価結果

令和6年度 東京都第三者評価事業【好日苑】評価結果「概要版」

《評価機関》

一般社団法人

特養ホームマネジメント研究所

特養 好日苑

「とうきょう福祉ナビゲーション」

<http://www.fukunavi.or.jp>

	アンケート	聞き取り
調査対象者数		20
有効回答者数		20
総数に対する回答者割合		100%

《利用者調査結果》

共通評価項目	実数				
	「はい」%	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 施設における食事の献立や食事介助など食事に満足しているか	95%	19	1	0	0
2. 日常生活に必要な介助を受けているか	85%	17	2	1	0
3. 施設の生活はくつろげるか	95%	19	1	0	0
4. 職員は日常的に、健康状態を気にかけているか	90%	18	2	0	0
5. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	100%	20	0	0	0
6. 職員の接遇・態度は適切か	90%	18	1	1	0
7. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	95%	19	1	0	0
8. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	95%	19	1	0	0
9. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	100%	20	0	0	0
10. 利用者のプライバシーは守られているか	95%	19	1	0	0
11. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	5%	1	10	3	6
12. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	40%	8	5	1	6
13. 利用者の不満や要望は対応されているか	95%	19	0	1	0
14. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談が出来ることを伝えられているか	10%	2	1	4	13

《総合的な感想について》

(1) 施設はあなたにとって、良いところだと思いますか	大変満足	15.0%	90.0%
	満足	75.0%	
	どちらともいえない	5.0%	
	不満	5.0%	
	大変不満	0.0%	
	無回答	0.0%	
	計	100.0%	

《利用者調査全体の評価機関のコメント》

・事業所のサービスに対する総合的な満足度で、大変満足又は満足を合計した肯定的回答数は、20名中18名でした。その他、どちらともいえない1名、不満1名でした。

・事業所の良い点として「皆良い人ばかり」「丁寧にやってくれるから安心して生活できる」「優しい、丁寧、申し分ない」「自由に過ごす事ができて良い」等がありました。

・事業所への要望として、レクリエーション、リハビリ、外出の機会等がありました。

《評価機関》

一般社団法人

特養ホームマネジメント研究所

「とうきょう福祉ナビゲーション」

http://www.fukunavi.or.jp

	アンケート	聞き取り
調査対象者数	137	
有効回答者数	40	
総数に対する回答者割合	29%	

《ご家族調査結果》

共通評価項目	実数				
	「はい」%	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 施設における食事の献立や食事介助など食事に満足しているか	70%	28	7	2	3
2. 日常生活に必要な介助を受けているか	83%	33	7	0	0
3. 施設の生活はくつろげるか	45%	18	13	7	2
4. 職員は日常的に、健康状態を気にかけているか	75%	30	6	2	2
5. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	85%	34	6	0	0
6. 職員の接遇・態度は適切か	93%	37	2	0	1
7. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	85%	34	4	1	1
8. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	50%	20	14	2	4
9. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	70%	28	11	0	1
10. 利用者のプライバシーは守られているか	73%	29	8	1	2
11. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	75%	30	8	0	2
12. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	78%	31	7	1	1
13. 利用者の不満や要望は対応されているか	65%	26	10	2	2
14. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談が出来ることを伝えられているか	55%	22	12	3	3

《総合的な感想について》

(1) 施設はあなたにとって、良いところだと思いますか	大変満足	25.0%	83.0%
	満足	58.0%	
	どちらともいえない	15.0%	
	不満	0.0%	
	大変不満	0.0%	
	無回答	2.0%	
	計	100.0%	

《利用者調査全体の評価機関のコメント》

・総合的な事業所に対する評価は「大変満足」「満足」と回答した方は83%でした。
 ・個々の設問については、14設問中4設問で「はい」と回答した方が80%以上と満足度が示されています。
 ・日頃感じている施設に対する意見・要望などの自由回答では、「良いと思う所はいっぱいです。面会に来ると嬉しそうにしている本人の顔を見るといつも安心します。職員の方、ケアマネージャーさん、お部屋の方々、皆様優しいです。お部屋の中も明るく本人は歌を歌っています。認知は進んでいますが、元気です。本人がこちらに入居できて本当に感謝してます。」などの声が寄せられています。

事業者が特に力を入れている取り組み①

評価項目	6-4-6	移動の支援は、利用者の状態や意思を反映して行っている
タイトル①	次世代介護機器の活用したケアの質の向上に力を入れています	
内容①	今年度、新たに入浴時にも使用できる移乗サポートロボットを導入しました。これらの移乗サポートロボットは、理学療法士と介護主任が中心となり、PDCAサイクルに沿って適切に運用・管理されています。現在では、移乗介助に欠かせない存在となっており、職員の負担軽減と利用者の安全性向上に寄与しています。また、運用・活用の好事例として行政や大手企業の視察もあり、介護ロボットのマネジメントの好事例と言えます。さらに、今年度は車椅子レンタルバックを導入し、利用者一人ひとりがさらに安全かつ快適に生活できるよう取り組んでいます。	

事業者が特に力を入れている取り組み②

評価項目	4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる
タイトル②	5Sに基づく環境整備・美化に力を入れています	
	例えば、昨年度からの内外装の改修には、家族からも「明るい色合い等、素敵で感動しました」等の好評があがっています。また、ベッド周りのプライバシーの強化・医務室内の服薬管理設備の改善等も大きな効果を上げていると思われます。実際に、第三者としても、従来型浴室等を見学した際、開設25年を経ているにも関わらず、その清潔・整頓されている様子には驚きを感じました。さらに、施設内に排泄臭等が無い事も特筆しておきたい点です。5Sに基づく環境整備・美化は、特に力を入れた取り組みとして、高く評価できます。	

事業者が特に力を入れている取り組み③

評価項目	6-4-8	利用者の健康を維持するための支援を行っている
タイトル②	医療との連携強化を維持し、「先手のケア」の推進に力を入れています	
	利用者の元気のなさや違和感を拾い上げ、早期に医師への報告を行っています。医師の指示のもと、週2回ある往診までに可能な対応を行い、往診で経過確認・受診の指示を受ける等、施設で行える積極的な対応に努めています。その実践が疾患や感染症の重篤化を減少させ、入院せずに施設内で対応できるケースを増やしています。利用者の変化を敏感に捉え、医療に繋げるプロセスが定着しており、施設生活の中で利用者の健康と生活が継続できる事に力を入れて取り組んでいます。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	独自のコンテスト等により、「認知症ケア」の質の向上に努めています
	内容	例えば、認知症の支援課題に対してフロア毎に年間で取り組むテーマを決め、その方に合った声かけや対応方法等、利用者が落ち着いて生活できるよう普段の生活支援業務の中で日々研鑽しています。また、その取り組みをまとめ、施設内の研究大会「N1グランプリ」で発表し、施設全体で共有し、取り組みの効果を広げています。認知症ケアの支援力向上を施設全体で推進し、職員の創造性を引き出し、その取り組みが利用者のQOL向上にも繋がっており、特に良い点として高く評価できます。
2	タイトル	「排泄マスター」の育成プログラムにより、「排泄支援」の質の向上に努めています
	内容	「排泄からケアが変わる」というスローガンや独自の「先手のケア・スマート化」といった視点に基づき、職員が日常業務の中でコンチネンスに注意を向け、排泄介助の質の向上に努めています。例えば、排泄用品の見直しに力を入れ、清潔の保持の持続向上・不快感の緩和・大幅なコスト削減等の効果があがっています。また、新任職員には、独自の排泄支援の基準である「排泄マスター」の認定を受けられるよう、徹底・集中して指導しています。排泄ケアの質を高水準に維持する事で、利用者のQOL向上にも繋がっており、特に良い点として高く評価できます。
3	タイトル	車椅子上での良い姿勢を維持してもらう等、日常生活動作の維持・向上に努めています
	内容	理学療法士が身体機能評価を行い、適切な車椅子や移動補助具、福祉用具を選定しています。また、基本の介助技術とボディメカニクスを関連付ける事で、利用者の心身機能や活動性の向上・安全性の向上に努めています。例えば、座位や臥位の保持等、生活に関わる一連の動作の自立度向上に好影響を与えています。実際に訪問調査時の施設内見学の際には、車椅子を利用している利用者の姿勢が適切に保たれている方を多々確認できました。車椅子上での生活であっても、できる限り自立した生活ができるような取り組みは、特に良い点として高く評価できます。

さらなる改善が望まれる点	
タイトル	部署・チーム毎の年度計画の深掘りに期待します
内容	多機能な事業計画は好日苑の組織文化の源泉となる取り組みの1つと思われます。この組織文化をさらに強化すべく、現在は、中間管理職層のマネジメント能力の強化も狙いとして、部署・チーム毎の年度計画の深掘りが予定されています。第三者としても、好日苑の良き伝統・良き組織文化のさらなるバージョンアップの一環として、大きな期待を寄せています。
タイトル	信頼性の高い職員の資質を活かしながら、利用者本人が積極的に関われるケアの実現に向けた体制と仕組みづくりが一層進む事を期待します
内容	利用者・家族調査では、職員の資質や迅速な対応が高く評価されるコメントが多く寄せられています。一方で、「カンファレンスに利用者本人を同席させてほしい」という要望もあがっています。これは、法人理念である、「ご利用される方の個人の尊厳を守り、ご自身らしくある生活を過ごして頂けるきめ細かいサービスを提供します」を実現するうえで、非常に重要な視点と言えます。今後、信頼性の高い職員の資質を活かしながら、利用者本人が積極的に関われるケアの実現に向けた体制と仕組みづくりが一層進む事を期待します。
タイトル	更衣支援に対する意義を再確認する機会を設ける等、統一的な支援の強化に期待します
内容	職員自己評価の結果からは、職員間で更衣支援についてのコンセンサスが得られておらず、職員によって支援にムラが生じている事がうかがえます。これらを踏まえ、今後は、更衣支援に関して、利用者の生活リハビリ的な側面を前提に、表情や動き、痣・怪我等の観察機会である事や、時系列的なリスク管理にも役立つ等、その意義について改めて確認する機会を設ける事等に期待します。また、利用者や家族の更衣支援に対する意向、必要性、リスク回避、支援時間や回数等、対応の個別性についても職員間で改めて再確認する等にも期待します。

《評価機関》

一般社団法人

特養ホームマネジメント研究所

好日苑ショートステイ

「とうきょう福祉ナビゲーション」

<http://www.fukunavi.or.jp>

	聞き取り	アンケート
調査対象者数		80
有効回答者数		28
総数に対する回答者割合		35%

《ご家族調査結果》

共通評価項目	実数				
	「はい」%	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 利用時の過ごし方は、個人のペースに合っているか	75%	21	6	0	1
2. 食事の献立や食事介助は満足か	89%	25	3	0	0
3. 日常生活に楽しみな行事や活動があるか	32%	9	16	1	2
4. 利用中の活動・リハビリは、家での生活に役立つものか	54%	15	12	1	0
5. 利用中には、必要に応じた介助を受けているか	89%	25	3	0	0
6. 個人の身体状況や要望は把握されているか	82%	23	5	0	0
7. 事業所内の清掃、整理整頓は行く届いているか	96%	27	1	0	0
8. 職員の接遇・態度は適切か	86%	24	4	0	0
9. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	86%	24	2	0	2
10. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	57%	16	8	0	4
11. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	89%	25	3	0	0
12. 利用者のプライバシーは守られているか	89%	25	3	0	0
13. サービス内容に関する職員の説明はわかりやすいか	79%	22	6	0	0
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	82%	23	5	0	0
15. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	43%	12	13	0	3

《総合的な感想について》

(1) 施設はあなたにとって、良いところだと思いますか	大変満足	7	25.0%	96.4%
	満足	20	71.4%	
	どちらともいえない	1	3.6%	
	不満	0	0.0%	
	大変不満	0	0.0%	
	無回答	0	0.0%	
	計	28	100.0%	

《利用者調査全体の評価機関のコメント》

・事業所のサービスに対する総合的な満足度で、大変満足又は満足を合計した肯定的回答数は、28名中27名でした。その他、どちらともいえない1名でした。 ・事業所の良い点として「スタッフの方々の表情、振る舞いがどの方も良く、生活がしやすい」「利用者のペースに合わせて接してくれている」「要望に対して迅速かつ丁寧に対応いただいた」「利用中の様子を書面で報告してくれる」等がありました。 ・事業所への要望として、送迎時間等がありました。
--

事業者が特に力を入れている取り組み①

評価項目	1-1-2	経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている
タイトル①	断らないショートステイの体現に力を入れています	
内容①	医療ニーズや認知症周辺症状のある利用者等、極力ショートステイの受け入れを断らず積極的に受け入れていく方針を標榜しています。その体現の為の取り組みとして、例えば、係長をコアとした組織縦断的・横断的なベッドコントロールの徹底、看護部門の係長の任命や服薬管理等の間接業務の効率化等に取り組んでおり、ショートステイ部門は今年度も100%の稼働率を維持し、新規利用者の増加等の成果も上がっています。法人の経営システムである「響会方程式」に基づき、特に力を入れた取り組みとして、高く評価できます。	

事業者が特に力を入れている取り組み②

評価項目	4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる
タイトル②	5Sに基づく環境整備・美化に力を入れています	
内容②	例えば、昨年度からの内外装の改修には、家族からも「明るい色合い等、素敵で感動しました」等の好評があがっています。また、ベッド周りのプライバシーの強化・医務室内の服薬管理設備の改善等も大きな効果を上げていると思われます。実際に第三者としても、従来型浴室等を見学した際、開設25年を経ているにも関わらず、その清潔・整頓されている様子には驚きを感じました。さらに、施設内に排泄臭等が無い事も特筆しておきたい点です。5Sに基づく環境整備・美化は、特に力を入れた取り組みとして、高く評価できます。	

事業者が特に力を入れている取り組み③

評価項目	6-4-4	排泄の支援は、利用者の状態や意思を反映して行っている
タイトル③	ショートステイ利用中においても在宅生活と変わらない排泄介助に力を入れています	
内容③	「排泄からケアが変わる」という認識の基、独自の「先手のケア」といった視点や「排泄マスター」といった標準化を取り入れて排泄介助の質の向上に努めています。ショートステイ利用者であっても、例えば、自宅で特定の曜日に排便を促す習慣がある利用者に対しては、利用中もそのタイミングを維持できるように、看護師等と連携しながら支援しています。また、家族や居宅ケアマネに対し、トイレ時の動作や夜間帯のトイレ時間等、利用中の様子を細かく伝えています。特に力を入れた取り組みとして、高く評価できます。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	自宅での生活を継続できるような支援に努めています
	内容	例えば、朝食がパンの方に対して、パンに合ったおかずやスープを提供したり、朝に必ずミルクティーを飲まれる方には、持参したものを施設で用意したものを提供する等、利用者の嗜好や習慣に柔軟に対応しています。その他、起床や就寝時の更衣についても、自宅での習慣を尊重し、必要に応じて支援しています。利用者が自宅と変わらない生活を継続する事ができるよう支援しており、好感が持てます。特に良い点として、高く評価できます。
2	タイトル	家族や居宅ケアマネとの連携により、質の高いケアを提供できるように努めています
	内容	家族や居宅ケアマネと連携し、利用者が安心して生活できるように支援しています。利用者の利用中の様子は、例えば、食事の際にとろみ剤を使用した時の様子やトイレ時の動作等、家族や居宅ケアマネに細かく伝えています。また、利用者により適した支援方法や福祉用具等があった場合は、送迎時やサービス担当者会議等で提案しています。利用者調査では、「自宅では気付かなかった事も教えてくださり、とても役立っています」等の好評が寄せられています。特に良い点として、高く評価できます。
3	タイトル	サービス計画書(短期入所生活介護計画書)を毎回の利用に合わせて策定しています
	内容	通常、サービス計画書は4日以上連続した利用に際し策定しますが、事業所では利用日数に関わらず、毎回の利用に合わせて計画書を策定しています。例えば、サービス計画書の策定は生活相談員が担当し、サービス計画書に基づきADL表の作成を介護職員が担当しています。サービス計画書は利用開始日に利用者・家族へ説明し同意を得ています。また、利用終了後には、必ず支援内容の振り返りを行い、次のサービスの計画書に反映しており、PDCAサイクルを適切に実施している事は、特に良い点として高く評価できます。

さらなる改善が望まれる点

タイトル	荷物チェック等、間接業務の簡略化等に期待します
内容	職員自己評価からは「断らないショートステイ」の体現の為に、職員一同精励している事が分かります。一方で、職員からは荷物チェック等の間接業務についての改善提案もあがっています。これを踏まえ、本来のサービスの提供に集中する為に、例えば、ICTシステムを用いたチェック機能の強化、写真等による情報共有の強化等、間接業務である事を踏まえた簡略化・効率化の検討に期待します。
タイトル	利用時の様子を記載した「ショートステイ退所報告書」のさらなる充実期待します
内容	事業所では利用時の様子を報告する為、退所報告書を作成しています。例えば、最終排便、入浴、食事摂取状況等、利用中の様子を記載した報告書を作成し、利用終了時に家族へ渡しています。また、報告書と共に口頭でも利用時の様子を伝えています。一方で、利用者調査の自由記述では、「ショートステイから帰る時の書類にもう少し何か言葉を書き入れてほしいと思った」等の意見も一部であげられています。今後は、例えば、口頭で伝えている利用時の様子等を退所報告書へ記載する等、家族とのさらなる情報共有に向けた議論を深めて欲しいと思います。
タイトル	利用者の意向を尊重した活動のさらなる充実期待します
内容	現在、利用者の意向を反映させたイベントを実施しています。例えば、秋は特に美味しいものが多いとの会話から、柿を目の前で剥いて食べたり、さつまいもを焼いて食べたりする等、日々の活動に取り入れています。しかし、利用者調査では、行事や活動の充実を要望する声も寄せられており、今後の活動等の拡充が望まれます。管理職も課題として捉えており、活動の幅を広げていきたいと考えています。今後の取り組みに期待します。

I 好日苑デイサービスセンター

令和6年度は、利用者様の生活に変化が多い一年でした。利用者様の認知面や体調面の変化もあり、施設入居へ向けて動いている方が多く、また下半期に入ると、ご自宅で転倒され骨折される方が増え、入院者も増加しました。一度変化が見られると在宅生活が難しくなり、特養・有料・老健等の施設入居のご希望が多く聞かれた一年でした。また、感染症対応について、新型コロナウイルス等の感染症の捉え方も変わり、日常の生活が戻ってきました。しかし、重症化リスクが高い高齢者の方々を迎え入れるデイサービスは変わりなく、引き続き安心して通所して頂けるよう、利用者様・ご家族様のご理解・ご協力の上、マスク着用・検温、手指消毒といった感染症対応を継続してまいりました。

これからも、住み慣れた地域で自立した生活と安心と暖かさを感じて取れる生活をし続けて頂く為に好日苑デイサービスでいられるよう努力して参ります。

1. 『第6次中期経営計画を踏まえた令和6年度事業計画の重点施策』

(6) 好日苑デイサービス 第6次中期経営計画を踏まえた令和6年度事業計画の重点施策	
利用者	① ショートステイ送迎範囲に連動したエリア拡大（※田園調布・山王エリア） ② 機能訓練加算算定維持、口腔機能向上加算新規算定 ③ 介護支援ソフト（ほのぼの）の有効活用（電子記録の共有・生産性向上）
職員	① 多機能型職員増員と短時間介護職員配置 ② ユマニチュード基本技術・研修受講 ③ 認知症ケア関連加算維持・新規算定
経営	① 居宅連携率 年／70% 稼働率 90.0%（SS連携含む）、週間登録率 100%（週 228 名）

【令和6年度の重点施策に対する評価】

「利用者」

- ① 送迎エリアについては、既存送迎エリアに隣接する地区堺（山王・中央）の営業活動を行い、新規相談を踏まえ送迎ルート開拓。
- ② 個別機能訓練加算算定継続（※常時10から15名前後の登録者確保）

「職員」

- ① デイ・ヘルプ兼務職員（多機能型職員）を毎週「週2日」兼務継続と共に、新たに1名兼務職員を増員。
- ② 短時間介護職員は募集継続しつつ「働きたい時間」と「働いて欲しい時間」をマッチングするスキマバイト募集サービス活用（タイミー）
- ③ 認知症介護実践者研修1名受講修了（※認知症ケア関連加算算定に伴う必須配置要件）

「経営」

- ① 居宅連携率は年平均 78.1%と目標達成。年間平均稼働率は 83.5%・週間登録数（平均）213 名と目標達成に至りませんでした。

2. サービス提供

(1) 利用状況（※年間稼働率 90.0%・登録率 100%）

延べ利用数 9,065 人（※昨年度:8,515 人・昨年度比較:1.0%増）、欠席数 2,153 日（※昨年度:2,228 日昨年度比較:0.9%減）、新規 35 名（※昨年度:50 名）、欠席理由の都合が 494 日（※昨年度:455 日）、休止 45 日（※昨年度:25 日）、廃止は 42 名（※昨年度:33 名）でした。

その結果、平均稼働率 83.5%、登録率 93.3%となり、目標を大幅に下回る厳しい結果となりました。

登録実績	週間登録数 (210名/週定員)	利用者実績	稼働率(目標:90%)	
			R6	R5
4月	219名	792名	87.0%	76.8%
5月	216名	774名	81.9%	75.1%
6月	221名	773名	88.3%	76.0%
7月	224名	826名	87.4%	76.3%
8月	219名	813名	86.0%	73.0%
9月	217名	755名	86.3%	75.3%
10月	211名	815名	86.2%	77.6%
11月	212名	712名	78.2%	78.7%
12月	211名	733名	80.5%	80.2%
1月	203名	672名	80.0%	82.3%
2月	201名	669名	79.6%	84.6%
3月	199名	731名	80.3%	86.7%
平均	213名	755.4名	83.5%	78.5%

利用実績	利用実数			新規	廃止	休止	1日 平均利用
	介護	予防	計				
4月	92	5	97	4	2	0	30.5
5月	88	7	95	7	5	4	28.7
6月	91	6	97	5	3	4	30.9
7月	93	5	98	3	1	5	30.6
8月	91	6	97	1	6	1	30.1
9月	89	6	95	1	3	1	30.2
10月	85	6	91	1	2	4	30.2
11月	84	7	91	4	2	6	27.4
12月	83	7	90	3	3	7	28.2
1月	79	6	85	1	7	6	28.0
2月	80	5	85	1	1	5	27.9
3月	79	5	84	4	7	2	28.1
合計	—	—	—	35	42	45	—
平均	86.2	5.9	92.1	2.9	3.5	4.1	29.2

欠席状況	入院	ショートステイ	病欠	自己都合(自肅)	合計 (その他欠席含)
4月	32	71	23	61	187
5月	49	77	24	45	196
6月	37	72	15	23	147
7月	27	86	19	53	185
8月	37	97	14	52	200
9月	51	70	14	33	168
10月	38	73	24	39	174
11月	80	82	24	36	222
12月	60	73	25	44	202
1月	35	62	45	25	167
2月	42	47	23	37	149
3月	25	68	17	46	156
合計	513	878	267	494	2,153
平均	42.8	73.1	22.3	41.1	179.4

介護度別 利用実績	支援 1.2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計	平均
4 月	5	30	23	17	12	10	97	2.3
5 月	7	32	24	16	10	10	99	2.2
6 月	6	31	28	16	10	10	101	2.3
7 月	5	31	28	16	11	11	102	2.3
8 月	6	30	27	13	10	12	98	2.3
9 月	6	29	26	14	9	12	96	2.2
10 月	6	30	26	14	9	10	95	2.3
11 月	7	28	27	15	10	10	97	2.3
12 月	7	28	26	17	9	10	97	2.3
1 月	6	27	23	15	8	12	91	2.3
2 月	5	27	24	15	8	11	90	2.3
3 月	5	27	21	14	8	11	86	2.3
合計	71	350	303	182	114	129	1149	2.3
比率	5.9%	29.2%	25.3%	15.2%	9.5%	10.8%		

廃止内訳	要支援 1.2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
ご逝去	1	0	2	1	3	4	11
入 所	0	3	5	4	1	1	14
老 健	0	0	0	1	1	1	3
長期入院	1	0	2	2	1	0	6
その他	1	3	1	2	1	0	8
合 計	3	6	10	10	7	6	42

(2) 活動報告(アクティビティ等)

「個別と集団の融合活動」を主テーマに置き、その方がその人らしい1日を過ごして頂くことを念頭に集団レク・個別レクを中心にご自身で1日のスケジュールを決めていく「活動選択制」を重視し、運動等だけでなく体調・体力面を配慮して「のんびり」と称し、他の利用者や職員とのコミュニケーションを目的とした活動も行いました。

① アクティビティ

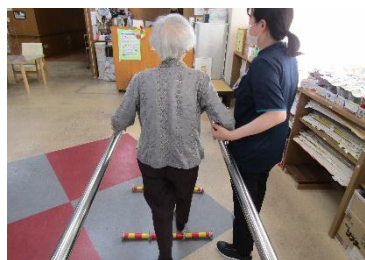
運動と認知課題(計算、しりとりなど)を組み合わせた、認知症予防を目的とした取り組み(※コグニサイズ)や脳活性化トレーニング(※前頭葉への刺激を意識した取り組み)を定着化させました。ご自宅でも行えるプログラムを念頭においた活動に取り組み、『口腔機能維持体操』については楽しみのひとつであるお食事を安全に召し上がって頂く事の背景に加齢に伴う嚥下・咀嚼力の機能低下が招く誤嚥・誤飲を予防する視点で年間を通じて取り組みました。

② 機能訓練

常勤看護師2名を機能訓練指導員兼務として配置し機能訓練実施。通所されるご利用者様のご希望を確認し、ご利用者様の機能維持、更なる運動機会確保とし機能訓練プログラムソフト「ACE」を活用し、その方に合った訓練を提供して参りました。

利用実績	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
人数	14	14	14	13	13	12	10	10	10	10	10	9

《 機能訓練の様子 》



《機能訓練で使用する手作り器具 》



③ 活動プログラム

レクリエーションリーダーを担当する職員が自ら調べてきた内容やインターネット上での情報(※その日を代表する出来事を伝えるなど)を生かし、個々の特色を加えてレクリエーションプログラムを実施し、心身機能の活性化を図り、健康維持増進を目的にレクリエーションプログラムを提供しました。また、積極的にボランティアの方々の受け入れを行い、音楽やゲームを行いながら体を動かす等、ボランティアの内容も幅を広げる事ができました。そして、利用者様のご意見の中で、「体を動かしたい」というお声を頂き、以前は職員が行っていた体操も動画を見ながらの体操へ変更し、体を動かす時間も増え皆さん前向きに取り組んで頂きました。今後も、ご利用者様のお声を聞きながらレクリエーションの内容を考え提供していきたいと思ひます。

④ 趣味・娯楽・制作活動

職員が中心となりアクティビティ活動を実施。また、iPadを活用し、新たな余暇提供や多様なプログラム作成を実施。年度末には、ボッチャスポーツを取り入れ、ボッチャウィークとして、皆様に身体を動かしながら楽しんで頂きました。

主な活動内容		活動内容
アクティビティ (脳・ 身体機能維持)	上肢	○【コグニサイズ】脳機能の改善・向上・維持・認知症予防 ○【関節可動域維持(肩・手首)ゲーム] ○ボッチャ・ポケネット・うしろへポイ・大空と大地・バランス玉入れ・魚釣り・巻いて巻いて・池上線でガタンゴトン・缶倒しなど日舞・輪踊り、音楽に合わせたリズム体操
	下肢	○【コグニサイズ】脳機能の改善・向上・維持・認知症予防！ ○【関節可動域維持(膝・足首・指先関節・バランス感覚)ゲーム] ○下駄飛ばし・とんでけスリッパ・歓缶ゲートボール・足で手繰って ○寄せて・ゴールを決める・ルームランナーなど 【生活動作維持・回復支援] ○送迎時の車両昇降動作・車椅子⇄椅子移乗など
	脳トレ	○漢字・計算ドリル、間違い探し、パズル、数字塗りつぶし、生活用品記憶力ゲーム、ワーキングメモリ(作業記憶)を鍛える多様な活脳レク
趣味生きがい活動	麻雀・将棋・オセロ・手芸・書道・編物・動画鑑賞(I Pad)	
その他	制作活動(大壁画作成・年中行事)	
年間行事	5月：端午の節句、7月：スイカ割り、8月：お祭りWEEK、10月：ハロウィン 12月：クリスマス会、1月：新年会、2月：節分、3月：ひな祭り	
不定期開催	お誕生日会：利用者様のお誕生日当日、または近いお日にちで開催。ボランティア：ボランティアプログラム(民謡・三味線(盆踊り等)、クラリネット音楽会等)	

(3) 年間プログラム

感染症予防対応を考慮した中で、これまで構築してきた活動、行事(プログラム)を実施。コロナ禍の状況下でも、デイサービスに参加していただく事で、楽しみや交流を絶やさないよう充実した日常生活を送って頂けるよう努めました。

4月	「書道」 皆さん、お手本を見ながら真剣に取り組まれました。	
5月	端午の節句 午後のレク活動の時間を端午の節句にちなんだレクと、折り紙で兜とこいのぼりを作成しました。	
7月	七夕 笹の飾りつけを行いました。色々な願い事を書いて飾られました。	
8月	好日苑まつり 好日苑まつりでスーパーボールすくいと輪投げのゲームを行いました。久々に地域の皆様にもご参加いただき、とても賑やかなお祭りとなりました。	
9月	敬老会 ご利用者様への日頃からの感謝の意を込め、お祝い品贈呈と集合写真撮影。今年度はお薬手帳を入れるケースでした。	
10月	ハロウィン 手作りしたお化けと一緒に記念撮影。とても良い笑顔が見られました。	

12月	クリスマス			
	クリスマスリースを制作し、職員による音楽会で盛り上がりました。			
1月	新年			
	お正月の色紙作成を行いました、書初めも行いました。綺麗且つ格好よく出来上がりました。			

(4) 入浴サービスの提供

個浴型特殊浴槽（2台）とチェアインバスの計2種類・3台の浴槽を使用し、清潔の保持・家族の介護負担軽減と利用者様の気分転換とADLに合わせた安楽な入浴に努め、菖蒲湯や柚子湯などの季節感を味わって頂く工夫を行い、利用者様に喜んで頂けるよう努力して参りました。また、**営業活動時の聞き取りにて当事業所利用に対し入浴の要望が高いこと、特に機械浴希望が高いことが分かり、当事業所の浴室設備をアピール。結果、入浴登録・実績・一日平均の数値は大幅に上昇。**

	登録	実績	1日平均
4月	109	389	14.9
5月	106	378	14.5
6月	108	373	14.9
7月	112	395	14.6
8月	107	394	14.5
9月	108	360	14.4
10月	108	395	14.6
11月	111	348	13.3
12月	112	383	14.7
1月	108	338	14.0
2月	105	348	14.5
3月	108	380	14.6
平均 (前年度)	108.5(103.3)	373.4(351.6)	14.4(13.5)



(5) 食事サービスの提供

食事提供の面では、管理栄養士・調理担当者と協働し「五感を刺激する取り組み」を意識したイベント食の定期開催を実施しました。

【 イベント食・行事食 】

4月	イベント食 『握り寿司』		
5月	イベント食 『洋食弁当』		
6月	イベント食 『天ぷら』		
7月	イベント食 『オムライス』		
8月	イベント食 『井バイキング』		
9月	イベント食 『鉄板焼き』		
10月	イベント食 『松花堂弁当』		

11月	イベント食 『 天ぷらそば &うどん 』	 
12月	イベント食 『ランチプレート』	  
1月	イベント食 『 鍋 』	 
2月	イベント食 『羽根つき餃子』	  
3月	イベント食 『 握り寿司 』	   

【 わくわく手作りおやつ 】

4月	『 蒸しパン 』	 
6月	『フルーツあんみつ』	 

8 月	『クリームあんみつ』	  
10 月	『フレンチトースト』	 
12 月	『ミニパフェ』	  
2 月	『白玉』	 

(6) 健康状態の把握

センター到着後の健康チェック（バイタルチェック）では体温、血圧、脈拍の3項目を行い、数値が異常な場合は再検査のもと、利用者の身体状況を把握、体調の変化など早期発見・早期対応に努めました。また、長期入院から利用再開となる際には、生活相談員等が退院前カンファレンス参加、ご自宅に伺っての再アセスメントを積極的に実施しました。体調不良による入浴が困難と看護師が判断した場合は入浴を中止、活動参加が困難な場合は家族に連絡のもと、早退という形をとり、自宅までの送迎対応を行いました。また、デイフロア内の静養スペースでは、体調不良による静養・体力面に配慮した休息など柔軟な対応を心掛けました。コロナ禍の影響で自粛されている方々、担当ケアマネジャーへ定期的にご様子確認を実施。

(7) 安全なサービス(リスクマネジメント)

【 新型コロナウイルス感染症対策 】

（※ソーシャルディスタンスを保ち、3密（密集・密接・密閉）回避・感染拡大防止（下表参照）。フロア内に「プラズマオゾン発生装置（※バクテクター）」4台設置。各テーブルに飛沫防止シールド設置継続。

【令和6年度事故状況】

事故種別	転倒	離苑	急変・救急	裂傷	送迎時	異食	合計
件数	8	1	0	2	0	0	11

事故・苦情には迅速な対応と解決を心がけ、予防に努めるとともに、事故・苦情の情報共有の徹底により、内部研修による事例検討等による再発防止に努めました。

事故詳細として、転倒事故8件・離苑事故1件

皮膚剥離2件と昨年度に比べて転倒事故が減少。内装仕上げ大規模改修工事による床貼替も功を奏し骨折に至るものではありませんでした。また、レイアウト変更し、導線を確保しやすく、安全に過ごせる環境を考えられました。しかし、皮膚トラブルも2件あり、皮膚が弱い方が増えたり、2人対応の方が増えたりと介入が増えている為、介護技術面の見直しも行い安全に介護出来るようにしていきたいと思います。

【火災・地震を想定した震災訓練】

当デイサービスセンターでも随時環境設定(※事業所内または送迎中、時間帯など)を行い、月1回の震災訓練を実施しました。

(8) 利用者個々に合った相談支援

利用中の状況、家族等のニーズを踏まえ、介護支援専門員との連携のもと通所介護計画・介護予防通所介護計画の適正な作成(新規・更新)に努めました。

計画書の作成にあたっては、日々の申し送りと月1回のケース会議をもとに職員の情報共有を図り、サービス担当者会議への出席等、他事業所と連携し、利用者本人・家族にとって分かりやすい説明のもと同意を得られるようにしました。

(9) 家族交流の促進

送迎時のコミュニケーションと連絡帳の活用に加え、月間予定表、献立の配布、三色すみれ(広報誌)の発行により、情報発信に努めました。

また、法人ホームページ内に掲載している「デイサービスの窓(※ブログ)」はデイサービス職員が更新作業を行い、よりタイムリーな情報発信に努めました。

(10) その他

① ボランティア

今年度より、ボランティアの受け入れを再開しました。コロナ禍でボランティアを終了させたグループもいらっしゃいましたが、今まで行って下さっていたグループに声をかけ、ボランティアに来て下さっています。ボランティアの活躍にて、活気あるデイサービスが戻って参りました。

② 実習生等

種別	人数	実習機関
介護福祉士	0名	0校
社会福祉士	0名	0校
看護師	10名	1校
教職員介護等体験	0名	0校
職場体験学習(中学生)	9名	3校

《 日々の活動・イベント 》

【 アクティビティ活動（上下肢機能維持運動など） 】



【 趣味生きがい活動など 】



（※将棋・麻雀）

（※書道）

Ⅱ 好日苑ヘルパーステーション

令和6年度におきましては、2024年介護報酬改定が行われ、訪問介護は「減額改定」の中でスタートを切る形となりました。減額改定の煽りを受け、事業所の閉鎖や人員不足といった訪問介護事業の存続自体が危ぶまれる中、当事業所としては、第6次中期経営計画で掲げた「好日苑多機能型居宅介護」による連携が3年間を終え、目標で掲げた連携率の上昇、訪問介護と定期巡回サービスとの連携、他事業所への多機能型連携のアピールによる新規獲得などが功を奏し、利用者登録数の増加（44名⇒53名）が示すように、重点施策で掲げた取り組みや目標値の達成といった結果につながりました。引き続き、住み慣れた地域で自立した生活と「安心と暖かさ」を感じ取れる生活を続けていただく為に【好日苑多機能型居宅介護】を土台にした事業運営・支援をして参ります。

1. 『第6次中期経営計画を踏まえた令和6年度事業計画の重点施策』

利用者	① 介護支援ソフト(ほのぼの)の有効活用(電子記録等の共有・業務効率化) ② 帯派遣(ターミナルケース等)を含めた柔軟な訪問調整(効率・切れ目のない訪問)
職員	① 土・日曜勤務形態の継続と検討 ② 認知症介護実践者・リーダー受講・有資格者1名以上配置
経営	① 居宅連携率 年／60% ≫ 提責2名 130時間+兼務1名 45時間+非常勤1名 80時間 +登録120時間 ≫ 目標派遣時間(実績)300時間/月、登録率100% ② 定期巡回サービス(一部業務委託)との連携 ③ 新規加算算定(認知症専門ケア加算)

【令和6年度の重点施策に対する評価】

「利用者」

- ② 『帯派遣（ターミナルケース等）を含めた柔軟な訪問調整（効率・切れ目のない訪問）』は、訪問介護と定期巡回池上長寿園24（定期巡回サービス）との切れ目のないサービス提供を継続。結果、定期巡回の仕組み・当事業所の運営スタイルをお互いの事業所が理解し、対象利用者様の選定や派遣スケジュールなどを迅速かつ的確に共有・実施し、派遣延べ時間（R5：375h⇒R6：338h）・月平均（R5：31h⇒R6：28.2h）は昨年度より若干減少しましたが、常にケース保持・安定した継続支援は行えました。

「職員」

- ① 『土日勤務形態の継続と検討』は、日曜派遣・勤務は達成できませんでしたが、土曜日派遣・勤務は派遣対応職員を拡充（多機能型職員・非常勤ヘルパー）し年度通じて達成。また、1日の件数・派遣時間も僅かながら微増しました。

「経営」

- ① 居宅連携率は昨年度平均42%から57%まで上昇しましたが目標達成には至りませんでした。
② 定期巡回サービスとの連携は、常時2～3名の帯派遣ケースを確保し安定した派遣件数維持。
（※全体計4,157回⇒1,322回・全体の3割）

2. サービス提供

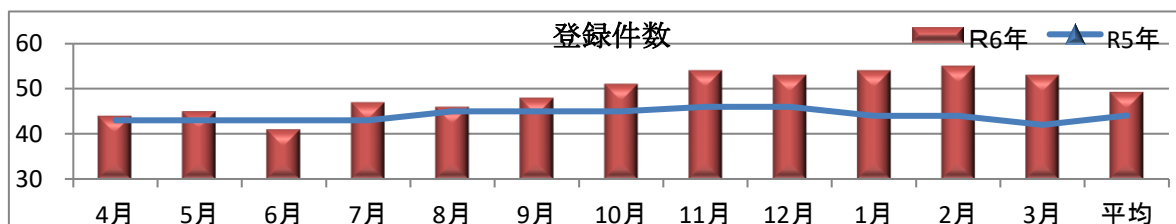
『稼動目標（※月平均 300 時間）』に対し、「サービス提供/月平均 310.7 時間」で目標値達成となりました。

登録等実績につきましては、月内登録数に関しては年間通じて登録数の大きな増減はありませんでした。新規利用者様は昨年度（24 件）に対し+7 件の 31 件（好日苑多機能型居宅介護連携による自居宅新規は 16 件）の受入が行えました。また、廃止数は 27 件で昨年度（19 件）より 8 件増加しましたが、ご逝去（急逝）や施設入居が主な要因でした。

このようなケースの移り変わりがあった中、年度当初の 44 名登録から増減を経て、最終的に登録数は 53 名の登録となりました。

(1) 登録・請求実績

	月内 登録	新規				廃止	休止	請求	
			介	予	有			実数	(内総合)
4 月	44	2	2	0	0	1	0	40	4
5 月	45	1	1	0	0	3	0	39	4
6 月	41	0	0	0	0	0	0	38	4
7 月	47	5	5	0	0	1	0	43	4
8 月	46	1	1	0	0	1	0	42	4
9 月	48	2	1	1	0	1	0	45	5
10 月	51	3	3	0	0	2	0	46	5
11 月	54	5	4	1	0	3	0	48	5
12 月	53	3	2	1	0	3	0	48	6
1 月	54	4	4	0	0	2	0	50	6
2 月	55	3	2	1	0	6	1	44	7
3 月	53	2	2	0	0	4	1	46	7
延	591	31	27	4	0	27	2	529	61
平均	49.3	2.8	2.5	1.0	0.0	2.5	1.0	44.1	5.1



廃止理由	要支援 1.2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
ご逝去	1	1	1	2	1	2	8
入 所	0	1	2	6	3	1	13
入 院	0	0	0	0	0	1	1
その他	3	0	1	1	0	0	5
合 計	4	2	4	9	4	4	27

(2) サービス提供実績

	稼 動 日	派遣 時間	一部 業務 委託	派遣時間内訳						派遣件数(回)		平均 介護 度
				身体	生活	身生	訪問 型	有 料	1 回 あたり 平均	合計	1 日 あたり 平均	
4 月	25	298.3	29.4	72.2	103.4	63.5	21.1	38.1	0.92	326	13.0	2.17
5 月	27	308.3	31.1	71.1	105.2	79.4	18.4	34.2	0.90	341	12.6	2.13
6 月	25	274.1	31.2	59.0	98.2	63.4	18.1	35.4	0.96	287	11.5	2.17
7 月	27	318.1	31.2	76.1	106.5	77.3	16.2	42.0	0.95	335	12.4	2.09
8 月	27	317.1	34.3	78.4	111.5	66.5	20.2	40.6	0.92	343	12.7	2.06
9 月	26	327.3	28.6	81.1	119.2	56.2	26.2	44.7	0.94	348	13.4	2.06
10 月	27	323.1	22.2	78.1	137.5	49.4	24.1	34.0	0.89	365	13.5	2.03
11 月	26	320.4	27.0	79.2	120.5	59.4	26.2	35.3	0.87	368	14.2	2.03
12 月	25	322.4	26.0	75.2	108.5	61.2	24.2	53.3	0.93	347	13.9	2.19
1 月	24	299.4	26.3	99.6	106.1	35.4	24.2	34.2	0.85	353	14.7	2.12
2 月	25	301.3	24.4	88.2	106.3	44.2	29.5	33.2	0.84	359	14.4	2.02
3 月	26	318.1	26.3	89.6	112.0	54.1	31.5	31.0	0.83	385	14.8	2.07
延	310	3,727.9	338	947.8	1334.9	710	279.9	456	10.79	4,157	161	25.13
平均	25.8	310.7	28.2	79.0	111.2	59.1	23.3	38.0	0.90	346	13.4	2.09

3. 利用者様個々に合った相談支援と連絡・連携

定期巡回池上長寿園 24 一部業務委託との連携では、専用の携帯端末による入退室管理、介護支援ソフト（スマケア）と専用携帯端末によるサービス提供記録入力を行い、迅速な情報提供・共有を図りました。そして、柔軟かつ利用者様の安心につながる訪問スケジュールを可能にする為、多機能型職員をデイ・ヘルプ共通登録利用者様への訪問登録し、横断的・一体的にサービス提供を行う体制と連携に取り組みました。

Ⅲ 好日苑ケアプランセンター

令和6年度は、目標値を前年度から20件増の160件/月（ケアマネ1人40件）を掲げスタートし、年間平均161.4件を達成しました。質の高いマネジメントにおいては、地域包括支援センター・シニアステーション、通所介護、訪問介護、短期入所生活介護、特別養護老人ホームを展開している法人力の中で【顔】を意識し、住み慣れた地域で利用者様の在宅生活継続へむけた活動に努め第三者評価では高い評価を賜りました。

新たな取り組みとしては、介護保険制度と自治体の動きへアンテナをはり令和6年7月1日に【指定介護予防支援事業所】の指定を受け、増加する高齢者へ迅速な対応ができる事業所として活動を開始しました。

地域活動において引き続き積極的な参画に努め、エリア内では調布・大森各地区に選別した『特定事業所Ⅱを中心とした勉強会・2年目』を開催、『地域のサービス事業所向け出前講座』を企画、地域において主軸の役割を担うよう励みました。

『好日苑多機能型居宅介護』は3年目となり、馴染みの職員が横断的・一体的な支援を迅速に行うケースが増加し、地域の利用者様ご家族様へ【安心と暖かさ】の法人力を提供する役割の一端となりました。年度最期には予てから案の『ヘルプ・居宅事務所統合』の実現へ辿り着きました。

令和7年度において、継続して組織力を活かした質の高いマネジメントを行うことと並行し、人員確保へむけてアピール活動にも着眼してまいります。

1、『第6次中期経営計画を踏まえた令和6年度事業計画の重点施策』

利用者	① 好日苑多機能型居宅介護としてのCPC会議の充実 ② 医療機関との連携(積極的なプラン受入れ)
職員	① エリア内事業者連絡会等での講師・ファシリテーター派遣 ② 特定事業所加算Ⅰ算定(介護支援専門員5名体制) ③ 好日苑多機能型居宅介護のプラットフォーム実践のための先手のアセスメントと舵取り
経営	① 居宅連携率70%/年 ※デイサービス・ヘルプサービス・ショートステイ ② 介護支援専門員1名40件/月・月間CP請求数160件(※介護支援専門員5名体制の場合、200件) ③ 介護予防支援(予防プラン)「直接契約」移行検討(※市町村へ指定申請必須)

【令和6年度の重点施策に対する評価】

「利用者」

- ① 週1回の会議を定期開催し連携ケースの抽出、素早い情報共有により支援展開が可能となった。
- ② 退院、退所、新規相談に対し管理者と担当2名体制の受入による連携強化を図る。ICT活用し積極的にカンファレンス参加。※入院時連携加算、退院退所加算、精神心障害者早期退院支援事業、大田区個別避難計画

「職員」

- ① 調布地域介護支援専門員連絡会、調布地区居宅介護支援事業所事例検討会の開催(好日苑内)
大森地区居宅介護支援事業所事例検討会の開催(好日苑内)
地域サービス事業者向け出張出前講座企画開催(8事業所参加・好日苑内)
大森個別ケア会議参加(主任介護支援専門員、介護支援専門員)
NPO 法人大田区介護保険支援専門員連絡会におけるケアプラン点検の参加(ケアプラン提出)
NPO 法人大田区介護支援専門員連絡会タウンミーティング ファシリテーター(主任介護支援専門員)
- ② 特定事業所加算Ⅰ算定要件(職員配置)満たさず未達成。
- ③ 新規受け入れ2名体制のアセスメントと在宅(好日苑多機能型居宅介護)会議におけるケース検討を実施。

「経営」6次中期計画3か年において270万9775円増収

① 居宅連携率 令和6年4月→令和7年3月

デイ:72.3%→78.1% ヘルプ:44.4%→56.7% SS:53.3%→90.9%

② 介護支援専門員1名 40.35件 / 月間CP請求件数 161.4件

③ 令和6年7月1日 指定介護予防支援事業所 指定開始

指定開始月から24件予防給付管理の実績(上池、馬込両包括と密な連携を図り実現)

※自治体初動時に指定申請をした事業所の1社(初動6社指定、7年度4月現在9社まで増加しているが事実上の稼働は不明)

2、適切な相談支援

(1) 訪問によるトータル的な状況把握

訪問を基本とした状況把握の推進に加え、サービス提供事業所との電話連絡、電子メール等による情報収集により、苦情もなく、利用者・家族のニーズを踏まえた自立を目的とした円滑な支援を行い、ケアプラン作成時には分かりやすい説明と同意を得ることができました。

【運営減算】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 適切な給付管理と実績管理

2024年度介護報酬改定により介護支援専門員1人当たりの利用者数見直しをうけ、1人40件×人数(=160)へ目標値を上方修正し、請求件数40.35/人、月間請求件数161.4を達成できました。

【登録件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
介護給付	137	138	138	140	137	139	138	134	132	129	126	121	134.1
予防給付	35	35	37	36	37	39	42	41	42	39	40	39	38.5
合計	172	173	175	176	174	178	180	175	174	168	166	160	172.6

【給付管理実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
介護給付	131	127	127	127	125	126	123	129	124	124	115	110	124
予防給付	35	34	37	36	36	38	41	40	41	39	39	33	37.4
合計	166	161	164	163	161	164	164	169	165	163	154	143	161.4

【要介護度】

月	介護度分布															
	介護 1		介護 2		介護 3		介護 4		介護 5		支援 1		支援 2		平均	介護 3.4.5
4 月	40	24%	33	20%	36	22%	18	11%	10	6%	16	10%	19	11%	2.56	48.9%
5 月	39	24%	36	22%	33	20%	16	10%	14	9%	16	10%	19	12%	2.73	49.6%
6 月	40	24%	37	23%	32	20%	14	9%	15	9%	17	10%	20	12%	2.69	48.0%
7 月	43	26%	35	21%	31	19%	17	10%	14	9%	17	10%	19	12%	2.71	48.8%
8 月	42	26%	37	23%	31	19%	16	10%	11	7%	19	12%	18	11%	2.65	46.4%
9 月	41	25%	39	24%	34	21%	15	9%	10	6%	18	11%	21	13%	2.65	46.8%
10 月	43	26%	38	23%	31	19%	14	9%	12	7%	22	13%	20	12%	2.69	46.3%
11 月	41	24%	42	25%	25	15%	15	9%	11	7%	21	12%	20	12%	2.46	39.5%
12 月	40	24%	45	27%	23	14%	15	9%	9	5%	22	13%	20	12%	2.47	37.9%
1 月	40	25%	42	26%	21	13%	16	10%	10	6%	20	12%	19	12%	2.43	37.9%
2 月	38	25%	41	27%	20	13%	18	12%	9	6%	21	14%	19	12%	2.61	40.9%
3 月	36	25%	41	29%	18	13%	16	11%	9	6%	20	14%	19	13%	2.70	39.1%

【新規・廃止】

6 年度は、新規 67 件・廃止 76 件の按分でした。12 月まで積極的に受けていた新規は、職員 1 名退職に伴い 1 月以降は制限した結果となります。1～3 月まで『新・3 か月計画』を練り、迅速な台帳整理、終結マネジメントを展開・コントロールすることで、令和 7 年度を落ち着いた状況で迎えることができました。

年間の廃止データの廃止理由 1 位は『その他』であり、保険サービス終了や転居などこれまでの施設入所理由を上回る状況です。施設においては、特養 3 件に対し有料は 18 件となっています。『重度まで在宅介護を行い特養申請』は、率の低いケースともいえる状況です。介護分布（ご逝去以外）からは、要介護 2.3 の動きが活発化しています。『好日苑多機能型居宅介護』のパフォーマンスも【馴染みの職員の支援をうけた在宅から最終的に選ばれる施設】の構図から、【専門性特化型に機能する】ものへ変化が求められていると実感しています。

	要支援 1.2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
ご逝去	1	1	4	2	7	5	20
入所・特	0	0	0	0	2	1	3
入所・有	0	1	3	6	5	3	18
老 健	0	0	1	0	0	0	1
長期入院	0	1	1	5	1	1	9
							51
その他							
GH	0	0	1	2	1	0	4
終了	5	0	3	1	0	0	9
返却	4	0	0	0	0	0	4
他居宅	0	2	0	2	0	0	4
転居	0	2	1	1	0	0	4
							25

(3) 要介護・要支援認定訪問調査の受託

受託先：大田区調布生活福祉課より直接受託

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3. 連絡連携

(1) サービス担当者会議の開催(主治医や医療機関含む)

ICTを活用した非対面式の面談という新たな選択肢が増えたことで退院、退所時のカンファレンスにおいて、オンライン形式を活用して積極的参加することができました。

【回数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4	28	18	23	25	24	21	20	30	21	13	12	19	254
R5	23	28	25	23	19	25	26	15	15	21	10	19	249
R6	23	22	21	25	20	23	24	25	23	24	16	18	264

(2) 円滑な関係機関との連携と情報交換

連絡会等、積極的に参加し地域ニーズの把握とコンプライアンスを心掛け、適正な運営と支援に努めました。

- ① 介護支援専門員連絡会の参加
- ② 雪谷・上池けあまねつとの参加
- ③ 大田区事業所連絡会の参加
- ④ NPO 法人大田区介護支援専門員連絡会活動の参加(ファシリテーター)
- ⑤ 調布・馬込地区介護支援専門員事例検討会開催

(3) ケアプランセンター(CPC)伝達・検討会議

特定事業所加算の取得に伴い、週1回 毎週金曜日を原則に、ケース検討及び制度等の情報共有を行い、内部連携を強化しました。

4. 人材育成(質の向上)

【行政や医療機関が主催する地域ケア会議・支援会議・勉強会等への積極的な参加・参画】

個々の専門性向上へむけた研修の参加により質の向上を図り、例年にわたる調布地域介護支援専門員連絡会員を6年度も立候補し大田区と共に地域の介護支援専門員の底上げに参画致しました。

【実習生受入】

第26回2期、第27回1期ともに受け入れ依頼はありませんでした。過去5年間データは、受験者数横ばい、合格者数上昇傾向(合格率上)です。年間2回の実習機会があり、東京都福祉保健財団の地域内選定を経て受け入れとなります。令和7年度4月には第27回第2期受け入れ案内が届く時期です。主任看護支援専門員3名体制の中で、次世代の介護支援専門員育成を担う役割を受け入れてまいります。

【研修内容】

この数年間に感染症防止の観点から研修様式が変化してきた結果、オンライン、オンデマンド等々の集合型によらない形がふえ、効率的に参加できる状況となっています。選択可能な研修もあり、多様な形式に対応できる ICT 環境を整えることで参加機会は増加し、ケアマネジメントの質の向上へ繋がる事ができました。

地区を選別した近隣の居宅支援事業所と共同した事例検討会・研修では、特定事業所加算取得事業所を意識して中心的な役割を担い地域貢献を致しました。その他 6 年度は、ケアマネ事業所に関わらず地域のサービス事業所へむけて出張出前講座を企画し 8 事業所参加の研修を実行しました。今後も主軸となる事業所を目指してまいります。



共同事例検討会



出張出前講座

Ⅳ 【 在宅部門会議・研修 】

(全体)

会 議	内 容
好日苑多機能型居宅介護会議 (KTKK)	好日苑多機能型居宅介護 (KTKK) の実現に向けた利用者様情報や、サービス提供上の調整・留意事項の伝達等を通じて、目標達成することを目的として開催。(隔週・週 1 日)

(デイサービス)

会 議	内 容
デイサービス会議	法人伝達事項・事業所課題把握と対抗検討・改善を行い、サービス向上を目的とする。(月 1 回開催)
ケース会議 (月 1 回)	通所介護計画書・介護予防通所介護計画・第 1 号通所事業通所介護計画の作成。利用者様の状況と問題点の抽出・対応策の検討と職員対応の標準化を図る。
食事会議・イベント食会議	利用者様の食事形態・摂取量・嗜好を把握し、安全な食事提供を目的とする。

(ヘルパーステーション)

会 議	内 容
ヘルパー会議	利用者様の状態確認、ケアカンファレンス、諸連絡の場とし、全職員の職務に対する意識向上と相互連携のための情報共有を行い、訪問介護事業が円滑に運営されることを目的とする。(月 1 回開催・第 3 木曜日)
サービス提供責任者 (STS) 会議	法人伝達事項・事業所課題把握と対応検討・改善、内外部研修などで得た情報・知識を共有、ヘルパー会議(研修)の内容調整、各利用者様の近況状態報告を行い、サービス向上を目的とする。(月 1 回開催・第 4 木曜日)

(ケアプランセンター)

会 議	内 容
CPC 会議	利用者に関する情報又はサービス提供に当たっての留意事項に係る伝達等を目的とした会議を週 1 日開催する。
居宅会議	居宅マニュアルの改正、制度勉強会、事例検討、基礎知識の確認等、情報及び知識の共有を図った。
	4 月 前月実績報告、所内研修（【法令遵守と倫理綱領】）
	5 月 前月実績報告、所内研修（【熱中症と食中毒】）
	6 月 前月実績報告、所内研修（【支援経過・ケアプランの重要性と記録・作成方法を学ぶ】）
	7 月 前月実績報告、所内研修 （【虐待研修（1 回目）】 【身体拘束とプライバシーの保護】）
	8 月 前月実績報告、所内研修（【感染症研修、事例検討（困難ケース）】）
	9 月 前月実績報告、所内研修（【緊急時対応研修】大規模災害が起きた際の動きや備えることについて）
	10 月 前月実績報告、所内研修（【事例検討・困難ケースの相談援助】）
	11 月 前月実績報告、所内研修（【保健医療福祉の基礎知識】） z
	12 月 前月実績報告、所内研修（【リスクマネジメント】）
	1 月 前月実績報告、所内研修 （【虐待研修（2 回目）】 【認知症ケア】）
	2 月 前月実績報告、所内研修 （【医療ニーズに対する相談支援、事例検討】）
	3 月 前月実績報告、所内研修（令和 7 年度事業計画（報告）、第 6 次中期計画評価 / 居宅マニュアル確認）

【 研修報告 】

(デイサービス)

職員のスキルアップの機会を設ける意味で毎月 1 回の内部研修日を設定

	研修項目
4 月	法令遵守（個人情報保護法）・職業倫理研修 （※法人の「倫理綱領・理念と目的」「日本介護福祉士会・社会福祉士会倫理綱領の行動規範」「個人情報保護法」確認）
5 月	身体拘束・プライバシー保護研修 （※身体拘束廃止への取り組み・指針確認（身体拘束ゼロ手引き活用）・権利擁護（高齢者虐待防止））
6 月	感染症研修（※嘔吐時の動きと役割確認・熱中症・食中毒・ノロウイルス基礎知識確認）
7 月	KYT 研修（危険予知トレーニング）

8 月	チームマネジメント研修
9 月	介護技術研修（食事・排泄・入浴方法を学ぶ）
10 月	緊急時研修（緊急時対応マニュアルの見直し）
11 月	感染症研修（※感染対策リーダーによる「平時から実践する感染対策の基本（感染症対策と清潔・不潔、標準予防策とは目的と重要性・手指衛生のタイミング）」「手指衛生」「PPE（個人防護具）着脱の実技訓練」について講義・実演。）
12 月	ICF 研修（ICF の意味・特徴を知る）
1 月	認知症ケア研修（技法：ユマニチュードを知る）
2 月	記録研修（ご家族への伝え方を学ぶ）
3 月	令和 7 年度事業計画説明

（ヘルパーステーション）

月	研修項目	内 容
4 月	法令遵守と職業倫理 （※ヘルパーマニュアル確認）	各団体倫理綱領に基づき学び、ホームヘルパーとしてのマナーを習得する
5 月	権利擁護・プライバシー保護と接遇	権利擁護・身体拘束に対する基本知識の習得とサービス提供におけるプライバシーを学ぶとともに、接遇マナーを確認。
6 月	食中毒・熱中症研修	基礎知識とヘルパーが知っておきたい医療知識の習得を行い、熱中症、食中毒・新型コロナウイルスについての理解・対応を踏まえ、訪問時の利用者状態の気付きを共有。
8 月	リスクマネジメント	K Y T（危険予知訓練）研修。サービス提供時の介護事故発生・再発防止に向けたグループディスカッション。
9 月	緊急時対応（緊急時事例共有）	A E D の取り扱いについて。心肺蘇生法動画視聴。
10 月	感染症研修	感染対策リーダーによる「平時から実践する感染対策の基本（感染症対策と清潔・不潔、標準予防策とは目的と重要性・手指衛生のタイミング）」「手指衛生」「PPE（個人防護具）着脱の実技訓練」について講義・実演。
11 月	高齢者見守り人材向け出張講座 （高齢者の消費者トラブルを知って、気付いて、見守ろう！）	令和 6 年度東京都出張出前講座を活用し、（公社）全国消費生活相談員協会の方を招き、「特殊詐欺」について特徴と対策などの講義。
12 月	感染症研修	感染対策リーダーによる「平時から実践する感染対策の基本（感染症対策と清潔・不潔、標準予防策とは目的と重要性・手指衛生のタイミング）」「手指衛生」「PPE（個人防護具）着脱の実技訓練」について講義・実演。
1 月	緊急時対応（心臓マッサージ）	前回（9 月）の研修時に「心臓マッサージの手法を再確認したい」との要望があり、基礎知識の確認とペットボトルを使用した疑似体験を行う。

(ケアプランセンター)

研 修	形 式	目 的
令和 6 年度大田区介護保険事業者連絡会（第 1・2 回）	大田区 e ランニング	大田区介護保険事業者連絡会は、区からの事務連絡や情報提供
2024 年度第 1 回 大田区介護支援専門員全体研修	大田区 (オンライン形式)	介護報酬改定ケアマネが知っておくべき業務ポイント
2024 年度第 2 回 大田区介護支援専門員全体研修	大田区 (オンライン形式)	精神疾患の対応について ～家族対応に困っていませんか～
2024 年度第 3 回 大田区介護支援専門員全体研修	大田区 (オンライン形式)	複合的なニーズへの支援 ～重層的支援多機関連携～
2024 年度第 4 回 大田区介護支援専門員全体研修	大田区 (オンライン形式)	2024 年度ケアプラン点検総括
令和 6 年度第 1 回大田区調布地域福祉課介護支援専門員連絡会	調布地域介護支援専門員連絡会 嶺町集会所	ケアマネジャーが知りたいオンラインモニタリングの実際
令和 6 年度第 2 回大田区調布地域福祉課介護支援専門員連絡会	調布地域介護支援専門員連絡会 嶺町集会所	もう迷わない精神疾患をもつ方との関わりかた
令和 6 年度第 3 回大田区調布地域福祉課介護支援専門員連絡会	調布地域介護支援専門員連絡会 嶺町集会所	ヤングケアラーを理解しよう～実態と支援のポイントについて学ぶ～
NPO 法人大田区介護支援専門員連絡会 第 1 回 研修	NPO 大田区介護支援専門連絡会 牧田総合病院	みんなで作ろう生活意欲に基づくケアプラン 2 表作り
NPO 法人大田区介護支援専門員連絡会 第 2 回 懇談会	NPO 大田区介護支援専門連絡会 消費者生活センター	特定事業所懇談会
令和 6 年度介護サービス事業管理者等高齢者権利擁護研修	東京都福祉局高齢者施策推進部	権利擁護、虐待防止研修
令和 6 年度ケアプラン点検	大田区福祉部 介護保険課	ケアプラン点検に伴う書類提出
2024 年度 タウンミーティング	NPO 大田区介護支援専門連絡会 スマイル大森	タウンミーティング集合研修 「介護保険外サービスについて考えませんか」
令和 6 年度 認定調査現任研修	大田区福祉部 介護保険課 蒲田地域庁舎	認定調査現任研修
第 3 回 複合課題対応研修	大田区福祉部 福祉管理可調整 下丸子区民プラザ	ヤングケアラーへのケアについて考える
第 4 回 複合課題対応研修	大田区福祉部 福祉管理可調整 池上会館	意思決定支援について考える

令和 6 年度地域連携を支える人材育成研修	荏原病院 (オンライン形式)	荏原病院東京都地域拠点型認知症疾患医療センター 「地域連携を支える人材育成研修」 【ユマニチュード講演会】
2024 年度 第 1 回 大田区 3 連絡会合同勉強会	大田区 訪問看護ステーション連絡会 介護支援専門員連絡会 訪問介護事業者連絡会 池上会館	医行為について考えよう
雪谷けあまねっと (第 1・2 回)	包括支援センター上池台、雪谷特別出張所	包括支援センター主催地域ケアマネの懇談
雪谷・上池地域包括ケアの会	上池台包括支援センター 田園調布医師会館 2 階	セルフネグレクトの状態にある人への支援
第 3 回 雪谷地域連携懇談会	上池台包括支援センター 雪谷特別出張所	雪谷地区民生児童委員協議会の自主勉強会
令和 6 年度第 12 回大田区介護保険事業者等研修 (居宅介護支援事業者研修)	大田区福祉部介護保険課 (オンライン形式)	障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行
「特定事業所加算取得事業者」間研修	共同開催 好日苑相談室	調布地区 5 事業所、馬込地区 5 事業所、それぞれの事例検討会
地域サービス事業者むけ出前講座	共同開催 好日苑相談室	地域の居宅介護支援事業所、訪問介護事業所、総勢 8 事業所参加 高齢者見守り人材むけ出前講座
個別レベル地域ケア会議	包括支援センター馬込 大森庁舎	妄想がある方の近隣トラブル (集合住宅内で他住民が退去し、本人も退去が迫っている)
大田区介護予防 日常生活支援総合事業	大田区 e ランニング	総合事業 事業者むけ研修
令和 6 年度居宅介護支援事業所管理者向けマネジメント支援研修	東京都福祉局高齢者施策推進	管理者向け研修
令和 6 年度 第 1 期 東京都介護支援専門員更新研修	東京都福祉保健財団	法定研修 (32 時間)
令和 6 年度 東京都主任介護支援専門員研修	東京都介護支援専門員研究協議会	法定研修 (70 時間)

【 令和6年度 東京都福祉サービス第三者評価結果 】

令和6年度 東京都第三者評価事業【好日苑デイサービスセンター】評価結果「概要版」

《評価機関》

一般社団法人

特養ホームマネジメント研究所

好日苑デイサービスセンター

「とうきょう福祉ナビゲーション」

<http://www.fukunavi.or.jp>

	アンケート	聞き取り
調査対象者数	100	
有効回答者数	62	
総数に対する回答者割合	62%	

《利用者調査結果》

共通評価項目	実数				
	「はい」%	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 利用時の過ごし方は、個人のペースに合っているか	84%	52	7	2	1
2. 日常生活に必要な介助を受けているか	90%	56	3	2	1
3. 利用中に興味・関心が持てる行事や活動があるか	61%	38	17	4	3
4. 個別の計画に基づいた事業所での活動・機能訓練(体操や運動など)は、在宅生活の継続に役立つか	82%	51	9	2	0
5. 職員から適切な情報提供・アドバイスを受けているか	69%	43	15	3	1
6. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	90%	56	2	2	2
7. 職員の接遇・態度は適切か	92%	57	4	1	0
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	81%	50	8	1	3
9. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	73%	45	6	1	10
10. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	87%	54	6	1	1
11. 利用者のプライバシーは守られているか	82%	51	8	1	2
12. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	76%	47	10	2	3
13. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	79%	49	9	2	2
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	77%	48	10	1	3
15. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談が出来ることを伝えられているか	58%	36	13	2	11

《総合的な感想について》

(1) 事業所のサービスに対する総合的な満足度	大変満足	28	45.0%	84.0%
	満足	24	39.0%	
	どちらともいえない	8	0.0%	
	不満	0	0.0%	
	大変不満	0	0.0%	
	無回答	2	0.1%	
	計	62	84.1%	

《利用者調査全体の評価機関のコメント》

・事業所のサービスに対する総合的な満足度で、大変満足又は満足を合計した肯定的回答数は、62名中52名でした。その他、どちらともいえない8名、無回答2名でした。

・事業所の良い点として「一人ひとりへの気配りがちゃんとされている」「職員全員が親切な人ばかりです」「お世話になって帰ってくる度に喜んでる表情があります」「気になる健康状態を速やかに連絡してくれる」「レクリエーションの内容が良い」「決められた日以外の変更もスムーズにしてくださる」「月毎のスケジュールや利用者の様子等がきちんと書面で分かりやすく伝えられている」等がありました。

・その他、散歩等の機会、リハビリ、入浴回数等に関する要望がありました。

事業者が特に力を入れている取り組み①

評価項目	6-4-2	利用者一人ひとりの状況に応じて生活上に必要な支援を行っている。
タイトル①	食事の満足度を高める事に力を入れています	
内容①	管理栄養士によるバランスの取れた献立や食事提供はもちろんの事、月に一度のイベント食やおやつバイキング等、多様な取り組みを実施しています。例えば、イベント食の際は、寿司・天ぷら・鉄板焼き等が目の前で調理され、五感を刺激する食事体験の機会となっています。また、献立やイベント食の予定を配布しており、特にイベント食の際は臨時で利用される方が増える程評判が良く、利用者からも「食事がとても美味しい」等の意見があがっています。手間暇を惜しまず、積極的に食事の満足度を高めており、力を入れた取り組みとして、高く評価できます。	

事業者が特に力を入れている取り組み②

評価項目	6-4-4	利用者の生活機能の維持・改善を目的とした機能訓練サービスを工夫し実施している
タイトル②	利用者の意欲を喚起しながら、機能訓練サービスに力を入れています	
内容②	看護師を2名配置し、個別機能訓練加算を取得しています。機能訓練プログラムは、身体機能・認知機能・生活歴等の個別の状態や意向に配慮し、継続的に在宅生活が営める事を踏まえ作成しています。また、敢えて他の利用者から見える位置に機能訓練スペースを設ける事で、訓練中の利用者の意欲を喚起したり、周りの利用者が「私も頑張りたい」といった刺激となるようにする等、相互に意欲を高める効果が出ています。身体機能や生活の質の維持・向上を図る為の、特に力を入れた取り組みとして、高く評価できます。	

事業者が特に力を入れている取り組み③

評価項目	6-4-7	地域との連携をもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている。
タイトル③	ボランティアと協力してアクティビティの充実に力を入れています	
内容③	多様なボランティアに支えられて事業運営しています。例えば、演奏・ハンドマッサージ・囲碁・将棋・麻雀の相手等、コロナ禍で中断されていた活動がボランティアにより再活性化されつつあります。訪問調査時には、「紙芝居」のボランティアが来苑しており、そのクオリティーには第三者としても驚かされました。ボランティアの受け入れの為の役割を担当する職員がいる事や毎年感謝の記念品を贈呈する等の細やかな配慮が継続されている事も特筆に値します。力を入れた取り組みとして、高く評価できます。	

特に良いと思う点	
タイトル	事業コンセプトである「多機能型居宅介護」の実現に努めています
内容	法人として「地域の中でのワンストップでのサービス提供＝響会方程式」や「多機能型居宅介護」を事業コンセプトとして前面に押し出した事業運営に努めています。例えば、デイサービスの職員には訪問介護を兼務する職員もあり、先進的な事例として高く評価できます。また、法人内での居宅介護支援事業所とも定期的な会議の時間を増強して連携を強化しており、「響会方程式」がさらに定着・発展しています。また、近年は、利用者募集エリアを順次拡大し営業強化を図る等、響会サービスの拡大に力を入れています。特に良い点として、高く評価できます。
タイトル	職員の地道な創意工夫が高い満足度に繋がっています
内容	第三者評価・利用者調査における総合的な満足度は、回答者の約85%が「大変満足・満足」と回答しており、高い満足度を得ています。例えば、「人数も多い事業所ですが、一人ひとりへの気配りがしっかりとなされています」、「丁寧に風呂に入れてくれます」等の好評が多々あがっています。利用開始までの丁寧な案内、安全な送迎、職員の笑顔、ボランティアと協力した多様なアクティビティ、評判の良い食事等、職員の地道な創意工夫が高い満足度に繋がっている事と推察されます。特に良い点として、高く評価できます。
タイトル	利用者の主体性を尊重し、利用者の意思で活動に参加できるよう支援しています
内容	利用者の意欲や認知機能の維持・向上を図る為に、体操・レクリエーション・食事のイベント・演奏会等、様々なイベントを企画しています。大まかな日程は決めています、利用者のその時々を尊重し、例えば、集団活動が苦手な利用者には、個別で楽しめるレクリエーションの提供や、自由に横になれる畳スペース等を設置しています。また、入浴の拒否が見られる場合は気分が乗った状態で誘導できるよう、無理強いせずに改めて声を掛けています。利用者の意思で活動に参加できるよう丁寧な支援に努めており、特に良い点として、高く評価できます。
さらなる改善が望まれる点	
タイトル	「スマート化」の目標に基づき、定期的な業務の棚卸し・削減等の検討に期待します
内容	事業所では役割分担が明確化されていますが、送迎業務等フレキシブルな対応をしている中では、分担にばらつきがあるようです。今後は、例えば、好日苑として掲げる「スマート化」の目標に基づき、「過剰となっている業務はないか」、「サービスの質に影響を及ぼさない無駄な業務はないか」、「自動化できるものはないか」等の視点で、定期的な業務の棚卸し・削減等の検討に期待します。
タイトル	さらなる環境整備に期待します
内容	近年では、トイレでのプライバシーの確保、ライブラリー空間の設置等、利用者のプライバシーやアクティビティに配慮した空間づくりが着々と進行しています。今後もこの方向性を維持しつつ、休憩場所・横になれる場所・映画鑑賞できる場所等の企画があがっているようです。第三者としても、広い空間を活用した多様な居場所づくりには、大いに期待したい点です。
タイトル	響会方程式と重なり合うようなICT活用のさらなる推進に期待します
内容	居宅介護・訪問介護・デイサービス・ショートステイ・特養と、地域に根付いてワンストップでサービスを提供できる「大規模多機能型事業所」「響会方程式」のコンセプトによる事業展開が、日々拡充されています。この方向性に基づき、「響会方程式」と重なり合うような新規介護支援ソフトの活用には、さらなる改善・向上の余地があると思います。例えば、スマート化の目標に基づき、特にケアマネジメント領域における帳票の統一→電子化による共有等に期待します。

《評価機関》

一般社団法人

特養ホームマネジメント研究所

好日苑ヘルパーステーション

「とうきょう福祉ナビゲーション」

<http://www.fukunavi.or.jp>

	聞き取り	アンケート
調査対象者数		40
有効回答者数		34
総数に対する回答者割合		85%

《利用者調査結果》

共通評価項目	実数				
	「はい」%	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 安心して、サービスを受けているか	94%	32	1	0	1
2. ヘルパーが替わる場合も、安定的なサービスになっているか	68%	23	7	3	1
3. 事業所やヘルパーは必要な情報提供・相談・助言をしているか	97%	33	1	0	0
4. ヘルパーの接遇・態度は適切か	97%	33	1	0	0
5. 病気やけがをした際のヘルパーの対応は信頼できるか	91%	31	2	0	1
6. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	97%	33	1	0	0
7. 利用者のプライバシーは守られているか	91%	31	2	1	0
8. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	94%	32	0	1	1
9. サービスの内容や計画に関するヘルパーの説明は分かりやすいか	82%	28	5	0	1
10. 利用者の不満や要望は対応されているか	91%	31	2	0	1
11. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	71%	24	4	2	4

《総合的な感想について》

(1) 事業所のサービスに対する総合的な満足度	大変満足	21	61.8%	97.1%
	満足	12	35.3%	
	どちらともいえない	1	2.9%	
	不満	0	0.0%	
	大変不満	0	0.0%	
	無回答	0	0.0%	
	計	34	100.0%	

《利用者調査全体の評価機関のコメント》

・事業所のサービスに対する総合的な満足度で、大変満足又は満足を合計した肯定的回答数は、34名中33名でした。
その他、どちらともいえない1名でした。

・事業所の良い点として「ヘルパーの方々が大変親切」「台風等の悪天候時、訪問について何度も電話連絡くださる等、気にかけて対応してくれました」「話を良く聞いてくれる」「要望に対して迅速に対応していただきました」等がありました。

・その他、ヘルパー変更時の連絡等に関する要望がありました。

事業者が特に力を入れている取り組み①

評価項目	6-1-1	利用希望者等に対してサービスの情報を提供している。
タイトル①	「依頼があれば断らない」事を念頭にした事業所運営に力を入れています	
内容①	法人として「地域の中でのワンストップでのサービス提供＝響会方程式」や「多機能型居宅介護」を事業コンセプトとして明確に掲げています。例えば、このコンセプトに基づく事業所内での情報共有・意見交換の為に会議を増強する等、日々その体現に努めています。また、空き時間等があった場合は、適宜、近隣の居宅介護支援事業所や地域包括支援センターへ空き情報の詳細を配信する等、「依頼があれば断らない」事を念頭に運営しており、登録者数・稼働率ともに高い数値を維持しています。力を入れた取り組みとして、高く評価できます。	

事業者が特に力を入れている取り組み②

評価項目	6-3-4	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有している。
タイトル②	モニタリングを丁寧に行い、利用者の現状に即した支援に努めています	
	サービス提供責任者は、ヘルパーの支援記録や報告を受け、モニタリング記録に落とし込んでいます。利用者の実情を踏まえ、支援の見直しを要する場合は指示書の修正を行います。サービス提供責任者や担当者等の関係職員で逐一情報共有し、利用者に最適となるサービスの提供に努めています。事業所職員間の密なコミュニケーションが、柔軟で迅速な利用者支援に反映されています。職員が複数で話し合い、質の高いサービス提供の維持に力を入れて取り組んでいます。	

事業者が特に力を入れている取り組み③

評価項目	利用者保護(3)	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる。
タイトル③	利用者・職員の安心・安全の維持に力を入れています	
内容③	事前に台風等の悪天候が予想される場合は、利用者の安否確認や食事の備え等、利用者の生活が継続できるように、特に注意喚起・連絡を密にするようにしており、細やかな配慮には好感が持てます。利用者調査では、「台風等の際に、訪問について何度も電話連絡をくださる等、気にかけて対応してくれました」等の好評もあがっています。また、職員の安全にも配慮し、安全に訪問できるか否かを見極めつつ訪問時間等を調整するようにしています。特に力を入れた取り組みとして、高く評価できます。	

特に良いと思う点	
タイトル	事業コンセプトである「多機能型居宅介護」の実現に努めています
内容	法人として「地域の中でのワンストップでのサービス提供＝響会方程式」や「多機能型居宅介護」を事業コンセプトとして前面に押し出した事業運営に努めています。例えば、訪問介護職員が併設されているデイサービスの職員を兼務する事ができるな体制にしています。利用者調査では、例えば、デイサービスとの連携についての好評もあがっています。また、利用者が長期入院や体調不良等になった場合は、ケアマネと情報共有を密にしたり、場合によっては自宅等を訪問し、利用が途切れないように努めています。特に良い点として、高く評価できます。
タイトル	利用者からは、「愛想が良い」、「対応が早い」等の好評や高い満足度が示されています
内容	第三者評価・利用者調査における総合的な満足度は、回答者のほぼ100%が「大変満足・満足」と回答しており、高い満足度を得ています。例えば、「ヘルパーの方々が大変親切」、「家族の話をよく聞いてくれる」、「手際が良い」等の好評が多々あがっています。できるだけ断らない方針、職員の笑顔、事業所内外での密な情報共有、安全・安心感への高い意識等、職員の使命感・専門性・継続性が利用者・家族の信頼・高い満足度に繋がっている事と推察されます。特に良い点として、高く評価できます。
タイトル	地域の定期巡回サービスの一翼を担い、終末期ケアへの対応も可能となっています
内容	定期巡回サービスの一部委託の支援開始以降、時間枠内を最大限活かせるようになり、支援力やマネジメント力が培われています。また、好日苑のヘルパーは、特養やデイサービス等での勤務経験者が多く、重度者介護の専門的な介護知識・技術を有している事から、在宅での中重度利用者や終末期利用者のケアへの対応が可能となっています。在宅生活を継続する利用者が馴染みの職員との関係性を保ち、終末期まで途切れのない支援を受けられる仕組みが形成されてきており、特に良い点として高く評価できます。
さらなる改善が望まれる点	
タイトル	マニュアル類の再整理等に期待します
内容	事業所内で基準となる「心構え・保険制度上の業務の流れ・出退勤のルール」等が「ヘルパーステーションとして守っていただくこと」として取りまとめられています。例えば、ユニフォームの洗濯、ロッカー・電動自転車の使い方、社内での届け出等の庶務的な情報も記載されており、職員として必須の知識が網羅されています。今後もこれらのマニュアルの活用を継続するにあたり、重複部分の解消・改訂等に取り組む事を期待します。
タイトル	モニタリング訪問の充実を期待します
内容	サービス提供責任者が利用者宅を訪問し、担当者の支援を現場で確認するプロセスは、利用者の権利擁護や適切なサービス提供において重要です。好日苑のヘルパーステーションが他事業所と差別化を図り、利用者の自立生活の継続を支え、支援の質を保つ上で、モニタリング訪問は最も効果的な手段と考えられます。好日苑多機能型居宅介護への展開の中で、サービス提供責任者が安定的にモニタリング訪問を行えるような人員配置・業務分担・業務のスマート化／スリム化等に期待します。
タイトル	響会方程式と重なり合うようなICT活用のさらなる推進に期待します
内容	居宅介護・訪問介護・デイサービス・ショートステイ・特養と、地域に根付いてワンストップでサービスを提供できる「大規模多機能型事業所」・「響会方程式」のコンセプトによる事業展開が、日々拡充されています。この方向性に基づき、「響会方程式」と重なり合うような新規介護支援ソフトの活用には、さらなる改善・向上の余地があると思います。例えば、スマート化の目標に基づき、特にケアマネジメント領域における帳票の統一電子化による共有等に期待します。

《評価機関》

一般社団法人

特養ホームマネジメント研究所

好日苑ケアプランセンター

「とうきょう福祉ナビゲーション」

<http://www.fukunavi.or.jp>

	聞き取り	アンケート
調査対象者数		170
有効回答者数		132
総数に対する回答者割合		78%

《利用者調査結果》

共通評価項目	実数				
	「はい」%	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. ケアプラン立案時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	99%	131	1	0	0
2. ケアプランについての説明は、わかりやすいか	94%	124	8	0	0
3. サービス内容は、利用者の要望が反映されているか	91%	120	12	0	0
4. ケアマネジャーの接遇・態度は適切か	98%	130	2	0	0
5. 病気やけがをした際のケアマネジャーの対応は信頼できるか	89%	118	5	0	9
6. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	98%	129	3	0	0
7. 利用者のプライバシーは守られているか	95%	125	6	0	1
8. サービスの内容や計画に関するケアマネジャーの説明は分かりやすいか	96%	127	5	0	0
9. 利用者の不満や要望は対応されているか	93%	123	5	0	4
11. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	74%	98	18	1	15

《総合的な感想について》

(1) 事業所のサービスに対する総合的な満足度	大変満足	85	64.4%	93.9%
	満足	39	29.5%	
	どちらともいえない	2	1.5%	
	不満	0	0.0%	
	大変不満	0	0.0%	
	無回答	6	4.5%	
	計	132	100.0%	

《利用者調査全体の評価機関のコメント》

・事業所のサービスに対する総合的な満足度で、大変満足又は満足を合計した肯定的回答数は、132名中124名でした。その他、どちらともいえない2名、無回答6名でした。

・事業所の良い点として「いつも親身になって対応していただき感謝しかありません」「すぐに対応していただける」「何でも相談した事は、きちんと答えてくれる」「いつも明るく接してくださるので元気をもらっています」「相談しやすく話しやすいです」等がありました。

・その他、連絡方法等に関する要望がありました。

事業者が特に力を入れている取り組み①

評価項目	6-1-1	利用希望者等に対してサービスの情報の提供をしている。
タイトル①	「好日苑多機能型居宅介護」に、力を入れて取り組んでいます	
内容①	「好日苑多機能型居宅介護」として利用者の状態に応じたサービスを居宅介護支援・訪問介護・デイサービス・ショートステイの馴染みのある職員が横断的・一体的に提供しています。また、所内会議の充実や、積極的な利用者受け入れと共に、法人内の連携が何よりの強みで、「安心と暖かさ」の理念の体現に励んでいます。地域の方の困り事に幅広く対応し、何とか力になりたいと手を差し伸べ、長い目で途絶えず経過を追っています。利用者・家族にとって、大きな安心に繋がる支援に力を入れて取り組んでいます。	

事業者が特に力を入れている取り組み②

評価項目	6-2-1	サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている。
タイトル②	必要時にフォローし合える2名体制の構築等、組織力向上に力を入れています	
内容②	新規相談や退院等のケースでは、管理者と担当者の2名体制でアセスメントを実施しています。2名体制を取る事で、新たな気付きや考え方を共有し、様々な議論を通じて学びが深まる等のメリットがあります。同時に、緊急時等にも迅速な対応が取りやすく、協力体制の強化に繋がっています。また、困難ケースの場合には、担当者の他に、管理者が絶えずフォローする体制が確立されています。さらに、法人力を最大限に活かした事業所活動を行う事により、地域における居宅の中心的な役割を担い、組織力の向上に力を入れて取り組んでいます。	

事業者が特に力を入れている取り組み③

評価項目	6-4-2	一人ひとりの居宅サービス計画は、利用者本人や家族の希望と関係者の意見を取り入れて作成している。
タイトル③	事業所内外のケアマネと情報共有し、地域の見守り強化に力を入れています	
内容③	地域でのケアマネジメントの質の向上と専門職による連携を促進する為の取り組みが行われています。例えば、事業所の所在する地域のケアマネの連絡会が年3回開催され、事業所の管理者は連絡会の開催に関わり、内容の立案や調整に尽力しています。この会議では、専門職間の情報共有や交流機会の場として活用される他に、精神障害、ヤングケアラー、特殊詐欺等の勉強会も行われており、地域の課題に応じた情報が広く共有されています。地域を見守る目の強化にも努めており、力を入れた取り組みとして、高く評価できます。	

特に良いと思う点	
タイトル	利用者・家族からは、高い満足度が示されています
内容	利用者調査の結果からは、職員への満足度の高さがうかがえると同時に、日頃の支援に対する感謝のコメントが散見されます。総合満足度では、「大変満足・満足」の回答率が、前回92%・今回94%と向上しています。特に評価されているのは、「親身になってくれる」、「よく話を聞いてくれる」、「とても丁寧」という姿勢や人柄的な部分と、「何でもきちんと答えてくれる」、「すぐに対応してくれる」、「具体的に提案してくれる」等、知識への納得性です。利用者・家族から絶大な信頼を得た、満足度の高い支援は、特に良い点として高く評価できます。
タイトル	職員間では、日常的・小まめな情報共有やフォロー体制が確立されています
内容	週1回のCPC会議、月1回の居宅会議、隔週の好日苑多機能型居宅会議等で情報共有をしています。また、会議以外でも、いつでも皆が揃えば意見交換が行え、必要事項の伝達・共有・相談が可能な環境となっています。誰かが浮かない表情をしていれば、声を掛け合ったり、さりげない支え合いが日常的に行われています。また、新規・退居・退院等は職員2名体制で関わっており、利用者だけでなく職員にとっても安心や心強さ、スキルアップに繋がっています。職員間の小まめな情報共有やフォロー体制は、特に良い点として、高く評価できます。
タイトル	利用者への権利擁護の意識を持ち、適切な調整に努めています
内容	相反する意向に対して、利用者や家族の生命や権利が侵害されていないかを優先して調整する方針を示しています。例えば、支援内容等で利用者と家族等の意向が異なる場合、担当のケアマネは双方の意見に耳を傾け、適切な調整に努めています。一例として、活動量が少なくリハビリ等を拒否している利用者に対しては、現在の生活から生じる心身機能への弊害や同居する家族の影響等、客観的な事実を説明する事で利用者・家族の判断を促しています。利用者の権利を擁護する者として、強い意識を持ち支援に努めています。特に良い点として、高く評価できます。
さらなる改善が望まれる点	
タイトル	次世代の育成、知識や経験の継承に期待します
内容	現在の職員配置は主任ケアマネ2名、常勤2名の計4名です。入退職は近年なく、平均在職年数は14.5年とベテラン揃いです。利用者・家族からの評判も良く、環境の良さや安定した事業運営がうかがえます。しかし、健全な運営がなされている一方、課題も感じられます。管理者からも、「資格を取り直ぐにできるものではないので、バトンを繋いで行きたい」との話があり、理念・方針にも「人材の育成」が掲げられています。特定事業所加算Iの新規算定も視野に、新たな職員を育て、知識や経験を後継者に伝える事で、事業所のさらなる強化に期待します。
タイトル	響会方程式と重なり合うようなICT活用のさらなる推進に期待します
内容	居宅介護・訪問介護・デイサービス・ショートステイ・特養と、地域に根付いてワンストップでサービスを提供できる「大規模多機能型事業所」・「響会方程式」のコンセプトによる事業展開が、日々拡充されています。この方向性に基づき、「響会方程式」と重なり合うような新規介護支援ソフトの活用には、さらなる改善・向上の余地があると思います。例えば、スマート化の目標に基づき、特にケアマネジメント領域における帳票の統一・電子化による共有等に期待します。
タイトル	高いレベルのケアマネジメントが実践される一方で、業務改善の余地があります
内容	利用者の状態や要望の変化を把握し、ケアプランの見直し・更新が行われています。ケアマネジメントのプロセスは高いレベルで実践され、利用者調査においても高い評価を得ています。一方で、区分変更等の対応や担当ケース数の増加等により、業務負担が増えています。その影響で、医療連携が行われているにも関わらず、事務作業的な時間確保の問題により加算の算定には至っていません。業務量は増加していますが、対応方法は従前と変わらないようです。今後は、例えば、業務棚卸しによる業務内容の選別を進める等、業務改善の検討に期待します。

包括部門

令和6年度は、「複合課題」「分野を超えた課題」が日常的に表出する中、「重層的支援会議」「支援会議」「地域ケア会議」等を行い、多機関・多職種連携を図り、個別支援を行いました。利用者・地域の支援体制強化として、高齢者分野のみではなく、他分野との連携活動を積極的に行いました。若者から高齢者まで対象とし相談内容を絞らない相談会「まちかど相談室」を継続、社会福祉法人協議会「おおた福祉ネット」との協働、小学校などへ啓発活動、障害者施設等との連携など、様々な活動を行うことで「支援と共生の地域づくり」「大田区版地域共生社会」の実現に努めました。

また、「馬込」「南馬込」は受託5年目となり、「大田区地域包括支援センター及びシニアステーション業務委託事業者評価選定」を受けました。結果、評価結果A 評定良の評価を得ました。引き続き、地域の方々に信頼される地域包括支援センター及びシニアステーションとなるよう、事業運営に努めてまいります。

I 大田区地域包括支援センター上池台／嶺町／六郷／西六郷／馬込／南馬込

1. 総合相談支援業務

相談件数は、昨年度と比べ大きな変化はありませんでしたが、「南馬込」においては、令和6年度より山王地区の一部を担うエリア拡大となったため、総数増となりました。介護保険制度、福祉サービスの利用についての相談が主となりますが、家族問題・虐待・金銭問題・近隣トラブルなど、相談内容・課題は多岐に渡り対応しました。

また、世帯として複雑・複合課題を抱えるケースについては、重層的支援会議等に提案・参加し、重層的支援会議に該当しないケースは、ケース会議として行政・関係機関等とミーティングを重ね、共に課題解決に取り組みました。

【相談件数】

	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
相談件数 総数	15,058	6,192	15,125	7,768	7,544	9,626
総数のうち新規	571	243	687	393	315	340
総数のうち来所	1,752	1,718	3,752	1,368	1,331	1,394
総数のうち電話	10,263	3,579	9,133	5,292	4,841	6,481
総数のうち訪問	1,694	619	1,821	926	688	693
総数のうちその他	1,349	276	419	182	684	718

【重層的支援会議等参加回数】

	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
重層的支援会議	1	0	1	0	3	3
支援会議	0	3	2	2	0	0

【参考：センター管内高齢者人口等】

令和7年1月1日現在	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
エリア内高齢者人口	12,818	5,650	11,771	5,007	5,485	6,049
エリア内総人口	61,823	26,395	68,021		57,344	
エリア内高齢化率	20.7%	21.4%	24.7%		19.5%	

2. 権利擁護、虐待の早期発見・防止

権利擁護に関する相談件数は、各センターとも虐待に関する相談件数が多い状況でした。地域福祉課・担当の介護支援専門員やサービス事業所等と協力し対応を行いました。権利擁護に関わる相談については各センターとも増加し、身寄りが無い・親族の協力が得られない高齢者の対応が増えていると考えます。権利擁護事業・法律相談を活用し、成年後見センター、消費者センター、司法書士会・弁護士会、行政、介護保険事業所等と協力し対応しました。消費者被害対策としては、防犯ステッカーの配布を積極的に行い注意喚起に努めました。

虐待、消費者被害、権利擁護に関する相談は、知識・スキルとも高い相談援助技術が求められますが、職員のスキルアップを行い、利用者の安心した暮らしが確保できるよう支援を行いました。

【権利擁護等に関する相談件数】

	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
虐待に関する相談	105	90	205	285	85	75
消費者被害に関する相談	36	49	42	27	12	45
権利擁護に関する相談	713	132	563	249	209	305

3. 認知症高齢者支援

認知症高齢者支援として、情報提供、医療やサービスにつなげる相談支援を行いました。認知症の方の一人暮らし、老々介護などについては、訪問を重ね、関係機関と協力し、丁寧な支援に努めました。また、認知症の正しい理解を地域に広める活動として「認知症サポーター養成講座」を実施しました。更に、認知症サポーターステップアップ研修を開催し、地域で認知症の方とその家族を支える体制構築となる「チームオレンジ」を発足させました。引き続き「チームオレンジ」の充実に努めていきます。「認知症カフェ」も継続開催し、認知症の当事者と地域の方とが集う場づくりに努めました。

【認知症に関する相談/認知症サポーター養成講座等の開催数】

	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
認知症に関する相談件数	1,159	668	827	787	553	244
認知症初期集中支援チーム員事業 相談件数	0	0	2	0	0	0
認知症サポーター養成講座開催数／延べ参加者数	2回/28名	3回/39名	2回/41名	1回/6名	4回/40名	4回/50名
認知症サポーターステップアップ研修／延べ参加者数	2回/74名		2回/44名		1回/16名	

【認知症カフェ開催状況】

	上池台 オレンジカフェ 上池台和の輪	嶺町 オレンジカフェ嶺 町スタイル	六郷 笑顔の会 (六郷)	西六郷 ぷらっとカフェ (西六郷)	馬込 オレンジカフェ馬 込	南馬込 オレンジ café 南馬込 みんなの広 場 (南馬込)
開催数	12 回	10 回	12 回	12 回	12 回	10 回
延べ 参加者数	130 名	60 名	153 名	169 名	124 名	25 名

〔上池台：オレンジカフェ上池台和の輪〕 〔嶺町：ステップアップ講座〕 〔西六郷：ぷらっとカフェ〕



〔馬込：オレンジカフェ馬込〕

〔南馬込：南馬込みんなの広場〕



4. 介護予防支援事業

介護予防給付・介護予防ケアマネジメントにおいては、コロナ禍の要介護認定延長措置の終了と共に、要支援認定の方が増加し、予防プラン増となりました。令和6年度より、居宅介護支援事業所が要支援者と直接契約することが可能となりましたが、その影響は感じられず、各センターとも、地域の居宅介護支援事業所との連携を図り、委託割合 90%以上に維持することができました。

【介護予防給付・介護予防ケアマネジメント数】

	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
年間給付総数	3,635	1,647	3,793	1,668	1,639	2,108
総数のうち包括作成	111	104	15	0	121	82
総数のうち委託作成	3,524	1,543	3,778	1,668	1,518	2,026
年間委託割合	96.9%	93.7%	99.6%	100%	92.6%	96.1%
総数のうち新規	160	65	173	92	54	107
総数のうち廃止	140	55	127	47	67	45
総合事業サービス終了者数	5	0	1	0	1	0

5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援

介護支援専門員からの相談内容は、困難ケース、虐待対応ケースの支援が主になっています。ケース会議を設けるなどし、介護支援専門員と関係機関との連携を図りました。

地域の介護支援専門員への支援として、情報提供・勉強会・地域等との連携の機会を設ける場として連絡会を行いました。居宅介護支援事業所同志の集まり等にも参加し、講義を務める、情報提供を行う等の活動も行いました。また、民生委員と介護支援専門員との懇談会を開催し、包括的・継続的ケアマネジメントの体制構築に努めました。

【介護支援専門員支援件数】

上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
1,072	804	1,047	388	958	246

【介護支援専門員との連絡会】

	上池台 雪谷・上池けあまねっと	六郷・西六郷 六郷地区介護支援専門員連絡会	馬込・南馬込 ケアマネカフェまごめ
開催数	2	4回	4回
延べ参加者数	41名	147名	63名

〔雪谷・上池けあまねっと〕



〔六郷地区介護支援専門員連絡会〕



〔ケアマネカフェまごめ〕



6. 高齢者見守りネットワークの充実

高齢者見守り事業の要となる「見守りキーホルダー」の登録・更新を進めてまいりました。コロナ禍が明けたため、出張登録会を積極的に行えるようになりました。照会件数が年々増えていることから、普及が進み活用され成果があらわれていると考えます。

また、地域の高齢者の見守りとして、実態把握事業を行いました。各センターとも電話や訪問にて実施、地域包括支援センターや高齢福祉サービスの周知、アンケートを行い地域課題の把握に努めました。

地域活動は、地域の関係機関と連携し、フレイル予防、自主グループ支援、介護家族支援など、様々な事業に取り組みました。自治会・町会、民生委員児童委員協議会、地域団体、出張所、医療機関等、多くの関係機関と連携し事業を行うことで、高齢者を見守りネットワーク構築を進めることができました。

【見守りキーホルダー事業】

	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
見守りキーホルダー新規登録	411	158	291	203	160	175
見守りキーホルダー更新登録	523	162	628	399	287	342
見守りキーホルダー照会件数	17	8	45	21	6	7
出張登録会	8 回	1 回	5 回	4 回	4 回	4 回

【高齢者実態把握事業】

上池台	「生きいきレポート」	
	対象者 98 名	令和元年度（平成 31 年度以降に見守りキーホルダー更新がなされていない方を抽出。）
	把握実績 82 名	未把握状態にある総数 34 ケースのうち、の 47%が終了ケースになっており比較的、多くの高齢者が在宅での生活に困難をきたしている事が窺える。
嶺町	「笑顔で訪問 2024」	
	対象者 40 名	一人暮らし高齢者対象名簿より、70 歳未満で生活保護受給及び介護サービス利用を受けていない高齢者。
	訪問実績 17 名	事前に案内状を郵送し後日電話アンケートを実施。了承が得られた方には訪問を実施した。電話アンケート実施者は 30 名、訪問実施者は 17 名。実態把握の過程で支援が必要な場合には適切な制度等につなげた。介護保険申請 1 件、高齢者見守りキーホルダー登録 1 件、再発行 1 件、その他、シニアステーション東嶺町の活動案内や自動通話録音機の説明を実施した。
	「嶺町地区避難行動要援護者名簿登録者訪問」	
	対象者 39 名	避難行動要援護者名簿登録者のうち、浸水想定地域(田園調布本町 25～35、田園調布南 1～23)を対象とし、民生委員及び自治会・町会、包括の 3 者で訪問を実施。高齢者、身体障害者(児)、知的障害者(児)問わず、生活状況や避難行動の確認などを聞き取り、対象者の実態把握を行った。
六郷	訪問実績 19 名	聞き取りにて、車いすで避難する事となるがトイレなど心配がある。ペットがいるがどうすれば良いか不安など様々な意見を把握することが出来た。また、民生委員からは、訪問により一人暮らしの方など接点を持てて良かったと意見がある。
	「高齢者熱中症予防事業」	
	対象者 区民	今年度は個別訪問を行わず、5 月から 9 月にかけて窓口やグループ活動での講座で中院喚起した。5 月～9 月訪問時に熱中症注意喚起と OS1 配布。
	把握実績 224 名	窓口では 1 6 4 名の方にチラシを用いて熱中症を注意喚起した。たんぽぽの会（自主グループ）12 名、東六郷いこいの家 33 名、笑顔の会 15 名を対象に熱中症予防セミナー開催した。
	「未把握ひとり暮らし・高齢者のみ世帯訪問」	
	対象者 一人暮らし 9 名 高齢者世帯 12 名	1986 年築 総戸数 216 戸の高齢化している大規模マンション「ルネ蒲田」に住む未把握高齢者をターゲットとし、マンション集会室で見守りキーホルダー登録会を実施。事前案内に対し来場がなかった世帯に個別訪問した。

	把握実績 ひとり暮らし5名 高齢者世帯4世帯8名	キーホルダー登録会にて新規登録：4名 訪問にて新規登録：3名 家族が対応した：4名 訪問時不在4名 対象者のうち42%が見守りキーホルダー登録に繋がった。
西六郷	「西六郷ひとり暮らし高齢者電話・訪問」	
	対象者 一人暮らし11名 高齢世帯14名	未把握ひとり暮らし高齢者名簿から86歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯のうち、包括西六郷とつながりのない高齢者25名。
	把握実績 一人暮らし8名 高齢世帯11名	事前資料を郵送後、訪問または電話でアンケートを実施した。近所とのつながりや健康への関心、風水害の避難先や栄養への関心について聞き取った。見守りキーホルダーやひとり暮らし登録の勧奨を行った。聞き取りができた高齢者は19名であった。
馬込	「まごめレポート」2024 馬込	
	対象者 94名	対象者・ヒアリングシートは、馬込・南馬込で統一して実施。「未把握ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯一覧表」より 1. 80～84歳で見守りキーホルダー未登録、包括に相談履歴なし、R5年度大森地区見守りKH一斉登録会にて郵送でKH登録勧奨していない 2. 重層的支援情報共有システムにて、ケアマネジャー登録なし（介護認定のみは対象） 3. 1.2に該当する高齢者の配偶者で年齢以外の要件に該当するもの 上記1, 2, 3を抽出後一斉郵送しその後電話や訪問による実態把握、アンケート（まごめレポート）実施。
	把握実績 16名	アンケート内容：見守りキーホルダーの希望、フレイル予防・シニアステーションの必要性、包括周知、困りごとの相談先有無、緊急連絡先の有無等質問より、対象者の孤立や支援の必要性を把握し、希望者へ包括、シニアSTの案内送付しその後の見守りにつなげた。
南馬込	「まごめレポート」2024 南馬込	
	対象者 181名	対象者・ヒアリングシートは、馬込・南馬込で統一して実施。「未把握ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯一覧表」より 1. 80～84歳で見守りキーホルダー未登録、包括に相談履歴なし、R5年度大森地区見守りKH一斉登録会にて郵送でKH登録勧奨していない 2. 重層的支援情報共有システムにて、ケアマネジャー登録なし（介護認定のみは対象） 3. 1.2に該当する高齢者の配偶者で年齢以外の要件に該当するもの 上記1, 2, 3を抽出後一斉郵送しその後電話や訪問による実態把握、アンケート（まごめレポート）実施。
	把握実績 16名	アンケート内容：見守りキーホルダーの希望、フレイル予防・シニアステーションの必要性、包括周知、困りごとの相談先有無、緊急連絡先の有無等質問より、対象者の孤立や支援の必要性を把握し、希望者へ包括、シニアSTの案内送付しその後の見守りにつなげた。

【地域講座等（区民／事業者向け）】

	開催日	内容	参加人数
上池台	5/20	シニアレッスン「聞こえのお話」「音楽アンサンブル演奏	15名
	6/3	池の台自治会「スマホ相談会&見守り KH 登録会」	12名
	6/12	雪谷石川台自治会「熱中症予防講座&見守り KH 登録会」	11名
	6/17	シニアオープンカレッジ「熱中症予防講座」	14名
	6/24	雪谷ほっとスマホステーション 生活リハビリテーション講座 「熱中症からカラダを守ろう&スロートレーニング」	39名
	6/24	雪谷特別出張所「スマホ相談会&見守り KH 登録会」	16名
	7/27	小池シニアクラブ 「いきいき体操」	13名
	8/22	洗足区民センター「いきいき健康相談会」 見守り KH 登録会、福祉用具展示、聞こえの相談会	24名
	8/19	シニアレッスン「介護は突然やってくる/こころおどる音楽を」	11名
	8/28	雪谷けあまねっと「他の CM に聞いてみたい事」	21名
	9/11	小池小学校「高齢者体験」（カラーズ）白杖・車いす体験コース 4年生対象 4時間枠	120名
	10/1	シニアオープンカレッジ「ビューティーセミナー」	19名
	10/10	笹丸自治会 年配者の会 「ピラティス」	15名
	10/11	雪谷小学校「高齢者福祉体験授業」（フランスベッド） 車いす体験、高齢者疑似体験 4年生対象 2時間枠	119名
	10/28	雪谷ほっとスマホステーション 生活リハビリテーション講座 「今こそ災害に打ち勝つ！ プロが教える知識と体操」	14名
	11/18	シニアオープンカレッジ 「終活セミナー」	15名
	11/18	シニアレッスン「災害時のトイレについて」「雑歌屋演奏」	19名
	11/22	雪谷地域包括ケアの会「セルフネグレクト状態にある人への支援」	54名
	1/18	洗足池マンション防災サロン 見守り KH 登録会、防災の話	11名
	2/17	シニアオープンカレッジ 「認知症について備えよう」荏原病院	17名
嶺町	2/27	雪谷けあまねっと「CMが知っておくべき災害対策」	20名
	3/16	洗足区民センター「さくらフェスティバル」 見守り KH 登録会、福祉用具展示会、歩行バランス測定	102名
	3/17	シニアレッスン「エンディングノート」「こころ踊る音楽を」	14名
	3/28	雪谷ほっとスマホステーション「生活リハビリテーション講座」 「大田区の災害時医療 災害時の体操」	18名
	4/11	元気維持事業「栄養の話と在宅医療のすすめ」	13名
	4/18	元気維持事業「自宅でできるトレーニング」	16名
	4/20	元気維持事業「年金のお話」	16名
	4/30	元気維持事業「怖くない！放射線の仕組みと医療機器」	20名
	5/9	元気維持事業「フレイル予防」	12名
	5/10	元気維持事業「災害時のトイレと防災アプリ」	16名
	5/21	元気維持事業「目の症状とセルフチェック」	20名
	6/14	元気維持事業「防災アプリの使い方(初級編)」	17名
	6/17	元気維持事業「自宅介護に不安を感じたら」	10名
	6/20	元気維持事業「歩行能力測定会」	15名
	6/27	元気維持事業「熱中症予防」	15名

嶺町	7/4	元気維持事業「フレイル予防実践編」	15名
	7/5	元気維持事業「口から始める健康講座」	17名
	7/12	元気維持事業「防災アプリの使い方(実践編)」	11名
	7/18	元気維持事業「身も心もすっきり！ヒーリング体操」	16名
	7/25	元気維持事業「熱中症予防講座」	8名
	7/30	元気維持事業「ABI で血管年齢を調べよう」	15名
	8/8	元気維持事業「熱中症について」	14名
	8/15	元気維持事業「膝痛予防」	17名
	8/17	元気維持事業「薬剤師の話」	10名
	8/20	元気維持事業「高齢者と交通安全集会」	10名
	9/3	元気維持事業「認知症予防」	16名
	9/6	元気維持事業「生前整理」	18名
	9/19	元気維持事業「ヒーリング体操」	10名
	9/20	元気維持事業「コグニサイズ」	17名
	10/4	元気維持事業「介護保険って何？」	20名
	10/5	元気維持事業「人生会議」	12名
	10/11	元気維持事業「一緒に話そう！大切なこと」	10名
	10/17	元気維持事業「腰痛予防」	11名
	10/29	元気維持事業「高齢者と糖尿病について」	17名
	11/1	元気維持事業「ふたつのそうぞく」	15名
	11/7	元気維持事業「巡回啓発消費者講座」	15名
	11/21	元気維持事業「お口の健康」	16名
	11/22	元気維持事業「大切な栄養」	15名
	11/28	元気維持事業「骨と歩き方」	24名
	12/16	元気維持事業「長生きする価値」	25名
	1/7	元気維持事業「MY ライフ&エンディング」	19名
	1/16	元気維持事業「危険予知トレーニング」	17名
	1/23	元気維持事業「MY 足ケア」	19名
	1/23	元気維持事業「バイエ医薬品でどんなもの？」	12名
	2/7	元気維持事業「皮膚ケアセルフ」	25名
	2/14	元気維持事業「防災アプリ」	16名
	2/15	元気維持事業「認知症サポーター養成講座」	15名
	2/20	元気維持事業「転倒予防」	19名
	2/27	元気維持事業「内視鏡検査」	13名
	3/4	元気維持事業「くらしに役立つ睡眠と健康の知恵袋」	22名
	3/13	元気維持事業「デトックスで身体きれい」	14名
	3/18	元気維持事業「AED の使い方」	10名
	9/6	嶺福寿会「熱中症予防注意喚起」	20名
	4/30	エリア内居宅支援事業所「ヤングケアラーについて」講義	8名
	7/16	自主民協 事例検討	18名
	12/13	まちかど相談室	10名
	1/24	シルバー人材 調布地区合同会員懇談会	40名
	1/27	みたけクラブ「介護予防等健康生活習慣について」	20名
	3/12	ヘーベール village シニア住宅	4名

六郷 西六郷 協働	6/22	六郷学び舎「生活習慣病のリスクを予防！！」簡単実践！食生活改善のコツ ～人生 100 年時代を応援するライフスタイルと食生活のご提案～	41 名
	9/21	六郷学び舎「災害時の備えを医療の側面から考えよう！」 六郷で自然災害が起きたらどうなる？	37 名
	12/14	六郷学び舎「聞こえと補聴器」のお話 難聴は認知症の危険因子！ 早期発見、早期対処でフレイル予防	24 名
	3/8	六郷学び舎「意外と知らない医療費のはなし」 ～病院にかかった時につかえる制度 実は色々あるんです～	45 名
	6/27	六郷図書館「いろいろ食べてフレイル予防」 ～梅雨を乗り切る食生活～	14 名
	9/24	六郷図書館「社会参加でフレイル予防」	5 名
	12/13	六郷図書館「身体を動かしてフレイル予防」	14 名
	3/17	六郷図書館「お口のフレイル予防に関する講義・実習」	9 名
	11/29	まちかど相談室	11 件
六郷	9/11	トミンハイム南六郷二丁目住宅「たちよりカフェ」	14 名
	10/29	東京都スマホ普及支援事業「スマホ体験会」	16 名
	1/15	トミンハイム南六郷二丁目住宅「たちよりカフェ」	27 名
	2/13	南六郷 2 丁目 UR 合同企画	21 名
	2/17	絆サポーター連絡会	9 名
西六郷	5/17	西六元気で GO！「フレイル予防体操」	18 名
	7/19	西六元気で GO！「フレイル予防体操、チェアヨガ」	14 名
	9/20	西六元気で GO！「フレイル予防体操」	15 名
	11/15	西六元気で GO！「フレイル予防体操、ボクササイズ」	12 名
	1/17	西六元気で GO！「フレイル予防体操、体力測定」	13 名
	2/13	西六元気で GO！特別編「フレイル予防体操」	20 名
	3/21	西六元気で GO！「フレイル予防体操」	15 名
	9/27	東京都スマホ普及支援事業（高畑町会会館）「スマホ相談会&KH 登録更新会」	2 名
	10/23	東京都スマホ普及支援事業（西六郷 2 丁目町会会館）「スマホ相談会&KH 登録更新会」	7 名
馬込 南馬込 協働	6/18	馬込学び舎「地域に生きる～地域包括支援センターの役割、まちかど保健室」	13 名
	3/18	馬込学び舎「地域包括支援センターってどんなところ？知っておきたい介護の備え」＋体力測定会	10 名
馬込	7/24	シニアステーション馬込「遺言と相続」	28 名
	11/19	シニアステーション馬込「葬儀とお墓」	28 名
	5/24・ 6/28・12/6	チームまごの手活動「お役立ちガイド製本、資料セット」	31 名
	11/25・ 12/19・ 2/13・3/13	チームまごの手活動「中馬込児童館折り紙」	8 名
	1/22	チームまごの手活動「体力測定会」	3 名
	1/25	チームまごの手活動「馬込図書館イベント」	2 名
	3/18	チームまごの手活動「体力測定会」	5 名

南馬込	4/10・24	南馬込健康塾「見守りキーホルダー、ゆうゆうクラブについて・フレイル予防体操」	34 名
	5/8・22	南馬込健康塾「熱中症予防について、口からはじめる健康講座案内・フレイル予防体操」	32 名
	6/12・26	南馬込健康塾「体力測定会案内・フレイル予防体操」	32 名
	7/10・24	南馬込健康塾「握力アップトレーニング紹介・フレイル予防体操」	19 名
	8/14・28	南馬込健康塾「敬老イベント案内・フレイル予防体操」	16 名
	9/11・25	南馬込健康塾「消費者被害について・フレイル予防体操」	18 名
	10/9・23	南馬込健康塾「秋の健康管理について・フレイル予防体操」	28 名
	11/13・27	南馬込健康塾「フレイル予防の食生活について・フレイル予防体操」	28 名
	12/11・25	南馬込健康塾「体力測定会案内・フレイル予防体操」	30 名
	1/8・22	南馬込健康塾「体力測定会案内・フレイル予防体操」	25 名
	2/12・26	南馬込健康塾「フレイル予防体操」	29 名
	3/12・26	南馬込健康塾「フレイル予防体操」	31 名

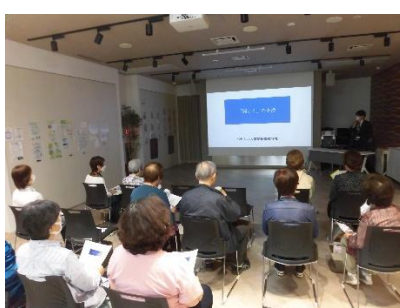
上池台

〔シニアオープンカレッジ〕



〔生活リハビリテーション講座〕

〔シニアレッスン〕



〔雪谷メンズサロン〕

〔上池台くるるの会〕



〔将丸シニア会〕



嶺町

〔嶺町文化センターまつり〕



〔女性のための骨盤体操〕



〔介護予防教室みのり会〕



六郷・西六郷

〔六郷学び舎〕



〔トミンハイムたちよりカフェ〕



〔南六郷 UR 団地合同企画〕



〔六郷地区まちかど相談室〕



〔東京都スマホ相談会〕

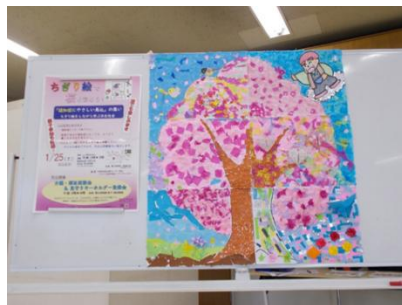


馬込・南馬込

〔馬込図書館イベント〕



〔馬込学び舎〕



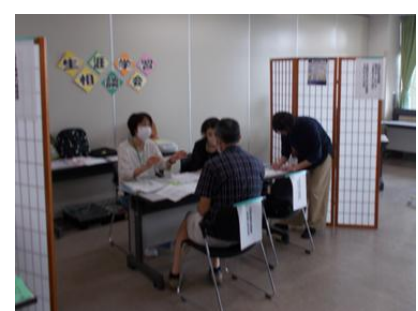
〔いきいきライフ〕



〔まちかど相談室〕



〔南馬込健康塾/体力測定会〕



〔認知症イベント大田文化の森〕



7. 地域包括ケアシステムの深化・推進

地域活動の参加、行政の会議など多くの場面を通して、地域の状況・課題把握を行い、その課題解決への取り組みとして、日常生活圏域レベル地域ケア会議を行いました。テーマは、「認知症の方の支援」「一人暮らし高齢者の支援」「医療との連携」「民生委員と介護支援専門員との連携」等を取り上げ、地域住民、関係機関と共に地域にある様々な課題解決に取り組んでまいりました。地域包括ケアシステムの深化・推進を図るための情報提供・意見交換を行いました。

【地域ケア会議開催回数】

	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
個別レベル会議	3	1	7	3	9	9

【日常生活圏域レベル地域ケア会議開催】

	開催日	内容	参加者数
上池台	9/5	「認知症高齢者の困りごと」 「認知症になっても安心して生活していくために」	49 名 (民生委員・福祉・介護・医療)
	10/15	「認知症高齢者の困りごと」 「認知症になっても安心して生活していくために」	51 名 (民生委員・福祉・介護・医療)
	11/22	「セルフネグレクト状態にある人への支援」	54 名 (福祉・介護・医療)
嶺町	R6. 7. 16	「身内からの協力が得られないケース」	25 名 (民生委員 17 名・福祉関係 8 名)
	R7. 2. 28	「若年性認知症について」	56 名 (福祉・介護・医療)
六郷・西六郷	R7. 3. 6	「六郷地域の高齢者の孤立を解消するために、私たちができること」	20 名 (自治会・町会、シニアクラブ、UR、J K K、民生委員、CM、出張所、地福、包括)
馬込・南馬込	R6. 11. 27	一人暮らし高齢者等の“地域の見守り”を考える ～それぞれの役割・活動を再認識し、意見を出し合うことで馬込地区の「地域福祉ネットワーク」の強化につなげたい ～	19 名 (民生委員 8 名、介護支援専門員 3 名、大森地域福祉課 2 名、特別出張所 2 名、包括 4 名)
	R7. 3. 21	～医療・介護・地域ネットワークの連携 etc～『まごめ地域連携の会』	18 名 (介護支援専門員 9 名、医療機関・薬局 4 名、包括 5 名)

【各種会議状況】

	会議名
行政 包括共通	大田区地域包括支援センター連絡会（内部検討会）
	地域福祉課管内地域包括支援センター連絡会（調布・蒲田・大森地区）
	地域福祉課管内見守りささえあいコーディネーター連絡会（調布・蒲田・大森地区）
	地域福祉課訪問指導事業従事者（看護職等）連絡会（調布・蒲田・大森地区）
	介護支援専門員連絡会運営委員会（調布・蒲田・大森地区）
地域	地域力推進会議
	民生委員児童委員協議会

【日常生活圏域レベル会議】〔上池台〕



〔六郷・西六郷〕



〔馬込・南馬込〕



〔嶺町〕



【地域活動】

	参加団体	支援内容
上池台	雪谷地区自治会連合会	活動支援・会議参加・講座実施等
	雪谷地区シニア会連合会	
	雪谷地区民生委員・児童委員協議会	
	上池台くるるの会	
	シニアオープンカレッジ	
	シニアレッスン	
	ほっとスマホステーション（雪谷ほっと会）	
	老いじたくセミナー	
	雪谷メンズサロン	
	小池小学校福祉体験授業	
	雪谷小学校福祉体験授業	
	おおた福祉ネット（法人協会）	
	洗足区民センター さくらフェスティバル／健康相談会	
	気晴らし会	
	介護家族会連絡会	地域の介護家族会の支援
	フレンズカフェ	
	あした会	介護予防教室の実施
	洗足区民センター運営協議会	運営会議支援
	荏原病院認知症疾患医療センター連携協議会／荏原病院認知症教室	関係各所との連携会議/活動支援
	大森十中避難所運営協議会	
	雪谷けあまねっと	関係各所との連携会議
	雪谷地域包括ケアの会	

嶺町	みねまちポールウォーク会	参加・活動支援
	嶺町地区学校防災活動拠点訓練	
	東邦大学 HOHO いえラボ ココシリワーカーの会	
	ケアマネグリーンカフェ	
	嶺町特別出張所自衛消防訓練	
	特定加算算定居宅支援事業所勉強会	
	嶺町文化センターまつり 健康相談会&守りキーホルダー登録会	
	くらし健康あんしんネット区民公開講座	参加・活動協力
	嶺町地区合同パトロール	嶺町特別出張所の事業参加協力
	嶺町地区 5 町会クイズラリー	
	みたけクラブ	活動協力
	調布地区法人協 フードパントリー	
	嶺町地区こども食堂	
	民生委員 生活福祉部会	
	生き生き安心プロジェクト	
	みのり会	介護予防教室の実施
六郷 西六郷 協働	ご縁ネット（南六郷 2 丁目町会）	活動支援・参加・講座実施等
	いきいき体操(六郷地区町会婦人部合同)	
	ポール de ウォーク松の楽校Ⅲ	
	仲六郷 2 丁目シルバーサロン	
	南六郷 2 丁目 UR 団地介護予防教室	
	待ってるよ～2020 西六	
	演芸大会（シニアクラブ）	
	六郷小学校福祉体験授業	
	高畑小福祉体験授業	
	高畑児童館高齢者体験会	
	みんなの居場所プロジェクト	
	おおた福祉ネット（法人協会）	
	東六郷いこいの家（熱中症予防啓発活動、KH 登録会）	
	梅ちゃんカフェ・梅ちゃん談話室	
	東六郷 1 丁目シニアクラブ	
	シルバーサロン六郷	
	パークハイツ多摩川	
	菊寿会（仲六郷 1 丁目シニアクラブ）	
	転倒予防教室フラミンゴ	
	六郷たんぽぽの会	
	六郷 男の居場所	
	さくら会	活動協力
	かるがる体操	
	ハイビスカスクラブ	
	きさらぎ会	
	リハデイ南六郷	

	六郷パソコン同好会	
	くらふとBOX	
	六郷ふれあいフェスタ	
	六郷文化センター祭り	
	グリーフカフェ・ガーベラ	
	介護家族会連絡会	地域の介護家族会の支援
馬込 南馬込 協働	まごめ医療連携懇談会	活動支援・参加・講義等
	ケアマネカフェまごめ	
	東馬込一丁目コミュニティづくり	
	ポール de ウォーク中馬込文士村・南馬込文士村楽校	
	馬込図書館	
	まごめ園	
	鳩友会	
	二本木町会「いきいきライフ」	
	認知症フェス（まちかど相談室）	
	馬込北自治会「第19回 柿の収穫祭」	
	みんな de ボッチャ@馬込分場	
	まごめ青春 café『リターンズ』	
	馬込東中学校	
	大森地区認知症イベント（まちかど相談室）	
	大森地区認知症イベント（大森地域見守り連携の会）	
	地域担い手検討部会@馬込特別出張所	地域連携・参加
	貝塚中学校防災拠点会議、防災訓練	
	馬込九町会合同防災訓練	
	馬込地区での外国籍住民のコミュニティづくり（ワールドカフェ）	
	介護家族会連絡会	地域の介護家族会の支援
	ケアラーの集い	

上池台

〔雪谷小学校福祉用具体験〕



〔小池小学校福祉用具体験〕



〔さくらフェスティバル〕



嶺町

〔嶺町地区まちかど相談室&幸せのおすそわけ会〕



六郷・西六郷

〔夏休みワクワク教室〕



〔六郷ふれあいフェスタ〕



馬込・南馬込

〔柿の収穫祭〕



〔みんな de ボッチャ馬込分場〕



〔大森地域見守り連携の会〕



Ⅱ 認知症支援コーディネーター事業

1. 認知症の疑いのある人の早期発見・診断・対応支援

「認知症支援コーディネーター事業」の相談実績は、新規 14 件、延べ 127 件、訪問支援件数 22 件と、前年度より増となりました。困難ケースが増えていることで、コーディネーターの支援回数が増えたと考えます。相談内容は、認知症の問題行動、受診拒否のケースの相談対応件数が倍増となり、例年通り家族支援が 69 件と最も多い相談となりました。また、経済問題とすまいに関わる相談が増えており、現状の困難ケース像を表しています。

認知症支援コーディネーターの役割として、認知症疾患医療センター(荏原病院)のアウトリーチ事業に繋げることに努めました。医師とのカンファレンス・医師の見立てがあることで、適確な判断・支援が行えるよう、区内地域包括支援センターのバックアップを行い、認知症の方を医療や必要なサービスに繋ぐ役割を果たしました。

【認知症支援コーディネーター事業 相談実績】

	年間数
認知症支援コーディネーターが受けた認知症の相談件数	14
初回相談件数	
相談延べ件数	127
認知症支援コーディネーターの訪問支援件数	22
訪問支援件数(実人数)	

相談内容別内訳	年間数
行動・心理症状（B P S D）	55
医療機関への受診・受療に関わる相談（未診断・受療拒否・身体的問題）	81
入院に関わる相談	13
生活機能障害	35
患者・家族の心理的サポート、ケア等に関わる相談（家族の介護負担含む）	69
介護保険（サービス）に関わる相談（介護サービス拒否含む）	19
福祉サービスに関わる相談	13
消費者トラブルに関わる相談	0
権利擁護に関わる援助（高齢者虐待に関することを含む）	36
経済問題に関わる援助	42
すまい（特養入所、都営住宅入居等）に関わる相談	36
介護予防に関する相談	3
その他	32

2. 認知症関連事業の支援

令和 5 年度に制定された「大田区チームオレンジ推進事業実施要綱」に基づき、認知症部会や認知症地域支援推進員連絡会等にて、大田区としてのチームオレンジの取り組みを進めました。大田区内 4 地区の橋渡し役となり、それぞれの取り組みを共有できるよう活動支援を行い、各地区でのチームオレンジの発足・充実に協力しました。

また、認知症サポーターステップアップ研修等を開催、大田区・知症疾患医療センター・地域包括支援センター等と連携し地域講座の企画・開催を行い、認知症とその予防について等、啓発活動を大田区全域に渡り行いました。認知症の方を含めたすべての人々が、その個性と能力を発揮し支えあう「大田区地域共生社会」の実現に努めました。

【認知症に関する会議・研修等の活動実績】

会議名	内容	回数
令和6年度認知症専門部会	大田区認知症施策の検討	10
認知症地域支援推進員対応力時向上研修	認知症地域支援推進員の役割、疾患理解、意思決定支援、事例検討	1
認知症初期集中支援チーム事業検討委員会	初期集中支援チーム活動報告、事例紹介、認知症検診推進事業実績報告、意見交換	1
大田区地域包括支援センター連絡会(全体)	認知症支援コーディネーター事業説明	1
認知症地域支援推進員連絡会	基本圏域における認知症対応、チームオレンジへの取り組み等を検討	27
地域福祉課看護職連絡会(調布・梶谷羽田)	認知症支援コーディネーター事業報告・連絡	5
調布地区見守りささえあいコーディネーター連絡会	前回内容に対する意見・感想、次年度取り組むテーマの検討	9
個別地域ケア会議(各包括)	認知症困難事例、地域での見守りについて意見	3
認知症サポーター養成講座(大田区職員等)	認知症とは、認知症サポーターとは、活動等	1
認知症サポーターステップアップ研修	認知症サポーターとしての地域活動について等	4
調布地域チームオレンジ実行委員会・登録者懇談会	チームオレンジについて参加者と懇談	2
小学生向け認知症講座	小学生向け 認知症について講義	1
調布生活福祉課高齢者支援研修	認知症高齢者の支援について講義	1
大森地域アルツハイマー月間イベント ～忘れても 出合い つながる 笑顔の輪～	認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座の開催等	1
荏原病院認知症疾患医療センター連携協議会	荏原病院、東京都、大田区、品川区の取り組み	2
荏原病院認知症センターミーティング	大田区内における認知症啓発について検討	5
認知症疾患医療センター地域講座	「認知症について話しましょう」 「ユマニチュード講演会」	2
大田区地域包括支援センター看護職対象勉強会	地域包括支援センター看護職の役割について学ぶ	1
ココシリ/ワーカーの会(暮らしの保健室 いえラボ)	地域資源情報の共有、専門職の情報交換、コロナ禍の支援	1
大田病院 MCI 早期発見プロジェクト会議	MCI と診断された方へのアプローチと地域での見守り体制の構築について検討	4
上池台くるるの会	認知症の話し	1
千鳥のえんがわ	認知症について懇談	1

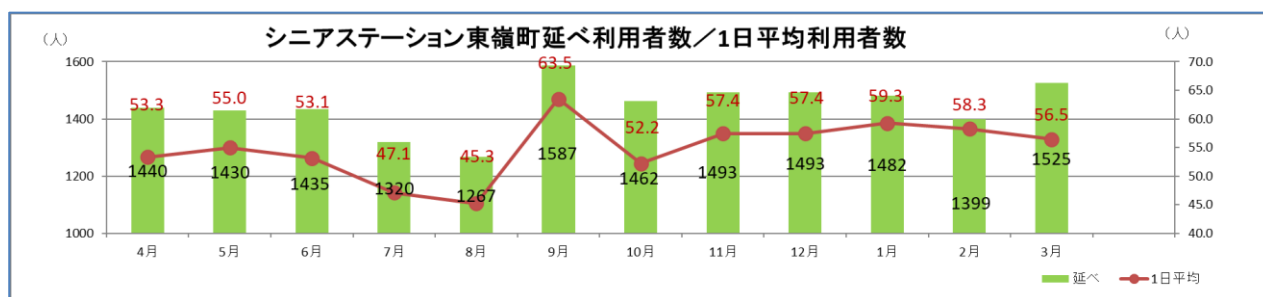
Ⅲ 元気維持介護予防事業 シニアステーション東嶺町／馬込／南馬込

1. シニアステーション事業の活発化

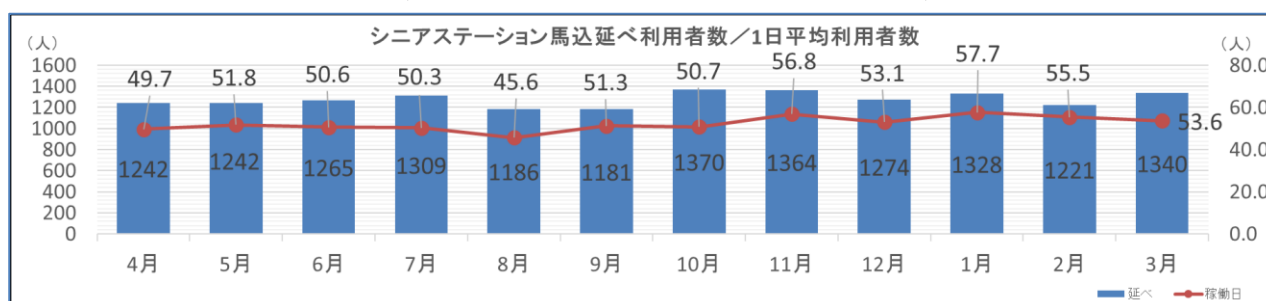
コロナ禍が明けましたが、引き続き感染症対策を行いながら事業運営を行いました。運動系プログラム、文化系プログラム、地域講座等、多彩なプログラムを実施しました。特に、地域包括支援センターと協働の地域講座等は「多世代」を対象とし、幅広い世代の地域住民を対象に啓発活動を行いました。各シニアステーションとも、昨年度を上回る利用者数となり、新規利用者は3施設平均で年間100名を超えました。

また、地域との関係性構築と推進を目的とした「運営推進会議」を参集型で開催しました。利用者・自治会町会・民生委員に参加いただき、プログラム活動報告、利用者アンケート結果等の報告を行いました。プログラムや広報等について、アドバイスをいただく機会となりました。

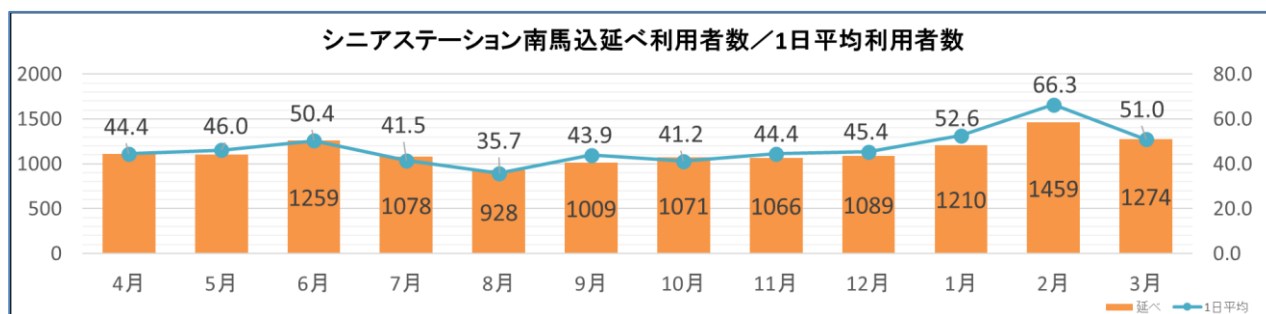
【 東嶺町 年間延べ利用者数 17,333 名(内新規 123 名) 月平均利用者数 1,444 名 】



【 馬込 年間延べ利用者数 15,322 名(内新規 79 名) 月平均利用者数 1,277 名 】



【 南馬込 年間延べ利用者数 13,659 名(内新規 111 名) 月平均利用者数 1,138 名 】



令和6年度 シニアステーション東嶺町 活動参加者数				
	教室タイトル	参加人数	開催回数	平均参加者数
区 関 係 事 業	夜間週末貸出事業	312人	43回	7.3人
	歌声サロン	710人	33回	21.5人
	わくわくエクササイズ	1058人	52回	20.3人
	盆ダンスdeわくわく	243人	22回	11.0人
	マッサージ	358人	36回	9.9人
	体操マルシェ	811人	50回	16.2人
	リフレッシュ体操	2462人	229回	10.8人
シ ニ ア 職 員 講 師	今日も笑顔で	69人	4回	17.3人
	こつこつ筋トレ	467人	24回	19.5人
	女性のための骨盤体操	136人	12回	11.3人
	クラフトびより	29人	5回	5.8人
	やさしいピラティス	1105人	48回	23.0人
	観賞会	4人	1回	4.0人
	マットdeピラティス	14人	1回	14.0人
外 部 講 師 派 遣	アクティブシニア体操	856人	48回	17.8人
	太極拳教室	642人	48回	13.4人
	のどトレ	230人	11回	20.9人
	健幸体操	384人	23回	16.7人
	ポールで歩こう	203人	23回	8.8人
	リズムでフィットネス	759人	47回	16.1人
	出張レッスン（アグリマス）	34人	3回	11.3人
	カムカム体操（オンライン）	627人	36回	17.4人
	足腰しっかり頭すっきり体操	24人	1回	24.0人
単 発 イ ベ ン ト	音楽関係	92人	4回	23.0人
	地域講座	627人	41回	15.3人
	特別講座	293人	20回	14.7人
	新春祝い太鼓	34人	2回	17.0人
	作品展（敬老の日）	163人	5回	32.6人
	敬老イベント	72人	3回	24.0人
サ ロ ン	フラワーアレンジメント教室	5人	1回	5.0人
	手仕事の時間	178人	22回	8.1人
	切手整理ボランティア	46人	8回	5.8人
	趣味の時間	265人	23回	11.5人
	囲碁	29人	10回	2.9人
	カードゲームでわっはっは（脳トレ）	147人	12回	12.3人
① 計		13488人	951回	
そ の 他	その他（予約・休憩）	2822人	298回	9.5人
	クールスポット	15人	12回	1.3人
	ボランティア	66人	46回	1.4人
	多世代	936人	221回	4.2人
	多世代（多世代向講座・体験ピラティス）	6人	1回	6.0人
計②		3845人	578回	
総合計（①+②）		17333人	1529回	

令和6年度 シニアステーション馬込 活動参加者数				
	教室タイトル	参加人数	開催回数	平均参加者数
区 関 係 事 業	【夜間週末貸出事業】部屋貸し	92人	9回	10.2人
	【映像による体操】アグリマス(株)配信	1450人	132回	11.0人
	【映像による体操】健康王国(joysound)	831人	82回	10.1人
	【joysound】みんなで合唱	514人	24回	21.4人
	【大森地域福祉課】口から始める健康講座	18人	1回	18.0人
	【高齢福祉課/基盤課/警視庁】詐欺被害防止講座	96人	5回	19.2人
	【基盤管理課】交通安全集会	12人	1回	12.0人
シ ニ ア ・ 包 括 職 員 講 師	【体操】骨盤底筋運動	84人	12回	7.0人
	【体操】荒井さんのけんこう体操	1161人	64回	18.1人
	【ボッチャ】ボッチャ	269人	27回	10.0人
	【ボッチャ/男の居場所】プリンスボッチャ	87人	12回	7.3人
	【ボッチャ/地域交流】まごめ園ボッチャ	29人	5回	5.8人
	【ボッチャ/多世代交流】ツクイホームボッチャ	9人	1回	9.0人
	【輪踊り】WAになって踊ろう！	520人	44回	11.8人
	【オレンジカフェ】オレンジカフェ&チェア体操	120人	12回	10.0人
	【男の居場所】ナイスガイ倶楽部	57人	11回	5.2人
	【文化】美しい日本の文化(筆ペンなぞり書き)	168人	24回	7.0人
	【文化】コロリアージュ(塗り絵)	300人	25回	12.0人
	【文化】ハンドメイド(壁画制作)	80人	14回	5.7人
	【DVD鑑賞会】キネカ馬込	133人	12回	11.1人
	【イベント】新春祝い太鼓	24人	1回	24.0人
	【イベント】敬老会(ご縁に感謝週間)	257人	11回	23.4人
	【地域講座】シニア職員講師	40人	3回	13.3人
	【地域講座】包括,シニア共同	13人	1回	13.0人
	【地域講座/多世代交流】認知症サポーター養成講座	11人	1回	11.0人
外 部 講 師 派 遣	【体操】アクティブシニア体操	899人	50回	18.0人
	【体操】リズムでフィットネス	1026人	50回	20.5人
	【体操】イルカ整骨院 健康寿命体操	554人	38回	14.6人
	【体操】久野先生の健康元気体操	829人	45回	18.4人
	【体操】治癒力を高めよう！	105人	11回	9.5人
	【体操】エミのリラックス フラ(フラダンス)	111人	7回	15.9人
	【体操】実演！足腰らくらくチェア体操(アグリマス)	40人	4回	10.0人
	【体操】ZOOM 足腰らくらくチェア体操(アグリマス)	38人	4回	9.5人
	【体操】イチから教わる太極拳	571人	48回	11.9人
	【体操】整う体と心の椅子ヨガ	898人	48回	18.7人
	【合唱/生きがい創出】サンシャイン合唱団	264人	16回	16.5人
	【合唱/生きがい創出/世代間交流会】サンシャイン児童館交流会	9人	1回	9.0人
	【文化】墨絵文字	118人	12回	9.8人
	【文化】花遊び	82人	12回	6.8人
	【文化】ハンドメイド(アロマソープ作り)	21人	2回	10.5人
	【スマホ/東京都】スマホ体験会	107人	11回	9.7人
	【スマホ/東京都】スマホ個別相談会	98人	11回	8.9人
	【地域講座】自衛消防訓練/防災講座	24人	2回	12.0人
	【地域講座】定期講座(講師：保険会社FP)	48人	4回	12.0人
	【地域講座/多世代交流】資生堂ビューティーセミナー	13人	1回	13.0人
	【地域講座/多世代交流】葬儀とお墓	28人	1回	28.0人
	【地域講座/多世代交流】法律家に学ぶ遺言と相続	28人	1回	28.0人
サロン	【ボランティア育成/生きがい創成】mini英会話教室	83人	51回	1.6人
	【ボランティア育成/生きがい創成】まごの手	8人	4回	2.0人
その他	自衛消防訓練 (※2回 24人 地域講座『防災』でカウント)			
	予約・休憩	2344人	466回	5.0人
	小計①	14721人	1434回	
	ボランティア・多世代②	799人	244回	3.3人
	総合計(①+②)	15520人	1678回	

令和6年度 シニアステーション南馬込 活動参加者数				
	教室タイトル	参加人数	開催回数	平均参加者数
区関係事業	【映像体操】足腰らくらくチェア体操/アグリマス(株)	323人	51回	6.3人
	【映像体操】健康王国タイム/ジョイサウンド	768人	60回	12.8人
	【映像体操】南まごめ体操/ジョイサウンド	495人	32回	15.5人
	【映像歌唱】みんなで合唱/ジョイサウンド	352人	18回	19.6人
	【講座】口から始める健康講座・マイタイムライン講座・交通安全集会	39人	3回	13.0人
	【講座】特殊詐欺防止啓発活動	139人	7回	19.9人
	【夜間週末部屋貸出事業】部屋貸し	0人	0回	0.0人
シニア・包括職員講師	【体操】楽しくエクササイズ	633人	26回	24.3人
	【体操】健活！	171人	12回	14.3人
	【体操/包括】骨盤底筋体操	76人	6回	12.7人
	【男の居場所】馬込男の居場所	242人	24回	10.1人
	【文化系】おりがみくらぶ	336人	24回	14.0人
	【文化系】大人のぬり絵くらぶ	223人	24回	9.3人
	【文化系】ふらわーくらぶ	23人	2回	11.5人
	【ボランティア】ボランティアくらぶ	133人	22回	6.0人
	【スポーツ/ゲーム】ポッチャ/カーレット	420人	41回	10.2人
	【DVD鑑賞会】シアター南馬込	61人	4回	15.3人
	【イベント】敬老お祝いイベント	59人	6回	9.8人
	【認知症カフェ】オレンジカフェ みんなの広場	42人	11回	3.8人
	【講座/包括】地域講座「地域に生きる包括の役割」「熱中症予防ミニ講座」	122人	8回	15.3人
	【講座】認知症サポーター養成講座	10人	1回	10.0人
外部講師派遣	【体操】アクティブシニア体操	572人	46回	12.4人
	【体操】リズムでフィットネス～カラフィット～	987人	45回	21.9人
	【体操】骨元気体操～やさしくステップ～	526人	24回	21.9人
	【体操】体づくりトレーニング	999人	42回	23.8人
	【体操】太極拳/木・金・土曜日クラス(地域ボランティア)	1369人	139回	9.8人
	【体操】YOGA(地域ボランティア)	255人	21回	12.1人
	【体操】手話ダンスを楽しもう(地域ボランティア)	74人	12回	6.2人
	【体操】姿勢ウォーキング(地域ボランティア)	116人	12回	9.7人
	【歌唱】サンシャイン合唱団(地域ボランティア)	235人	15回	15.7人
	【文化系】お手玉くらぶ(地域ボランティア)	100人	12回	8.3人
	【文化系】アロマ＊サロン(地域ボランティア)	24人	6回	4.0人
	【体操】健康寿命体操	139人	16回	8.7人
	【体操】コツコツリフレッシュ体操	152人	12回	12.7人
	【体操】あんしん体操	25人	1回	25.0人
	【体操】ボールdeウォーク南馬込文士村楽校	56人	12回	4.7人
	【体操】出張レッスン椅子ヨガ/アグリマス(株)派遣	60人	4回	15.0人
	【映像体操】脱フレイル体操(響会公式YouTube動画)	301人	37回	8.1人
	【映像体操】カムカム体操オンライン(シニアST新蒲田配信)	319人	30回	10.6人
	【講座】※『防災講座』2回を「自衛消防訓練」として実施	339人	20回	17.0人
	【スマホ】スマホ個別相談室(地域ボランティア)	55人	24回	2.3人
	【スマホ】東京都主催スマートフォン体験会	4人	1回	4.0人
	【スマホ】東京都主催スマートフォン相談会	117人	11回	10.6人
イベント発	【音楽】演奏会(サクソ・二胡・ギター・三線・和太鼓など)	381人	15回	25.4人
	【イベント】体験会(室内モルック・健康バレー・ダンス)	61人	3回	20.3人
	【イベント】歩行分析測定会	62人	1回	62.0人
	【イベント】福祉用具体験会	10人	1回	10.0人
	【イベント】絆サポート出張登録説明会	5人	1回	5.0人
サロン	囲碁・将棋	183人	130回	1.4人
その他	自衛消防訓練(※2回31人 地域講座『防災』でカウント)			
	その他(申込・休憩など)	389人	197回	2.0人
	計①	12582人	1272回	
	ボランティア・多世代	1077人	278回	3.9人
	総合計 ①＋②	13659人	1550回	

【東嶺町 プログラム風景】

〔歌声サロン〕



〔盆ダンス de わくわく〕



〔のどトレ♪〕



〔マット de ピラティス〕



〔やさしいピラティス〕



〔足腰しっかり頭すっきり体操〕



〔趣味の時間〕



〔カードゲームでわっはっは〕



〔地域講座 TOHO いえラボ〕



〔ミュージカル〕



〔作品展〕



〔南米ハーブ演奏会〕



【馬込 プログラム風景】

〔ナイスガイ倶楽部〕



〔ボッチャ〕



〔太極拳〕



〔エミのリラックスフラ〕



〔治癒力を高めよう！〕



〔リズムでフィットネス〕



〔地域講座 遺言と相続〕



〔ハロウィン 児童館交流〕



〔敬老会作品展〕



〔スマホ相談会〕



〔馬込地区九町会防災訓練〕



〔新春祝い太鼓〕



【南馬込 プログラム風景】

〔骨盤底筋体操〕



〔カーレット(卓上カーリングゲーム)〕



〔サンシャイン合唱団〕



〔大人のぬり絵くらぶ〕



〔アロマ＊サロン〕



〔防災アプリ講座〕



〔敬老お祝いイベント パターゴルフ/お手玉入れ〕



〔福祉用具体験会〕



〔歌三線&エイサー〕



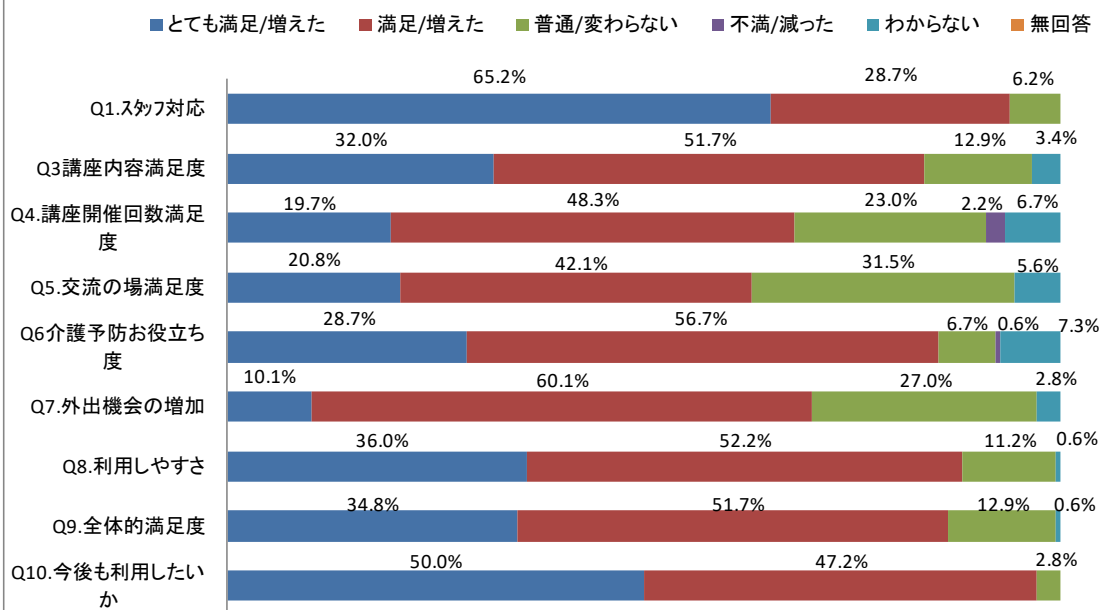
【シニアステーション 利用者アンケート】

令和6年度より大田区で統一された「シニアステーション利用者アンケート」を、10月の1か月間、利用者170名前後に対して行いました。「Q10. 今後も利用したいか」について満足度が高く、地域に楽しく通える場として定着していると考えます。「Q2. シニアステーションを知ったきっかけ」は、口コミや包括からの紹介が多いことが分かります。元気維持介護予防の拠点としたシニアステーションの周知が進んでいると考えます。

令和6年度 シニアステーション東嶺町利用者アンケート R6.10/1-31実施 延べ178名回答

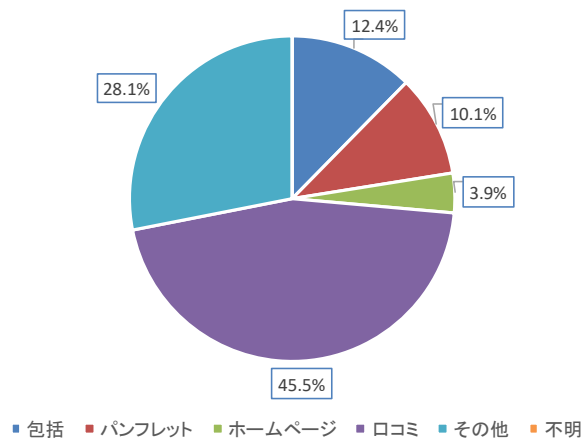
	Q1.スタッフ 対応	Q3.講座 内容	Q4.講座 回数	Q5.交流 の場	Q6.介護 予防	Q7.外出 機会	Q8.利用 しやすさ	Q全体 満足度	Q10.今後 の利用
とても満足 増えた	116	57	35	37	51	18	64	62	89
満足 増えた	51	92	86	75	101	107	93	92	84
普通 変わらない	11	23	41	56	12	48	20	23	5
不満 減った	0	0	4	0	1	0	0	0	0
わからない	0	6	12	10	13	5	1	1	0

シニアステーション東嶺町 利用者満足度



シニアステーション東嶺町を知ったきっかけ

	Q2.情報源
包括	22
パンフレット	18
ホームページ	7
口コミ	81
その他	50
不明	0

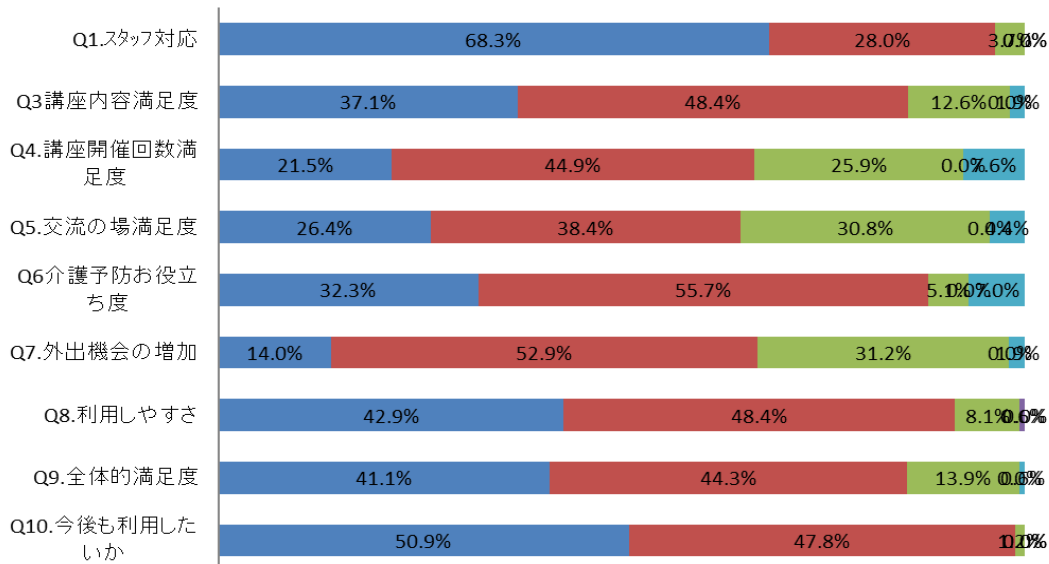


令和6年度 シニアステーション馬込利用者アンケート R6.10/1-31実施 延べ161名回答

	Q1.スタッフ 対応	Q3.講座 内容	Q4.講座 回数	Q5.交流 の場	Q6.介護 予防	Q7.外出 機会	Q8.利用 しやすさ	Q全体 満足度	Q10.今後 の利用
とても満足 増えた	110	59	34	42	51	22	69	65	82
満足 増えた	45	77	71	61	88	83	78	70	77
普通 変わらない	6	20	41	49	8	49	13	22	2
不満 減った	0	0	0	0	0	0	1	0	0
わからない	0	3	12	7	11	3	0	1	0

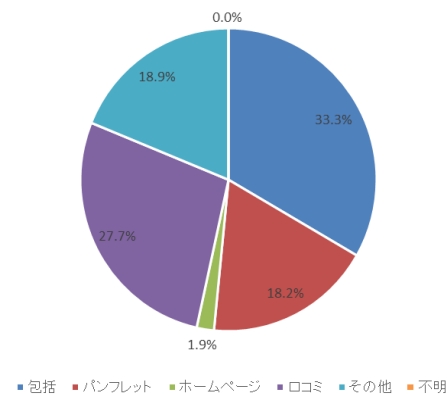
シニアステーション馬込 利用者満足度

■とても満足/増えた ■満足/増えた ■普通/変わらない ■不満/減った ■わからない



	Q2.情報源
包括	53
パンフレット	29
ホームページ	3
口コミ	44
その他	30
不明	0

シニアステーション馬込を知ったきっかけ

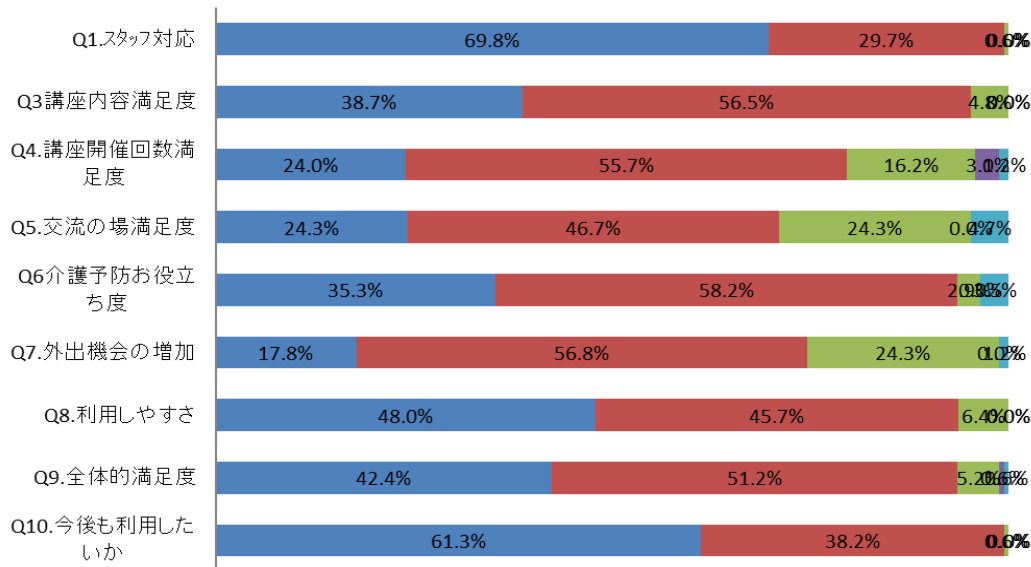


令和6年度 シニアステーション南馬込利用者アンケート R6.10/1-31実施 延べ173名回答

	Q1.スタッフ 対応	Q3.講座 内容	Q4.講座 回数	Q5.交流 の場	Q6.介護 予防	Q7.外出 機会	Q8.利用 しやすさ	Q全体 満足度	Q10.今後 の利用
とても満足 増えた	120	65	40	41	60	30	83	73	106
満足 増えた	51	95	93	79	99	96	79	88	66
普通 変わらない	1	8	27	41	5	41	11	9	1
不満 減った	0	0	5	0	0	0	0	1	0
わからない	0	0	2	8	6	2	0	1	0

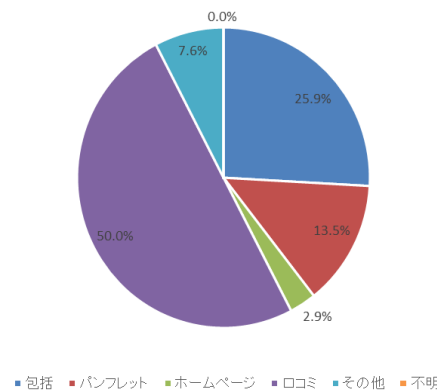
シニアステーション南馬込 利用者満足度

■とても満足/増えた ■満足/増えた ■普通/変わらない ■不満/減った ■わからない



南馬込	Q2.情報源
包括	44
パンフレット	23
ホームページ	5
口コミ	85
その他	13
不明	0

シニアステーション南馬込を知ったきっかけ



IV 人財育成

内部研修「6 包括合同研修」を積極的に行い、センター横断的に集う機会を設け、包括・シニアステーション職員の交流とスキルアップに努めました。「東京都登録講師派遣事業」を活用し、10 名程度の少人数でワークを行い、楽しく仕事を続けることや職場づくりを共に学びました。日頃の業務と自身の業務に向き合う姿勢を振り返る機会となりました。また、外部研修に積極的に参加し、幅広い知識の習得に努め、その内容をセンター内にて伝達研修として行い、職員周知を図りました。

令和 6 年度は、地域包括支援センター職員に対して、離職防止を目的とした「新人指導に係わる職員アンケート」を実施し、新人の時に「嬉しかったこと」「してもらいたかったこと」、「仕事を続けていられる理由」を聞き取りしました。結果、コミュニケーションが良好で、協力し合う体制があることが、離職防止に有効であると確認することが出来ました。この意見を参考とし、新人指導については、「メンター/チューター」を意識することを徹底し、チームで新人育成と定着に努めてきました。

【内部研修】

研 修	目的・内容
BS（ベーシックスキル）研修	新入職員に対して行う法人主催の研修。全体研修として、組織の事業・各種規定や大田区の特養優先入所制度等について学ぶ。
新人研修	入職直後より各センターにて、大田区の高齢福祉施策、介護保険制度、社会資源、センター事業、マナーや電話の取り方などを学ぶ。
センター内研修	月 1 回程度各センターにて学びたいことをテーマとし、職員が講師となり実施。また、外部研修で学んだことを伝達する場とし、業務の再確認やスキルアップを図る。
6 包括合同研修	法人が運営する地域包括支援センターの相互の連携及び接遇マナーや相談援助技術の標準化を目的とした研修を適時実施。 ①職種間研修（保健師・看護師／主任介護支援専門員／社会福祉士） ②「面接の超入門 バイステック 7 原則から学ぶ援助関係の構築」 ③「レジリエンス」 ④「人材不足の今だからこそ人材育成」 ⑤「利用者の人権を守る福祉サービス職員の職業倫理」

【外部研修参加状況】

実施機関	研修項目
大田区	地域包括支援センター新任研修
	フレイル予防専門職養成講座
	地域情報見える化サイト「ミルモネット」操作活用研修
	大田区総合事業事業者研修
	養護者による高齢者虐待対応研修(基礎)
	養護者による高齢者虐待対応の実務研修
	養護者による高齢者虐待研修(事例検討)
	認知症対応力向上研修
	おいじたくセミナー
	複合課題対応研修「多機関・多職種の福祉従事者と共に学び考える発達障害」
	複合課題対応研修「“ごみ屋敷”症候群とは何か？」
	複合課題対応研修「ヤングケアラーについて考える」
	複合課題対応研修「意思決定支援について考える」

	複合課題対応研修「高次脳機能障がいへの学びを深める～様々な支援機関の視点から考える地域生活～」
	複合課題研修「事例から学ぶ多機関多職種連携」
	大田区福祉人材育成スキル向上セミナー（リーダー・マネジャー層向け）
	大田区福祉人材定着支援セミナー（クレーム予防・組織対応）
	大田区介護支援専門員全体研修「令和6年度 介護報酬改定を知る！～ケアマネが知っておくべき業務のポイント～」
	大田区介護支援専門員全体研修「精神疾患の対応について～家族対応に困っていませんか～」
	大田区介護支援専門員全体研修「複合的なニーズへの支援 ～重層的支援・多機関連携～」
	大田区介護支援専門員全体研修「ケアプラン点検総括 生活への意欲を導き出そう！～リ・アセスメントシートの活用～」
	大田区介護保険事業者等研修事業「令和8年にリニューアル～成年後見制度」
	大田区介護保険事業者等研修事業「要介護者に多い疾病・ケガの基礎的理解」
	大田区介護保険事業者等研修事業「BCP 発動」
	大田区介護保険事業者等研修事業「あなたの知らない認知症の世界」
	大田区介護保険事業者等研修事業「福祉現場におけるカスタマーハラスメント」
	大田区介護保険事業者等研修事業「苦情・クレーム防止のための接遇マナー研修」
	大田区介護保険事業者等研修事業「介護者に多い感染症の理解と予防」
	大田区介護保険事業者等研修事業「障がい福祉サービスから介護保険サービスへの移行」
	大田区介護保険事業者等研修事業「倫理及び法令順守について」
	大田区介護保険事業者等研修事業「カスタマーハラスメント対策」
	大田区介護保険事業者等研修事業「日本人に多い指定難病の理解」
	調布地域福祉課介護支援専門員連絡会「ケアマネージャーが知りたいオンラインモニタリングの実際」
	調布地域福祉課介護支援専門員連絡会「もう悩まない 精神疾患を持つ方との関わり方」
	調布地域福祉課介護支援専門員連絡会「ヤングケアラーを理解しよう」
	蒲田地域庁舎第1回介護支援専門員研修「事例を通して考えよう！成年後見制度」
	蒲田地域福祉課介護支援専門員研修「もうひとりで悩まない！～重層的支援の考え方をみんなで学ぼう～」
	蒲田管内地域包括支援センター職員向け研修
	福祉従事者研修法定後見制度
	福祉支援者向け居住支援説明会
	支援者が知っておきたい意思決定支援
	支援者向けゲートキーパー養成講座
東京都	地域包括支援センター初任者研修
	地域包括支援センター現任者研修（基本科目Ⅰ・Ⅱ）
	地域包括支援センター現任者研修（管理監督者向け研修）
	地域包括支援センター現任者研修「ワーク・エンゲージメント」
	地域包括支援センター現任者研修「高齢者の見守り」
	地域包括支援センター現任者研修「ファシリテーション」
	認知症地域支援推進員研修（新任者研修）
	認知症地域支援推進員研修（現任者研修）
	認知症初期集中支援チーム研修
	認知症地域対応力向上研修

	東京都キャラバン・メイト養成研修
	高齢者権利擁護研修「養護者による高齢者虐待対応研修（基礎研修）」
	高齢者権利擁護研修「養護者による高齢者虐待対応研修（応用編）」
	高齢者権利擁護研修「権利擁護テーマ別実践研修」
	精神保健福祉研修「非対面の相談支援」
	精神保健福祉研修「精神障害のある人の家族を支援する」
	精神保健福祉研修「支援者のセルフケア」
	精神保健福祉研修「かわいがりが困難な方への支援」
	精神保健福祉研修「相談援助技術研修 3」
	精神保健福祉研修「高齢者間の配偶者暴力」
	精神保健福祉研修「認知行動療法研修 2」
	依存症支援者研修「地域生活支援研修（アルコール依存症）」
	区市町村介護事業担当者向け研修（総論編）
	区市町村介護予防事業担当者向け研修「実践編Ⅱ多様性・機能強化研修」
	自立支援・介護予防に向けた地域ケア会議角バイザー養成フォローアップ研修
	東京都介護支援専門員専門研修Ⅰ
	東京都介護支援専門員専門研修Ⅱ
	東京都介護支援専門員更新研修
	居宅介護支援事業所管理者向けマネジメント支援研修
	高次脳機能障害者相談支援研修会
他	NPO 大田区介護支援専門員連絡会主催「みんなでつくろう！！生活意欲に基づくケアプラン2表づくり」
	NPO 大田区介護支援専門員連絡会主催「タウンミーティング～介護保険外サービスについて考えませんか～」
	地域包括支援センターの看護職資質向上のための研修「地域包括支援センターの看護職の役割（基礎編）」
	地域包括支援センターの看護職資質向上のための研修「地域診断」
	地域包括支援センターの看護職資質向上のための研修「地域包括支援センターの看護職の役割（応用編）」
	東邦大学いえラボ講座 地域包括支援センターの看護職の役割
	認知症介護研究・研修東京センター研究成果報告会 認知症基本法と認知症施策推進基本計画のポイントはこれだ！
	榎本クリニック「アルコール依存症とグリーフケア」